



PC Card Standard
SCSI PC card

REX-9530X

9530XA / 9530XM / 9530XP / 9530XZ

REX-9530V

ユーザーズマニュアル



1998年10月

第7.0版

 **RATOC**
Systems, Inc.
ラトックシステム株式会社

目次

ユーザズマニュアル

はじめに	1
ご注意	1
安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
本文中の記号説明	2
製品に関するお問い合わせ	4
1 . REX-9530 について	1-1
対応パソコン	1-1
対応 OS(オペレーティングシステム)	1-2
添付品について	1-3
添付のソフトウェアについて	1-4
制限	1-5
Windows95/Windows98 上での制限	1-5
WindowsNT 上での制限	1-6
2 . SCSI PC カードのセットアップの概要	2-1
PC カードスロットの電源供給の確認	2-2
オートパワーダウン機能での注意	2-2
IRQ 使用状況の確認 (Windows95/Windows98, WindowsNT)	2-2
SCSI PC カードの PC カードスロットへの装着	2-3
FDD が PC カードスロット接続の場合 (Windows95 のみ)	2-3
SCSI ケーブルの接続と SCSI 機器の設定	2-4
SCSI PC カードと SCSI ケーブルの接続	2-4
SCSI 機器の設定	2-5
SCSI 機器への SCSI ケーブルの接続	2-6
運用時の SCSI PC カードの装着と取り外し	2-8
3 . Windows98 での REX-9530 のインストール	3-1
デバイスマネージャによる空き IRQ の確認	3-1
ドライバのインストール	3-2
Windows98 プレインストールマシンの場合	3-2
Windows98 をアップグレードインストールしたマシンの場合	3-3

目次

ドライバの更新	3-4
アダプタの設定	3-9
REX-9530 の動作オプション文字列	3-10
SCSI ユーティリティのインストール	3-11
SCSI 機器の接続と再起動	3-11
ドライバの確認	3-12
リソースの変更	3-14
SCSI 機器の確認	3-14
4 . Windows95 での REX-9530 のインストール	4-1
デバイスマネージャによる空き IRQ の確認	4-1
ドライバのインストール	4-2
デバイスドライバウィザードの画面の場合 - Windows95B(OSR2)	4-3
新しいハードウェアの検出画面の場合	4-4
CardWizard (CardWorks) の画面が起動する場合	4-6
アダプタの設定	4-7
REX-9530 の動作オプション文字列	4-8
SCSI ユーティリティのインストール	4-9
SCSI 機器の接続と再起動	4-10
ドライバの確認	4-10
リソースの変更	4-12
SCSI 機器の確認	4-12
5 . SCSI PC カードで Windows95 をインストールする	5-1
DOS / Windows3.1 での準備	5-2
Windows3.1 上でのインストーラの実行	5-2
CD-ROM ドライブの設定と接続	5-2
CD-ROM ドライブが認識されない場合	5-2
Windows 95 のインストール	5-3
Windows95 のインストールの開始	5-3
PC カード(PCMCIA) プロパティの設定	5-3
PC カード(PCMCIA)ウィザードの起動	5-4
ハードウェア ウィザードの起動	5-5
PC カード(PCMCIA)ウィザードの設定	5-8
SCSI ユーティリティのインストール	5-11

目次

6 . Windows95/98 上で各 SCSI 機器を使用するには	6-1
CD-ROM ドライブを使用する	6-1
CD-ROM ドライブを使用するための設定	6-1
CD-ROM の接続を確認する	6-2
音楽 CD を聞く	6-2
CD-ROM ドライブを使用する場合の注意	6-2
光磁気ディスク(MO)ドライブを使用する	6-2
MO ドライブを使用するための設定	6-2
MO ドライブの接続を確認する	6-3
メディアのフォーマット	6-3
MO ドライブを使用する場合の注意	6-3
ハードディスクドライブを使用する	6-4
ハードディスクドライブを使用するための設定	6-4
ハードディスクの接続を確認する	6-4
ハードディスクのフォーマット	6-5
ハードディスクドライブを使用する場合の注意	6-5
PD ドライブを使用する	6-5
PD ドライブを使用するための設定	6-5
PD ドライブの接続を確認する	6-6
PD メディアのフォーマット	6-6
PD ドライブを使用する場合の注意	6-6
zip ドライブを使用する	6-7
zip ドライブを使用するための設定	6-7
zip ドライブを使用する場合の注意	6-7
スキャナを使用する	6-8
GT-8500 を使用するための設定	6-8
GT-8500 を使用する場合の注意	6-9
7 . Windows95 用 SCSI ユーティリティについて	7-1
RexFmt95 - Windows95 専用 SCSI フォーマットユーティリティ	7-1
WinSSC - Windows95 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ	7-3
8. WindowsNT4.0 での REX-9530 のインストール	8-1
WindowsNT4.0 上からのインストール	8-1
WindowsNT 診断プログラムによる空き IRQ の確認	8-1
ドライバのインストール作業	8-2
インストール後の確認と設定	8-5
[SCSI PC Card 9530] 項目が [起動済み] になっていない場合	8-5

目次

CD-ROM ドライブのドライブ名の設定	8-6
REX-9530 の動作のカスタマイズ	8-7
REX-9530 の IO ポート、IRQ の設定手順	8-7
NTRES での REX-9530 のオプション設定	8-8
9. SCSI PC カードで WindowsNT4.0 をインストール	9-1
WindowsNT4.0 を DOS / Windows3.1 からインストールする	9-1
WindowsNT4.0 を直接インストールする (DOS / V のみ)	9-2
WindowsNT のインストール	9-2
SCSI ドライバの変更	9-4
10. Windows3.1 での REX-9530 のインストール	10-1
PC カードスロットを DOS / Windows3.1 で使用可能にする	10-2
占有メモリについて	10-2
SYSTEM.INI の設定について	10-2
Windows3.1 用インストーラ	10-3
SCSI 機器の接続と再起動	10-4
SCSI 機器を正しく使用できない場合	10-4
11 . DOS/Windows3.1 上で各 SCSI 機器を使用するには	11-1
CD-ROM ドライブを使用する	11-1
CD-ROM ドライブを使用するための設定	11-1
CD-ROM の接続を確認する	11-1
音楽 CD を聞く	11-2
CD-ROM ドライブを使用する場合の注意	11-2
MSCDEX についての注意事項	11-2
「NECCD.SYS」等の CD-ROM デバイスドライバについて	11-2
光磁気ディスク(MO)ドライブを使用する	11-3
MO ドライブを使用するための設定	11-3
メディアのフォーマット	11-3
MO ドライブを使用する場合の注意	11-4
640MB のメディアを使用する場合の注意	11-4
ハードディスクドライブを使用する	11-5
ハードディスクドライブを使用するための設定	11-5
ハードディスクのフォーマット	11-6
ハードディスクドライブを使用する場合の注意	11-6

目次

PD ドライブを使用する	11-7
PD ドライブを使用するための設定	11-7
PD メディアのフォーマット	11-8
PD ドライブを使用する場合の注意	11-8
zip ドライブを使用する	11-9
zip ドライブを使用するための設定	11-9
zip ドライブを使用する場合の注意	11-9
MD (ミニディスク) データドライブを使用する	11-10
MD データドライブを使用するための設定	11-10
メディアのフォーマット	11-11
MD ドライブを使用する場合の注意	11-11
スキャナを使用する	11-12
GT-8500 を使用するための設定	11-12
GT-8500 を使用する場合の注意	11-13
12. DOS 用 SCSI ユーティリティについて	12-1
REXFMT.EXE - ディスク・フォーマット・コマンド	12-1
書式 1 - ハードディスクの初期化	12-3
書式 2 - 光磁気ディスク (MO) の初期化	12-5
書式 3 - 区画の確保	12-7
書式 4 - 区画の削除	12-9
書式 5 - 区画属性の変更	12-10
SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド	12-11
13 . DOS / Windows3.1 用 SCSI 関連ドライバについて	13-1
CONFIG.SYS の書き換えについて	13-1
DOS 用ドライバ (イネーブラ+ASPI マネジャ)	13-2
全ドライバ共通のオプション	13-3
ASPI9530.SYS 固有のオプション	13-4
ASPDBK30.SYS, ASP36530.SYS 固有のオプション	13-4
ASP36530.SYS 固有のオプション	13-5
全ドライバ共通のエラーメッセージ	13-5
ASPI9530.SYS, ASP9530N.SYS, ASP9530E.SYS 共通の表示メッセージ	13-5
ASPDBK30.SYS 固有の表示メッセージ	13-7
ASP36530.SYS 固有の表示メッセージ	13-7
REXCD.SYS - CD-ROM ドライバ	13-8
REXCD.SYS の書式	13-8
REXCD.SYS の表示メッセージ	13-9

目次

REXDISK.SYS - ハードディスク/MO ディスクドライバ	13-10
サポートしているメディアについて	13-10
REXDISK.SYS の書式とオプション	13-10
PC-DOS J6.1/V での制限について	13-13
REXDISK.SYS の表示メッセージ	13-13
MSCDEX.EXE - CD-ROM エクステンション	13-15
MSCDEX.EXE の書式とオプション	13-15
MSCDEX.EXE の表示メッセージ	13-15
WINASPI.DLL, VASPIREX.386	13-17
WINASPI.DLL, VASPIREX.386 のインストール	13-17
WINASPI.DLL の制限	13-17
表示メッセージ	13-18

14. こんなときは 14-1

Windows98 の起動ディスクから OS の再インストールを行う	14-1
Windows98 起動ディスクの作成	14-1
起動ディスク 1 からファイルの削除と追加	14-1
CONFIG.SYS ファイルの編集	14-2
Windows95 の起動ディスクから OS の再インストールを行う	14-3
Windows95 起動ディスクの作成	14-3
起動ディスクからファイルの削除と追加	14-3
CONFIG.SYS, AUTOEXEC.BAT ファイルの編集	14-4
DriveImage の起動ディスクで使用する	14-5
DriveImage 用起動ディスクへのファイルの追加	14-5
CONFIG.SYS ファイルの編集	14-5
添付のインストーラを使用しない場合(DOS / Windows3.1)	14-6
ASPI マネージャ / ASPI モジュール等のコピー	14-6
CONFIG.SYS への PC カードドライバ / ASPI マネージャ / ASPI モジュールの設定	14-6
AUTOEXEC.BAT への設定	14-8
SYSTEM.INI の設定について	14-8
Windows95 上でドライバを削除する場合	14-9
Windows95 上でドライバを再インストールする場合	14-9
デバイスツリーからの削除	14-9
ドライバファイルと INF ファイルの削除	14-10
レジストリの削除	14-10
HD / MO のドライブアイコンが表示されない場合(Windows95/98)	14-11
ドライブの確認	14-11
ハードディスクのフォーマットの場合	14-11
光磁気ディスク (MO) のフォーマットの場合	14-12

目次

インターネットからドライバをダウンロードする場合	14-13
ドライバをアップデートする場合 (Windows98)	14-15
ドライバをアップデートする場合 (Windows95)	14-16
トラブルシュート	14-17
Windows98 にアップグレードすると動作しなくなった (Windows98)	14-17
REX-9530 が SCSI コントローラ以外に登録された場合 (Windows95/98)	14-17
REX-9530 が 2 個以上登録された場合 (Windows95/98)	14-18
不明なデバイスが検出された则表示される場合 (Windows95/98)	14-18
その他のデバイスに ? PCMCIA Card Service がある (Windows95)	14-18
フォーマットユーティリティで CDR, CDRW が認識されない (Windows95)	14-19
スキャナがアプリケーションから認識されない (WindowsNT)	14-19
WindowsNT のインストール途中でハングアップ (WindowsNT)	14-19
ドライブにアクセスすると 0 除算のエラーになる (DOS/Windows3.1)	14-20
MO ドライブにアクセスすると連続してカチカチと音がする (DOS/Windows3.1)	14-20
15. 付録	15-1
SCSI PC カードの仕様	15-1
接続可能な SCSI 機器のタームパワー供給能力について	15-1
SCSI 機器のターミネータ電源供給の確認方法	15-2
SCSI ケーブルのコネクタピン配列について	15-2
オプション製品について	15-3
オプション SCSI ケーブル	15-3
デスクトップパソコンで REX-9530 を使用する場合	15-3

はじめに

このたびは REX-9530X, REX-9530V PC カード SCSI インターフェイスをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は、REX-9530X, REX-9530Vの導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。REX-9530X, REX-9530Vを正しくお使い頂くため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

特に2ページより記載しています「安全にお使いいただくために必ずお読みください」は、最初にお読みください。

なお、以降の本文中ではREX-9530X, REX-9530VをREX-9530と記述しております。

また、添付のドライバソフトウェアディスクに入っているREADMEファイルには本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。



ご注意

- ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどにお気づきになりましたらご連絡願います。
- ・ 運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ・ 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ・ MS-DOS、Windows、WindowsNTは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ 本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 本製品のハードウェアおよびソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・ 本書は REX-9530X シリーズおよび REX-9530V の共通マニュアルとなっております。お客様がご購入頂いた製品と直接関係のない内容も含まれますが、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

このユーザズマニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止し、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。表記と記号の意味は次のようになっています。内容を理解してからお読みください。

本文中の記号説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いを行うと人が負傷を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。
ご注意	この表示は、本製品を取り扱う上での注意事項を示しています。



分解禁止：発火のおそれがあります

PC カードや添付ケーブルの分解や改造等は絶対に行わないでください。



取り扱いには十分注意してください。発火の可能性があります。

PC カードや添付ケーブルを無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せる等は行わないでください。



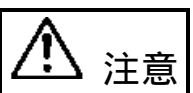
PC カードは電子機器ですので静電気を与えないようにしてください。誤動作や故障するおそれがあります。



煙が出たり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



PC カードや添付ケーブルが濡れた場合、ショートによる火災や感電のおそれがあるため使用しないでください。
必ず、販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。



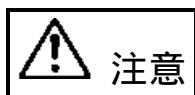
ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与え誤動作することがあります。



モータなどノイズを発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してご使用ください。



本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内仕様です。日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。



本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送設備など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい扱いをしてください。



保管に関するご注意：

本製品を使用しない場合、PC カードスロットから外し、添付のケースに保管してください。

また、故障の原因となりますので次のような場所での保管は避けてください。

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、暖房器具等の近く、
温度差の激しい場所

チリやほこり、湿気の多い場所

振動や衝撃の加わる場所

製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

SCSIサポート専用フリーダイヤル



0 1 2 0 - 0 3 3 - 5 5 5

月～金 10:00～17:00 土曜、日曜および祝日を除く

FAXでの受付は24時間行っております。



FAX 06-633-3553

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒 556-0012

大阪市浪速区敷津東 1-6-14 朝日なんばビル

インターネットのホームページでも最新の情報などをお届けしております。

ラトックシステムのホームページ

<http://www.rexpccard.co.jp>

また、NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。

PC Vendor Station E

(SPCVE)

電子会議室 8 番「ユーザサポート」

インターネット、NIFTY-Serve でのお問い合わせの際には、本製品の添付ディスク内にある quest.txt の書式をご利用ください。FAX でお問い合わせの際には、最後のページの「質問用紙」に必要事項を記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答させていただきます。

ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。

また、ご質問の内容によりましてはテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合もございますので予めご了承ください。

1. REX-9530 について

REX-9530はPC Card Standardに準拠したPCカード型SCSIホストアダプタカードです。PCMCIA 2.01/JEIDA4.1以降のPCカードスロットを持ちWindows98, Windows95, WindowsNTやDOS/Windows3.1が動作しているパソコンにCD-ROMドライブ、MO(光磁気)ディスクドライブ、ハードディスクユニット、イメージスキャナ、フィルムスキャナなどのSCSI機器を接続するために使用します。

Windows95上でREX-9530にSCSI機器を接続して使用するには次のインストール作業が必要です。

1. ドライバのインストール

Windows95 を起動して、SCSI PC カードをパソコン本体の PC カードスロットへ装着します。
新しいハードウェアとして認識したら、添付のドライバソフトウェアディスクからドライバをインストールします。



2. SCSI 機器の接続

SCSI 機器の ID 等の設定、ケーブルの接続後、SCSI 機器の電源を入れます。
そして、Windows95 を再起動して接続機器を認識させます。

詳しくは、本書の「SCSI PC カードのセットアップ」(P 2-1) をご覧ください。

ただし、ご使用になる環境によりましては、本書の手順どおりにインストールできない場合もありますのであらかじめご了承ください。

対応パソコン

本製品は、PCMCIA 2.01/JEIDA 4.1仕様以降のPCカードスロットを装備し、Windows98, Windows95, WindowsNTまたはDOS/Windows3.1が動作する以下のパソコンに対応しています。

- ・ DOS/Vパソコン (PC/AT 互換機)
- ・ NEC PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズ
- ・ EPSON PC-486/586 Noteシリーズ

ただし、一部の機種では制限があったり正常に動作しない場合もありますので、メーカー名および機種型番の詳細については弊社ホームページでご確認頂くか、弊社サポートセンターへ直接お問合せください。

対応 OS(オペレーティングシステム)

本製品は以下のOSに対応しています。

印は、ドライバが製品の添付ディスクに含まれています。

印は、インターネットやNIFTY-Serveよりドライバを入手できます。

機種	OS	9530X	9530V
DOS/V (PC/AT 互換機)	Windows 95 Windows 98		
	Windows NT 4.0 MS-DOS 5.0/V 以降 Windows 3.1		
	Windows NT 3.51 OS/2 Warp		
NEC PC98-NX シリーズ (注1)	Windows 95 Windows 98		
	Windows NT 4.0		
NEC PC-9821 シリーズ	Windows 95 Windows98		
	Windows NT 4.0 MS-DOS 3.3D/5.0 以降 Windows 3.1,		
	Windows NT 3.51 OS/2 Warp		
EPSON PC-486/586 Note シリーズ(注2)	Windows 95		
	MS-DOS 5.0 以降 Windows 3.1		

(注1) NEC PC98-NX シリーズでは、パソコン本体に対する WindowsNT3.51, DOS/Windows3.1 のサポートは行われておりません。

(注2) EPSON PC シリーズ(98 互換機)では、パソコン本体に対する Windows98, WindowsNT のサポートは行われておりません。

インターネットからドライバをダウンロードする場合は、後述「インターネットからドライバをダウンロードする場合」(P 14-13)をご覧ください。

添付品について

REX-9530にはSCSI PCカード以外に以下のものが添付しています。不足の場合には、弊社サポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

品名	9530X	9530V
SCSIケーブル(注1)	1本	
ドライバソフトウェアディスク(注2)	1枚	
ご愛用者登録ハガキ / 保証書(注3)	1セット	
ユーザズマニュアル	1部	なし
設定ガイド	なし	1部

(注1) SCSI ケーブルの長さは 50cm で SCSI 機器側コネクタは、以下のとおりです。
 REX-9530XA…………… アンフェノールフルピッチ 50 ピン コネクタ
 REX-9530XM…………… ハーフピッチベローズタイプ 50 ピン コネクタ
 REX-9530XP…………… ハーフピッチピンタイプ 50 ピン コネクタ
 REX-9530XZ…………… D-sub25 ピン コネクタ
 REX-9530V…………… ハーフピッチピンタイプ 50 ピン コネクタ

ご使用になる SCSI 機器の SCSI コネクタが標準添付の SCSI ケーブルと異なる場合、別途に専用の SCSI ケーブルをご購入頂く必要があります。
 別売ケーブルについては「付録」の「オプション SCSI ケーブル」(P 15-3)をご覧ください。

また、他社製 SCSI PC カード用の SCSI ケーブルは、コネクタの形状等が同一であっても配線が異なりますので絶対に使用しないでください。

(注2) フロッピーディスクの媒体は、3.5 インチ 1.44MB です。

(注3) ご愛用者登録カードは保証書を切り離した後、必要事項を記入の上必ずご返送ください。ご返送頂けない場合、バージョンアップ等のサポートサービスは受けられませんのでご注意ください。

添付のソフトウェアについて

本製品に添付のフロッピーディスクには次のソフトウェアが含まれます。

印は、製品の添付ディスクに含まれています。

×印は、製品の添付ディスクに含まれておりません。

	9530X	9530V
Windows95/Windows98用SCSIミニポートドライバ		
Windows95/Windows98用ハードディスク / 光磁気ディスク・フォーマッタ		
接続SCSI機器確認ユーティリティ		
DOS用SCSIデバイスドライバ (ASPI マネジャ)		
DOS用CD-ROMドライブ用デバイスドライバ (ASPI モジュール)		
DOS用ハードディスク / 光磁気ディスク用デバイスドライバ (ASPI モジュール)		
DOS用ハードディスク / 光磁気ディスク・フォーマッタ		
Windows3.1用ASPI (WinASPI.DLL)		×
WindowsNT4.0用SCSIミニポートドライバ		×
WindowsNT4.0用カードリソース設定ユーティリティ		×

フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については同ディスク内のREADMEファイルをテキストエディタ等を使用して確認してください。

READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。

制限

- ・本製品の添付ディスクに含まれていないドライバは、インターネットや NIFTY-Serve より入手してください。
- ・SCSI PC カードに接続する機器は、原則としてタームパワー供給機能を持った SCSI 機器に限られます。複数の機器を接続する場合は、そのうちの 1 台からタームパワーが供給できれば問題ありません。

例外としてzipドライブ、MD DATAドライブでは、タームパワーは出力されていませんが、本製品へ接続しても問題ありません。

- ・SCSI PC カードに接続された機器からのシステムの起動（ブート）はできません。
- ・SCSI PC カードに接続されたハードディスクや MO に対して FDISK コマンドによるフォーマットはできません。また、DISK-BIOS（INT 1Bh や INT 13h）を直接呼び出して動作するソフトによる操作もできません。
- ・SCSI PC カードに接続されたハードディスクや MO に対して Windows のスワップファイルを設定しないでください。
- ・SCSI PC カードに接続された CD-ROM ドライブで音楽 CD を再生する場合、その音声はパソコン本体の内蔵スピーカからは出力されません。CD-ROM ドライブのライン出力またはヘッドフォン端子から出力されます。
- ・SCSI PC カードに複数の SCSI 機器を接続する場合は、ケーブルの総延長が 3m を越えないようにしてください。また、接続する機器にもよりますが接続台数はできるだけ 2 台を越えないようにしてください。

Windows95/Windows98 上での制限

- ・REX-9530 を Windows95/Windows98 上で使用できるパソコンは、各パソコンメーカーが、Windows95/Windows98 での動作を保証しているパソコンのみとなります。また、接続する SCSI 機器は各メーカーが Windows95/Windows98 での動作保証している機器に限ります。
- ・REX-9530 が使用するための IRQ が空いている必要があります。
- ・SCSI PC カードに接続されたディスクへ Windows95/Windows98 の OS 自体をインストールすることはできません。
- ・Windows95/Windows98 の DOS モードは原則としてサポートしておりません。
- ・SCSI PC カードおよび添付ドライバは、サスペンド・レジュームや活線挿抜に対応していますが、SCSI 機器のアクセス中にはカードを抜いたりサスペンド・レジューム処理を行わないようにしてください。
「活線挿抜」とは SCSI PC カードを抜いても、再挿入すると再び使用可能な状態になる機能のことです。

第 1 章 REX-9530 について

- ・ PC カードスロットが 1 スロットのみでフロッピーディスクドライブが PC カード接続のパソコンでは、直接フロッピーディスクからのドライバのインストールはできません。この場合、あらかじめ本製品添付のドライバソフトウェアの内容をパソコン本体に内蔵のハードディスクへコピーしたのちに SCSI PC カードのインストールを行ってください。

WindowsNT 上での制限

- ・ 本製品添付のドライバは、WindowsNT のインテルプラットフォームでのみの対応となります。その他のプラットフォームでは動作しません。
また、WindowsNT 3.5 を含む以前のバージョンでは動作しませんのでご注意ください。
- ・ REX-9530 を WindowsNT 上で使用できるパソコンは、各パソコンメーカーが、WindowsNT での動作を保証しているパソコンのみとなります。また、接続する SCSI 機器は各メーカーが WindowsNT での動作保証している機器に限ります。
- ・ REX-9530 が使用するための IRQ が空いている必要があります。
- ・ SCSI PC カードに接続されたディスクへ WindowsNT の OS 自体をインストールすることはできませんのでご注意ください。
- ・ WindowsNT では、PC カードに対する Plug-and-Play がサポートされておりません。したがって WindowsNT の起動時には、以下の状態でないと SCSI 機器が使用できません。
 - PC カードスロットに SCSI PC カードが挿入されている。
 - SCSI 機器との接続ケーブルが接続されている。
 - SCSI 機器の電源が入っている。
- ・ 同時に装着して使用可能な REX SCSI PC カードは、1 枚のみです。2 枚以上装着しても最初の 1 枚しかご使用いただけません。
- ・ CD-ROM ドライブを接続した場合、ディスクアドミニストレータによりドライブの割当てを行わないと正常に使用できないことがあります。
- ・ ハードディスクやハードディスクモード MO ドライブなどでフォーマットする場合、ディスクアドミニストレータから行います。
- ・ DOS フォーマット済みで販売されている一部 MO メディアでは、ディスクアドミニストレータからフォーマットを実行すると「フォーマットを完了できませんでした」というエラー表示になる場合があります。また、リムーバブルディスクのアイコンから[開く]を選択すると「パラメータに誤りがあります」というエラー表示になる場合があります。通常は、ディスクアドミニストレータからパーティション作成後フォーマットを行えば使用可能となります。
ただし、MO メディアの問題でこの作業を行っても使用できないことがあります。
この場合は、MO メディアのメーカーへ直接ご連絡ください。
- ・ スキャナを接続して使用する場合、WindowsNT に対応した WinASPI が必要になる場合がありますが、本製品には含まれておりません。
WindowsNT 用 WinASPI については市販のものを別途入手頂く必要があります。



2 . SCSI PC カードのセットアップの概要

ここでは、SCSI PC カードのセットアップの概要についてオペレーティングシステムに依存しない範囲で説明します。

各オペレーティングシステムに依存したセットアップ手順は後述の各章をご覧ください。また、ご使用になる環境によりましては、本書の手順どおりにインストールできない場合がありますのであらかじめご了承ください。

SCSI PCカードにSCSI機器を接続して使用するには次のインストール作業が必要です。

1 . SCSI PC カードを装着する。(Windows98, Windows95 の場合)

Windows を起動して、SCSI PC カードをパソコン本体の PC カードスロットへ装着します。(☞ P 2-3)



2 . ドライバの登録をする。

各 OS 別に後述のそれぞれの説明にしたがってドライバを読み込ませます。

Windows98 : 「Windows98 での REX-9530 のインストール」(☞ P3-1)

Windows95 : 「Windows95 での REX-9530 のインストール」(☞ P4-1)

「SCSI PC カードで Windows95 をインストールする」(☞ P5-1)

WindowsNT : 「WindowsNT4.0 での REX-9530 のインストール」(☞ P8-1)

Windows3.1 : 「Windows3.1 での REX-9530 のインストール」(☞ P10-1)

MS-DOS : 「添付のインストーラを使用しない場合」(☞ P14-6)



3 . SCSI PC カードを装着する。(Windows98, Windows95 以外の場合)

SCSI PC カードをパソコン本体の PC カードスロットへ装着します。(☞ P2-3)



4 . SCSI 機器の接続

SCSI 機器の ID 等の設定、SCSI ケーブルの接続後、電源を入れます。(☞ P2-4)



5 . パソコンのリセット再起動で終了です。

PC カードスロットの電源供給の確認

PCカードスロットの電源供給のオン・オフ設定ができる機種では、電源が供給されるような設定になっていることを確認してください。

多くの機種では、この設定はセットアップやパワーセーブ機能の中の項目にあります。たとえばIBM ThinkPadでは、[ThinkPad機能設定] プログラムの [カードスロット] 項目で [電源供給する] になるように設定します。

PC カードスロットに電源が供給されていない状態では、PC カードが全く使用できませんのでご注意ください。

オートパワーダウン機能での注意

ノートパソコンでは、設定された時間内に何も操作がなかった場合に自動的にパソコン本体の電源を落とす機能（オートパワーダウン機能）を備えたものがあります。パソコンの機種によっては、この機能が働いた場合にPCカードスロットへの電源供給も止める場合があります。仮にREX-9530でハードディスクへの書き込み中にこのような状態になると、再びPCカードスロットに電源が供給されてもハードディスクへの書き込み処理が再開できない状態になり、最悪の場合はハードディスクの障害を引き起こします。上のような不具合を回避するためには、必ずオートパワーダウン機能が働かないようにパソコン本体を設定してください。

IRQ 使用状況の確認 (Windows95/Windows98, WindowsNT)

REX-9530をWindows95/Windows98やWindowsNTで使用する場合、そのパソコンでは、REX-9530が使用するための任意のIRQが空いている必要があります。

IRQの空きを確認する方法は以下のとおりです。

Windows95/ Windows98	デバイスマネージャからコンピュータのプロパティのリソースの表示で割り込み要求 (IRQ) を表示して00～15で非表示の番号がIRQの空きです。 (☞ P 3-1) (☞ P 4-1)
WindowsNT	WindowsNT診断プログラムのリソースでIRQを表示して00～15で非表示の番号がIRQの空きです。(☞ P 8-1)

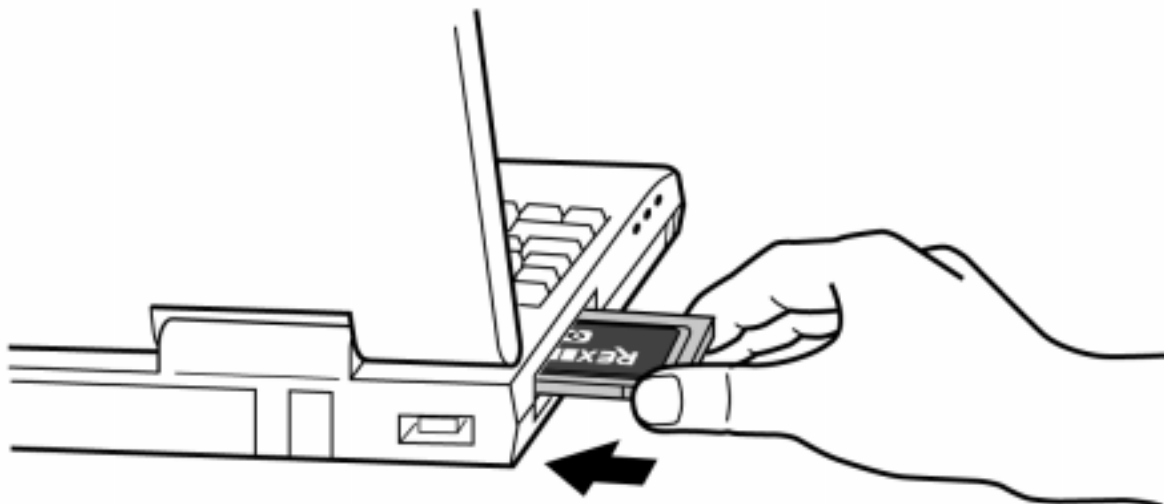
この確認でIRQの空きがない場合、ドライバのインストールが正常に行われなかったり、ドライバが正常に動作しないためREX-9530が使用できません。

この場合は、実際に使用する必要がないデバイスを使用不可にしてIRQの空きを確保してください。

SCSI PC カードの PC カードスロットへの装着

最初にパソコン本体添付のマニュアルに従って REX-9530 を PC カードスロットに装着します。

通常の場合、PC カードの「REX-9530」と表記されている面を上にしてゆっくりと水平に挿入します。



ここでは、SCSI ケーブルは接続しない状態で PC カードを装着しますが、通常の運用時には SCSI ケーブルは接続しておきます。(☞ P 2-8)

Windows98, Windows95 の場合

初めて REX-9530 を装着した場合、[デバイスドライバウィザード] や [新しいハードウェア] の画面が表示されます。

後述の「Windows98 での REX-9530 のインストール」(☞ P 3-2) 「Windows95 での REX-9530 のインストール」(☞ P 4-2) の説明にしたがって本製品添付のドライバソフトウェアディスクからドライバを読み込ませてください。

FDD が PC カードスロット接続の場合 (Windows95 のみ)

PC カードスロットが 1 スロットでしかもフロッピーディスクドライブが PC カード接続のパソコンでは、直接フロッピーディスクからのインストールはできません。

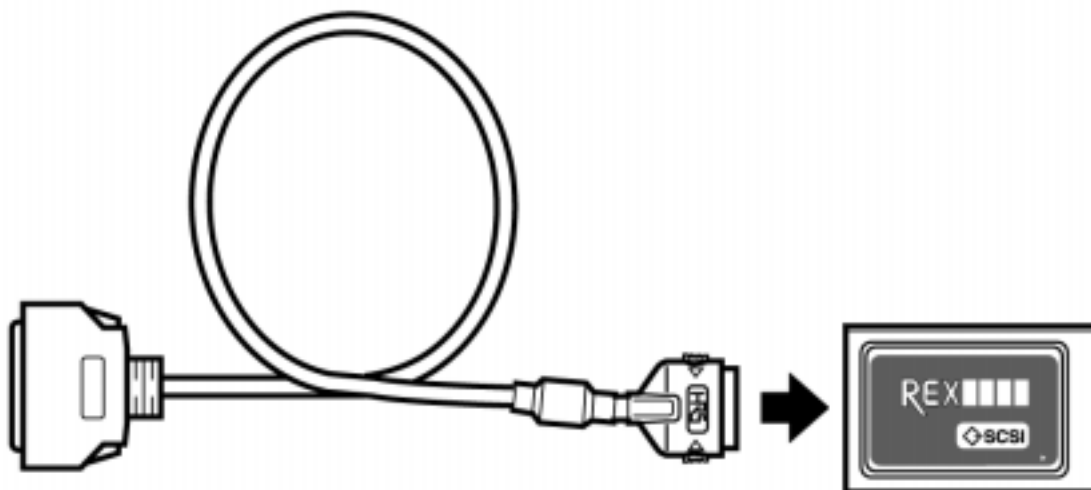
この場合、SCSI PC カードを PC カードスロットへ装着する前に、あらかじめ本製品添付のドライバソフトウェアディスクの内容をパソコン本体内蔵のハードディスクへコピーします。

その後、SCSI PC カードを装着してパソコン本体内蔵のハードディスクからドライバを読み込ませてください。

SCSI ケーブルの接続と SCSI 機器の設定

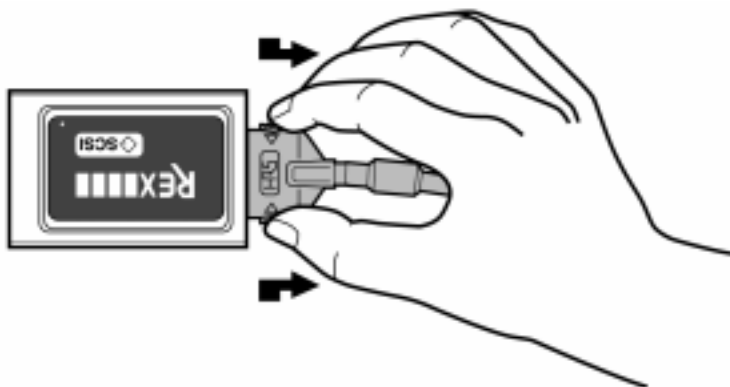
SCSI PC カードと SCSI ケーブルの接続

本製品添付の SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを REX-9530 に差し込んでください。
小さい方のコネクタの ▷ □ ◁マークがある方を REX-9530 SCSI PC カードの [REX-9530]
の表記がある方に向けて挿入します。

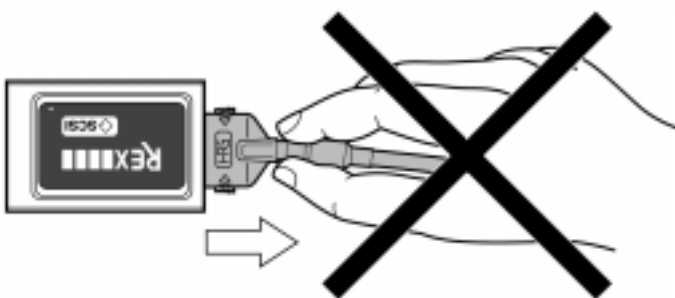


SCSIケーブルを取り外すときの注意

SCSIケーブルをREX-9530から取り外す場合は、コネクタ両側の突起を押さえながら取り外してください。



突起を押さえずに無理にコネクタを外すとREX-9530やコネクタ、SCSIケーブルが破損するおそれがあります。この場合、保証対象外となりますので注意してください。



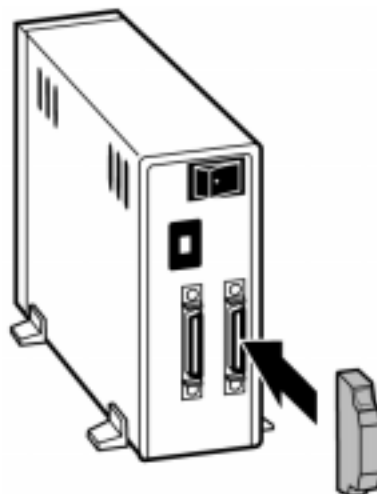
SCSI 機器の設定

1. SCSI ターミネータの装着

SCSIバス接続の終端となるSCSI機器にSCSIターミネータが内蔵されていない場合は、SCSI機器のSCSIコネクタにSCSIターミネータを装着してください。

SCSIターミネータは、なるべくアクティブターミネータをご使用ください。

SCSI機器のメーカーによってはFAST SCSI(同期転送10MB/Sec)に適さないターミネータを添付している場合もあります。この場合は、機器が認識できなかったり、アクセス中にハングアップする場合がありますので注意してください。



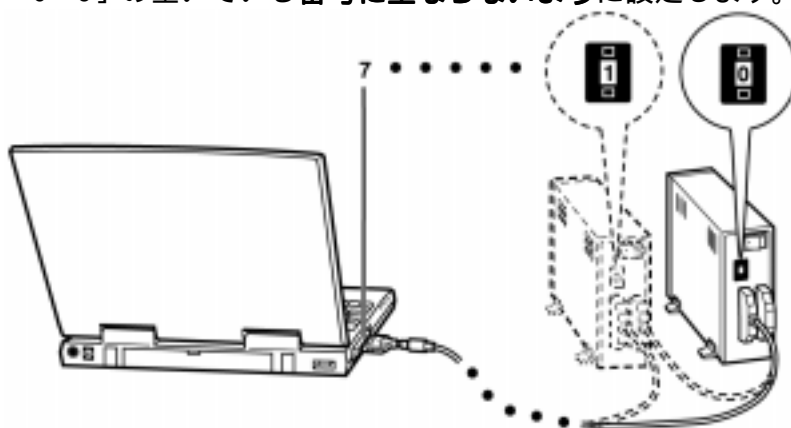
2. タームパワーの確認

接続されているSCSI機器のどれか1台からSCSIバスに対して**タームパワーを供給するように設定**します。タームパワーの供給能力・設定方法についてはSCSI機器のマニュアルをご覧ください。なお、複数台のSCSI機器を接続する場合、**そのうちの1台のSCSI機器からタームパワーを供給する**ようになっていれば、他のSCSI機器はタームパワーを供給できなくても問題ありません。

3. SCSI-IDの設定

各SCSI機器のSCSI-ID番号(ユニット番号)を設定します。

REX-9530のSCSI-ID番号は「7」番固定になっていますので、それぞれの機器は「0~6」の空いている番号に**重ならないように**設定します。

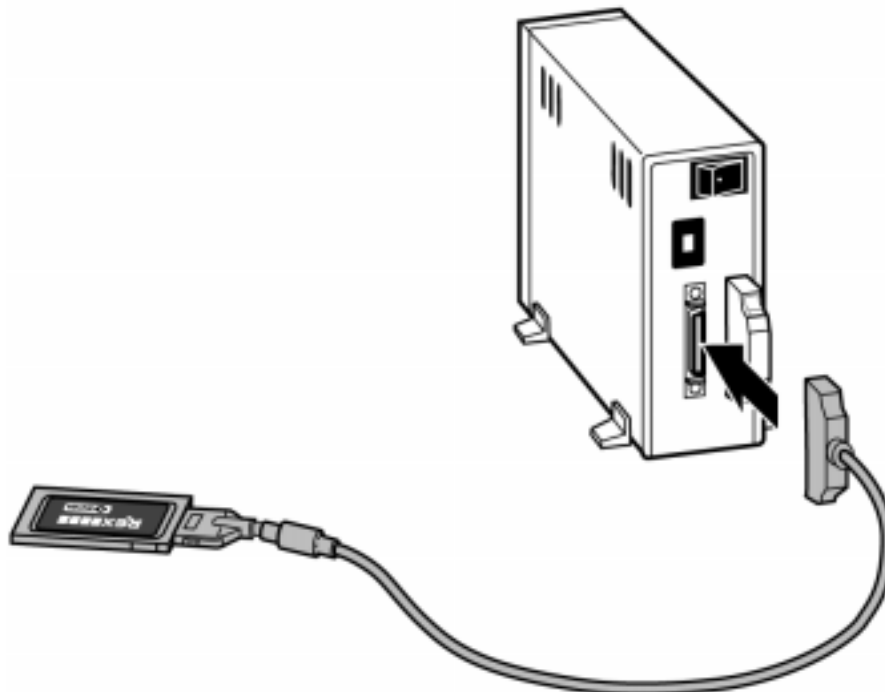


SCSI-ID番号の設定方法についてはSCSI機器のマニュアルをご覧ください。

SCSI 機器への SCSI ケーブルの接続

1. SCSI ケーブルの接続

SCSIバス接続の先頭となるSCSI機器とREX-9530を本製品添付のSCSIケーブルで接続します。SCSIケーブルの大きい方のコネクタをSCSI機器に接続します。

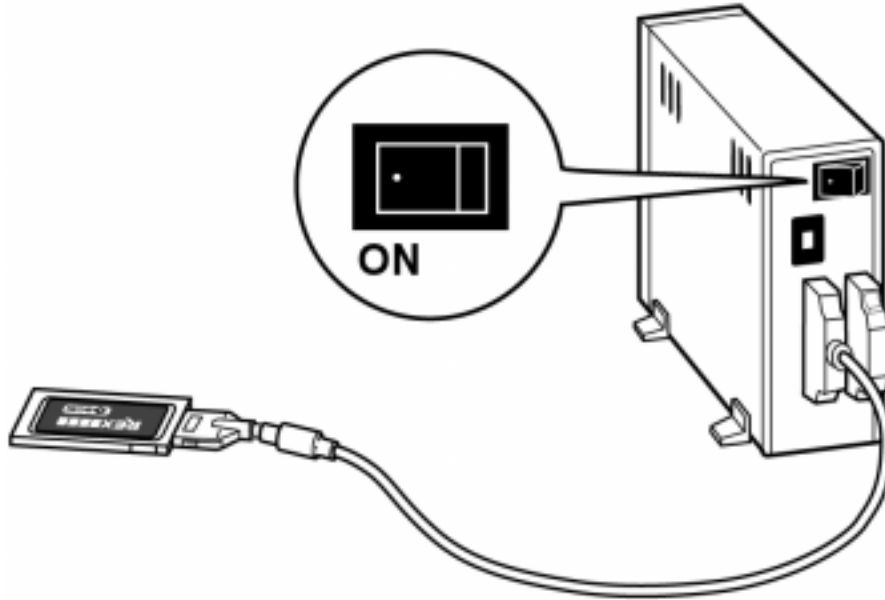


SCSI機器と本製品添付のSCSIケーブルのSCSIコネクタが一致しない場合に、変換コネクタは使用しないでください。変換コネクタによっては、SCSIケーブル側のコネクタにダメージを与えるものがあります。万が一、誤って変換コネクタを使用してコネクタを破損した場合、保証対象外となりますのでご注意ください。

本製品添付のSCSIケーブルが使用できない機器を接続する場合、別途で専用のSCSIケーブルを用意してください。詳しくは、後述「付録」の「オプションSCSIケーブル」(□ P15-3)をご覧ください。

2. SCSI 機器の電源 ON

接続したSCSI機器の電源を入れて正常に動作していることを確認します。

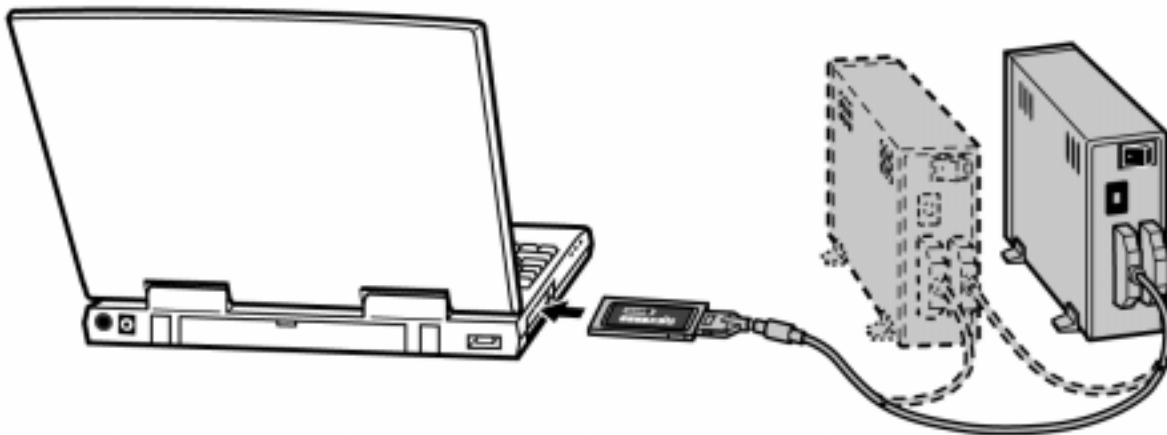


運用時の SCSI PC カードの装着と取り外し

1. SCSI PC カードの装着

必ず、REX-9530にSCSIケーブルとSCSI機器を接続した後で、SCSI機器を接続し電源を入れてパソコン本体のPCカードスロットへ装着します。

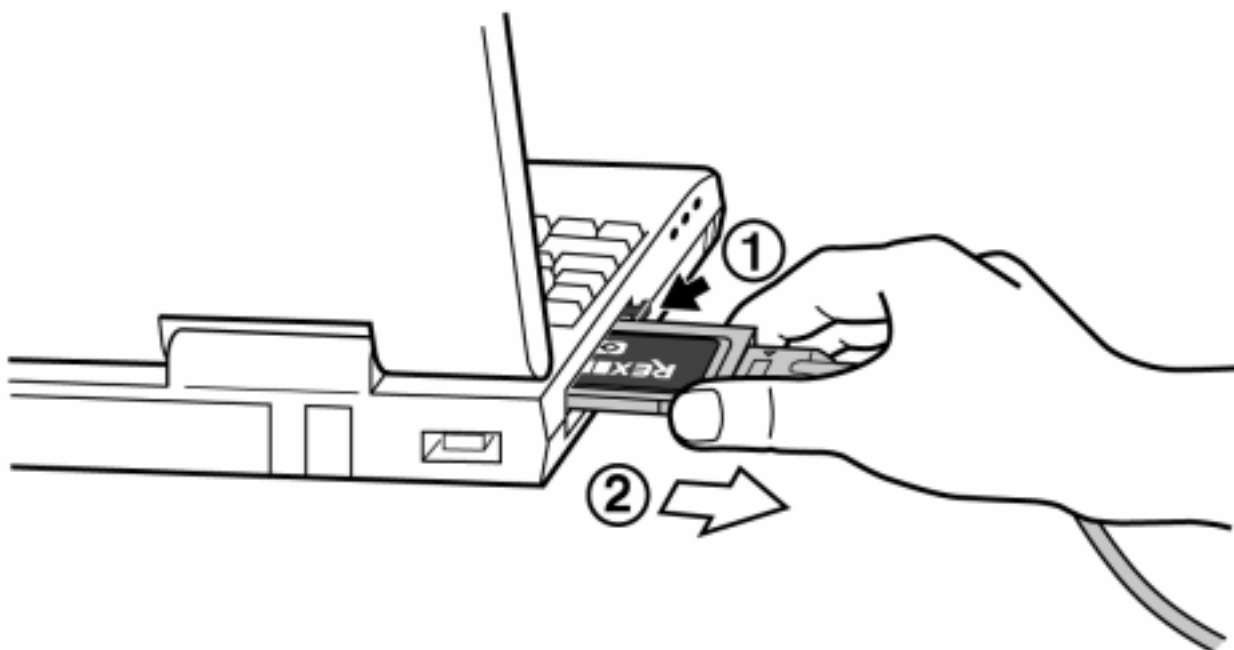
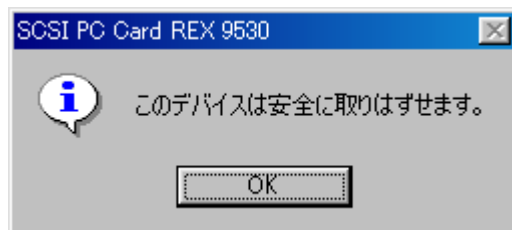
REX-9530をPCカードスロットへ装着した後で、SCSIケーブルを接続しても機器を認識しませんのでご注意ください。



2. SCSI PC カードの取り外し (Windows95/98)

REX-9530を取り外す場合は、タスクバーのPCカードアイコンを選んで [SCSI PC Card REX 9530の中止] を選択します。

右のように「安全に取りはずせます」と表示されてからPCカードスロットから抜きます。



3. Windows98 での REX-9530 のインストール

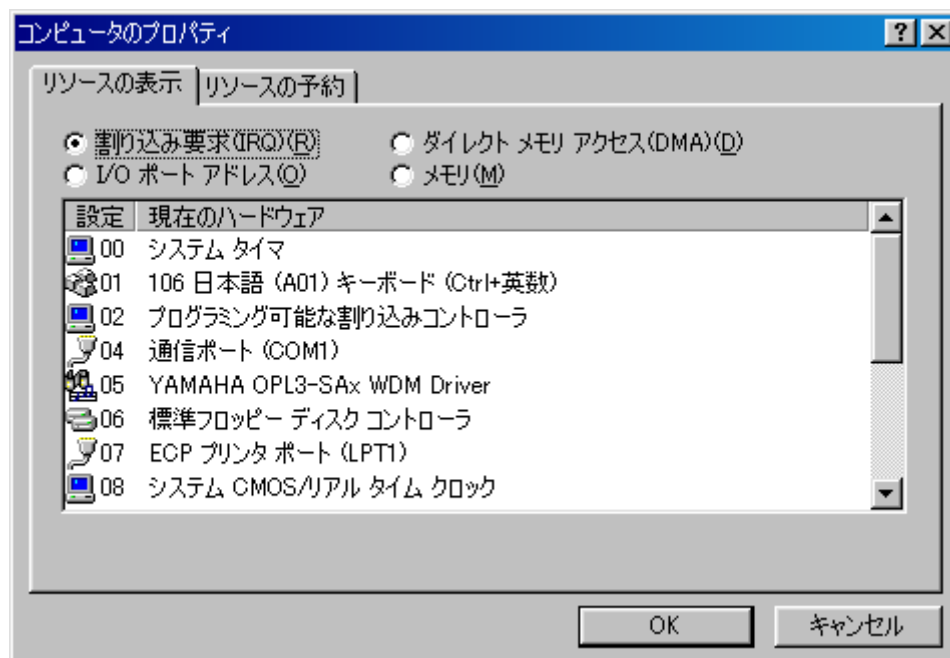
ここでは、すでに Windows98 が動作しているパソコンで SCSI PC カードを使用するためのドライバのインストール方法について説明します。

ただし、ご使用になる環境によっては、本書の手順どおりにインストールできない場合もありますのであらかじめご了承ください。また、「Windows95/Windows98 上での制限」(P 1-5) も必ずご覧ください。本書以外にも Windows98 に含まれる README ファイルや HELP ファイルで PC カード、CD、ディスクに関連した記述があります。そちらの方もあわせてご覧ください。

デバイスマネージャによる空き IRQ の確認

1. Windows98 を起動します。
SCSI PC カードを抜いた状態でパソコンを起動します。
2. [スタート] ボタンから表示される [設定] メニューの中にある [コントロールパネル] を起動します。
3. コントロールパネルの [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
4. デバイスツリーの一番上の項目 [コンピュータ] をダブルクリックして [コンピュータのプロパティ] を表示します。
そして、00~15 で非表示の番号があるか確認します。

DOS/V パソコンの例



上記例では IRQ03 が非表示のため、REX-9530 のインストールが可能です。

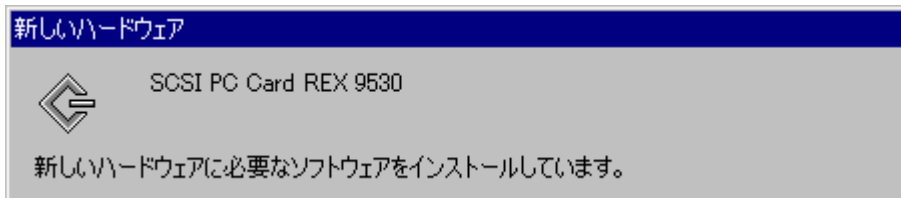
この画面で1個以上の非表示の番号があれば、REX-9530のインストールは可能です。しかし、00~15がすべて表示されている場合は、まず必要ないデバイスを使用不可にする必要があります。パソコンによってはBIOS設定でデバイスを使用しない設定にする必要があります。上記の例では、IRQ04が該当します。

ドライバのインストール

Windows98 プレインストールマシン（製品出荷時に Windows98 が組み込まれているパソコン）と Windows98 アップグレードインストールしたマシンでインストールの手順が若干異なりますのでそれぞれについて説明します。

Windows98 プレインストールマシンの場合

1. PC カードスロットへ SCSI PC カードを挿入します。
前述の「SCSI PC カードの PC カードスロットへの装着」（☞ P 2-3）にしたがって挿入します。
2. PC カードを挿入するとカードを認識して以下の画面が表示され、自動的にカードのドライバの組み込みが開始されます。



コピーが終わってしばらくすると、「ピポッ」という音がして SCSI PC カードが使用可能になります。

以上でドライバのインストールは終わりですが、Windows98 に含まれるドライバは、本製品添付のドライバディスクに含まれるものより古いバージョンとなります。そのため、後述「ドライバの更新」（☞ P 3-4）にしたがって最新のドライバへ入れ替える必要があります。

Windows98 をアップグレードインストールしたマシンの場合

インストールの途中で Windows98 の CD-ROM を要求します、前もって Windows98 の CD-ROM を用意しておいてください。

1. PC カードスロットへ SCSI PC カードを挿入します。
前述の「SCSI PC カードの PC カードスロットへの装着」(☞ P 2-3)にしたがって挿入します。
2. Windows98 の CD-ROM を要求する画面が表示されます。

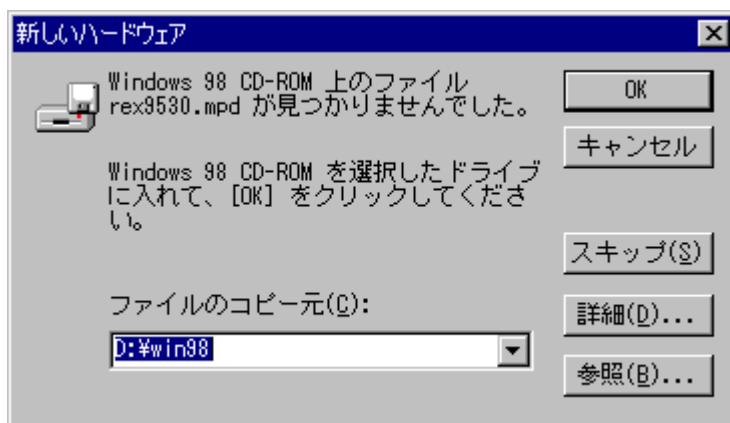
Windows98 の CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットして [OK] ボタンを押します。



3. 「rex9530.mpd が見つかりませんでした」と画面に表示されます。

ファイルのコピー元の欄に Windows98 の CD-ROM をセットしたドライブ名で win98 フォルダを入力します。

(例: CD-ROM を D ドライブにセットした場合、「D:¥win98」)



4. [OK] ボタンを押すと、CD-ROM からドライバのコピーが始まります。
コピーが終わってしばらくすると、「ピポッ」という音がして SCSI PC カードが使用可能になります。

以上でドライバのインストールは終わりですが、Windows98 に含まれるドライバは、本製品添付のドライバディスクに含まれるものより古いバージョンとなります。そのため、後述「ドライバの更新」(☞ P 3-4)にしたがって最新のドライバへ入れ替える必要があります。

**以下パソコンではドライバを更新しないと正常に動作しません。
必ず、ドライバの更新を行ってください。**

富士通 FMV-5150NA3, 5133NP, 5120NU2, 5133NP5, 5120NU5,
SANYO Winkey MBC-S770、SOTEC WinBook Slim,
IBM ThinkPad760, 560, 560E、NEC PC-9821Nr15

ThinkPad560, 560E ではドライバの更新後、さらにアダプタの設定も行う必要があります。

ドライバの更新

Windows98 に含まれるドライバは、本製品添付のドライバディスクに含まれるものより古いバージョンとなります。

そのため、以下の手順にしたがって最新のドライバへ入れ替える必要があります。

1. Windows98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの [SCSI コントローラ] 項目の左のプラス記号 [+] をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530] が表示されていることを確認します。

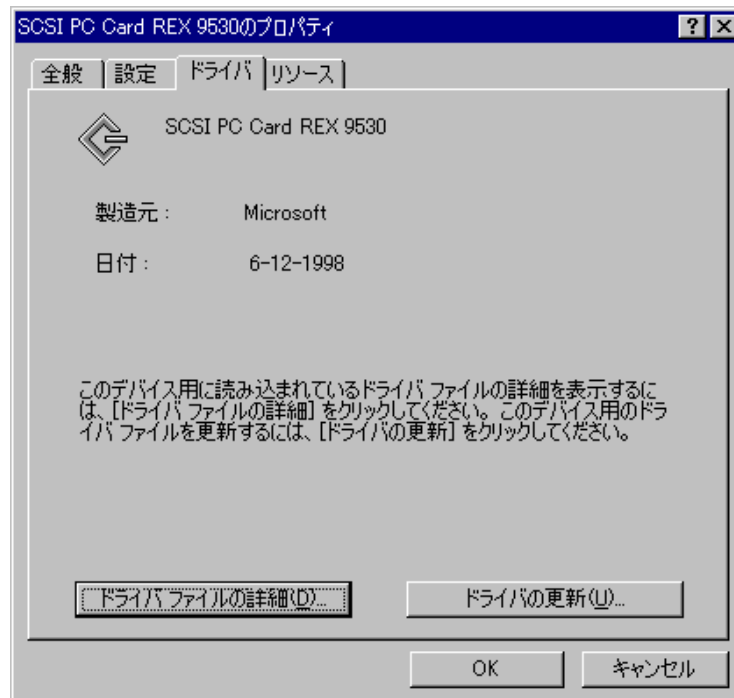


3. [SCSI PC Card REX9530] を選択し [プロパティ] ボタンを押して、プロパティウィンドウを開きます。

デバイスの状態の欄に「このデバイスは正常動作しています。」と表示されていることを確認します。



4. [ドライバ] タグを選択し、ドライバ情報の画面に切り替えて [ドライバの更新] ボタンを押します。



5. 下の「デバイスドライバの更新ウィザード」の画面が表示されます。
[次へ] を押します。



第 3 章 Windows98 での REX-9530 のインストール

6. 検索方法を選択する画面が表示されたら、「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する（推奨）」の方をチェックして [次へ] を押します。



7. 更新されたドライバの検索場所を指定する画面が表示されます。
REX-9530 に添付のドライバソフトウェアディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。
「フロッピーディスクドライブ」にチェックをして [次へ] を押します。



8. フロッピーディスクのドライバを検出した画面が表示されます。



- [次へ] を押すと、フロッピーディスクからドライバのコピーが始まります。

9. コピーが終わってしばらくすると、「ピポッ」という音がしてインストール完了の画面が表示されます。



10. [完了] を押すと、REX-9530 のプロパティ画面に戻ります。



11. 最後に、フロッピーディスクをドライブから抜きます。

以上でドライバの更新作業は終わりです。後述「SCSI ユーティリティのインストール」(☞ P 3-11)に進みます。

IBM ThinkPad560, 560E の場合は、必ず次の「アダプタの設定」(☞ P 3-9)で、「/BM」を設定してください。

アダプタの設定

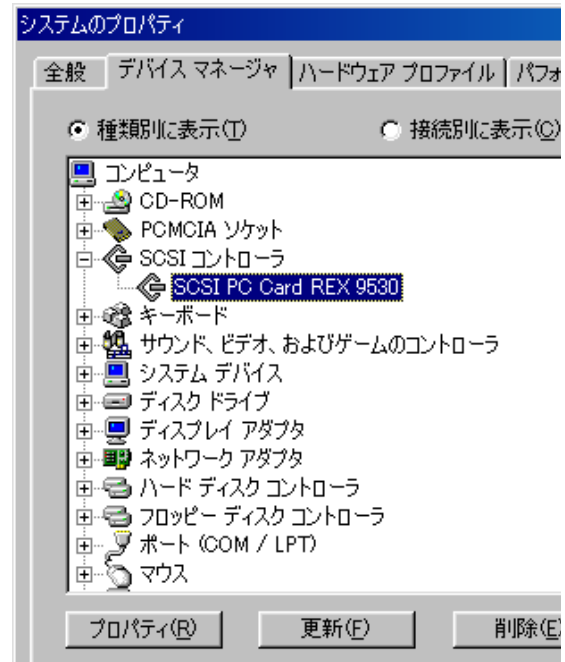
REX-9530 のプロパティにあるアダプタの設定で REX-9530 の動作を細かく指定することができます。

アダプタの設定は以下の手順で行います。

1. Windows98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。

2. デバイスマネージャの [SCSI コントローラ] 項目の左のプラス記号 [+] をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530] が表示されていることを確認します。

3. [SCSI PC Card REX9530] を選択し [プロパティ] ボタンを押して、プロパティウィンドウを開きます。



4. [設定] タグを選択し、アダプタの設定の画面に切り替えます。

5. アダプタの設定の欄に REX-9530 の動作オプション文字列を入力します。
設定できる動作オプション文字列は、後述「REX-9530 の動作オプション文字列」をご覧ください。

6. アダプタの設定の欄への入力が終わったら、[OK] ボタンを押します。



REX-9530 の動作オプション文字列

オプション書式

/BM /ASn /NDn /PARITYOFF

各オプション

/BM

BM モード（バイトアクセスモード）の指定。

IBM ThinkPad560, 560E で使用する場合は、必ずこの指定を入れてください。

/ASn

特定の機器と非同期モードでアクセスする指定です。

n には非同期モードアクセスする機器の SCSI-ID 番号を「0」～「6」の 1 桁の数字で指定します。イメージスキャナ等で非同期モードしかサポートしていない SCSI 機器をつなぐ場合や、同期モードで動作が不安定な場合に指定します。

このオプションは複数指定が可能です。また、「/AS」のみを指定すると接続されたすべての機器に対して非同期モードアクセスをします。

例) /AS4 /AS6 SCSI-ID 番号 4,6 に対して非同期モードでアクセスする指定です。

/NDn

特定の機器に対して切断処理（ディスコネクト - リコネクト処理）を実行しない指定です。

n には切断処理を実行しない機器の SCSI-ID 番号を「0」～「6」の 1 桁の数字で指定します。

このオプションは複数指定が可能です。また、「/ND」のみを指定すると接続されたすべての機器に対して切断処理を実行しません。

例) /ND4 /ND6 SCSI-ID 番号 4,6 に対して切断処理を実行しない指定です。

/PARITYOFF

データ転送時にパリティチェックを無効にする指定です。

古い SCSI 機器でパリティチェックが有効だと正常に動作しない場合に指定してください。

SCSI ユーティリティのインストール

SCSI フォーマットユーティリティ (RexFmt95) , SCSI 機器接続確認ユーティリティ (WinSSC) のインストールを行います。

1. 本製品に添付するドライバソフトウェアディスクをフロッピードライブに挿入して、デスクトップ画面の [マイコンピュータ] からディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. Setup95 のアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動します。
3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると、[スタート] ボタンから表示される [プログラム] メニューの中に [REX SCSI ユーティリティ] が追加されます。

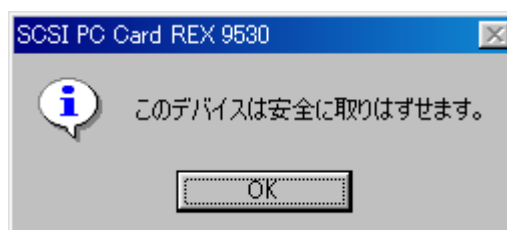
各ユーティリティに関する説明は、「Windows95/98 用 SCSI ユーティリティについて」(P 7-1) をご覧ください。



SCSI 機器の接続と再起動

1. SCSI PC カードの取り外し
Windows98 のタスクバーにある PC カードのアイコン [SCSI PC Card REX 9530 の中止] を選択します。

右のように「安全に取りはずせます」と表示された後に、SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。



2. 前述の「SCSI ケーブルの接続と SCSI 機器の設定」(P 2-4) にしたがって SCSI 機器を接続します。そして、SCSI 機器の電源を入れます。
3. そして、SCSI PC カードを再度 PC カードスロットに挿入します。
「ピポッ」という音がして自動的にドライバがロードされます。
4. 最後に、Windows98 を再起動します。

ドライバの確認

ドライバが正しくインストールされているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530]が表示されていることを確認します。



3. 登録されていない場合は、次の確認をします。

「CD-ROM」「ディスクドライブ」「その他のデバイス」「不明なデバイス」等の項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530]が誤って登録されていないか確認します。登録されている場合は、後述「REX-9530 が SCSI コントローラ以外に登録された場合 (Windows95 / 98) 」(☞ P 14-17)にしたがって、ドライバを再登録してください。また、全く登録されていない場合も、ドライバを再登録します。

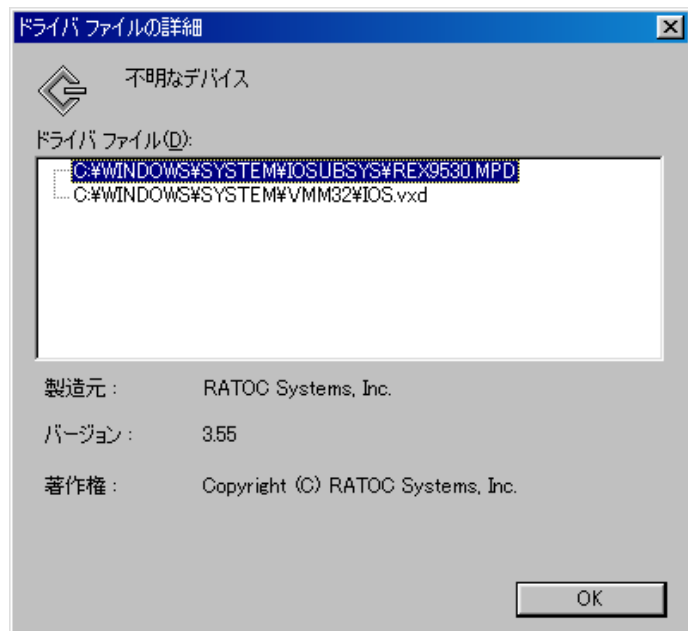
4. [SCSI PC Card REX 9530]項目が 2 個以上登録されている場合、後述「REX-9530 が 2 個以上登録された場合 (Windows95 / 98) 」(☞ P 14-18)にしたがって、ドライバを再登録してください。
5. [SCSI PC Card REX 9530]項目の先頭のアイコンに「!」「X」「?」表示があるか確認します。
 - ・「!」表示がある場合は、リソースが競合しています。この場合は、後述の「リソースの変更」(☞ P 3-14)にしたがってリソースを変更します。

6. [SCSI PC Card REX 9530]のプロパティウィンドウを表示して[ドライバ]を選択してドライバが登録されているか確認します。



7. 「ドライバファイルの詳細」を押してドライバのバージョンを確認しておきます。

バージョンが「3.30」の場合は、ドライバの更新が正しく行われていません。前述「ドライバの更新」(P 3-4)にしたがって最新のドライバへ入れ替える必要があります。



リソースの変更

ここでの作業は、REX-9530 が他のデバイスとの競合などによりリソースを変更する必要がある場合に行います。

デバイスとの競合などが発生していない場合は特に必要ありませんので、そのまま次へ進みます。

1. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530]を選択してプロパティウィンドウを開き、[リソース]タグをクリックします。
2. [自動設定を使う(U)] のチェックを外します。
3. [基にする設定] を変更して競合しない値を選択します。
4. [OK] ボタンを押すと「ピポッ」という音がしてカードが使用可能になります。



SCSI 機器の確認

SCSI 機器を正しく認識しているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスツリー表示の項目を確認します。
「CD-ROM」「ディスクドライブ」項目等の左のプラス記号(+)をクリックして、接続機器のベンダー名(メーカー名)や型番が含まれているか確認します。
表示されていない場合は、SCSI 機器の設定や SCSI ケーブルの接続を確認してください。

本製品添付のドライバソフトウェアディスクに含まれる「WINSSC」コマンドでも接続機器を確認できます。詳しくは、後述の「WinSSC - Windows95/98用SCSI機器接続確認ユーティリティ」(P 7-3)をご覧ください。

4 . Windows95 での REX-9530 のインストール

ここでは、すでに Windows95 が動作しているパソコンで SCSI PC カードを使用するためのドライバのインストール方法について説明します。

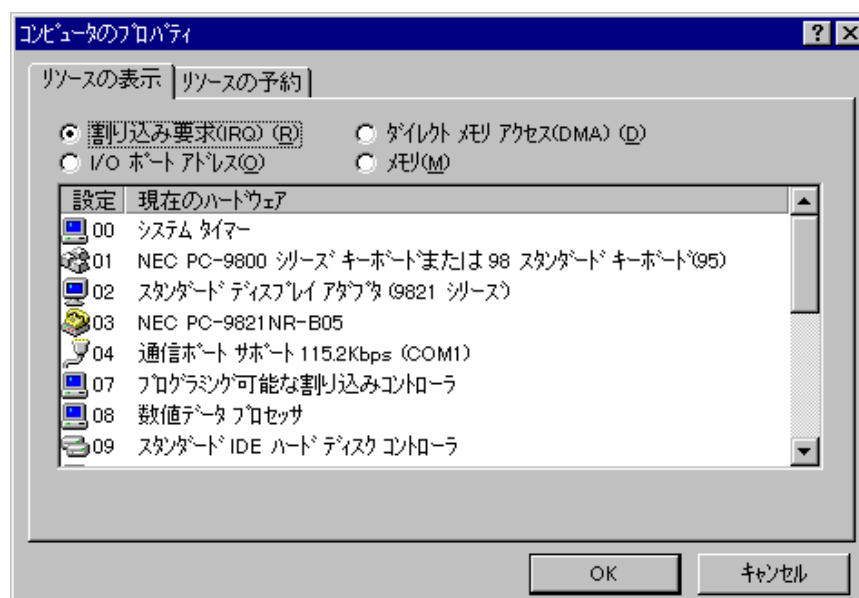
ただし、ご使用になる環境によっては、本書の手順どおりにインストールできない場合もありますのであらかじめご了承ください。また、「Windows95/Windows98 上での制限」(P1-5)も必ずご覧ください。本書以外にも Windows95 に含まれる README ファイルや HELP ファイルで PC カード、CD、ディスクに関連した記述があります。そちらの方もあわせてご覧ください。

Windows95をこれからインストールする場合には、後述「SCSI PCカードで Windows95をインストールする」(P5-1)をご覧ください。

デバイスマネージャによる空き IRQ の確認

1. Windows95 を起動します。
SCSI PC カードを抜いた状態でパソコンを起動します。
2. [スタート] ボタンから表示される [設定] メニューの中にある [コントロールパネル] を起動します。
3. コントロールパネルの [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
4. デバイスツリーの一番上の項目 [コンピュータ] をダブルクリックして [コンピュータのプロパティ] を表示します。
そして、00～15 で非表示の番号があるか確認します。

NEC PC-9800 シリーズの例



上記例では IRQ05、IRQ06 が非表示のため、REX-9530 のインストールが可能です。

この画面で1個以上の非表示の番号があれば、REX-9530のインストールは可能です。しかし、00～15がすべて表示されている場合は、まず必要ないデバイスを使用不可にする必要があります。パソコンによってはBIOS設定でデバイスを使用しない設定にする必要があります。上記の例では、IRQ03やIRQ04が該当します。

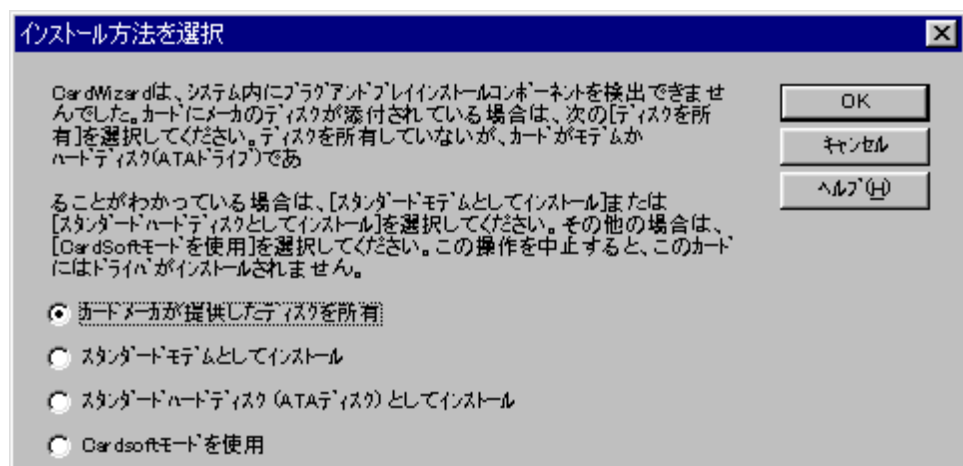
ドライバのインストール

1. PC カードスロットへ SCSI PC カードを挿入します。
前述の「SCSI PC カードの PC カードスロットへの装着」(☞ P2-3)にしたがって挿入します。
2. ドライバを登録するための画面が表示されますが、Windows95 のバージョンによって表示される画面が少し異なります。

表示画面	Windows95 のバージョン
デバイスドライバウィザードの画面	4.00.950 B (95B, OSR2)
新しいハードウェアの検出画面	4.00.950, 4.00.950a

Windows95 のバージョンは、[コントロールパネル]の[システム]を開き、[情報]画面のシステムの項目で確認できます。

「デバイスドライバウィザード」や「新しいハードウェアの検出」の画面が表示されずに「CardWizard による検知」という画面が表示された後、下の「インストール方法を選択」という画面が表示される場合があります。



この場合、後述「CardWizard (CardWorks) の画面が起動する場合」(☞ P4-6)をご覧ください。

- ・「デバイスドライバウィザード」「新しいハードウェアの検出」「CardWizard」の画面等が表示されない場合は、16ビットモードのカードサービスが動作している可能性があります。
この場合、[PCカードウィザード]を実行してPCカードサポートに必要な32ビットWindowsドライバをインストールしてください。
[PCカード]アイコンがない場合、[PCMCIAコントローラ]を[ハードウェアウィザード]から登録してください。
- ・SCSIコントローラは、[ハードウェアウィザード]からは登録しないでください。

Windows95 のバージョンによってインストール手順が若干異なりますのでそれぞれについて説明します。

デバイスドライバウィザードの画面の場合 - Windows95B/95C(OSR2.x)

デバイスドライバウィザードの画面が表示される場合、以下の手順でインストールします。

1. 本製品に添付するドライバソフトウェアディスクをフロッピードライブに挿入して [次へ] ボタンを押します。



2. 下のように「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました」と画面に表示されます。ここで [完了] ボタンを押します。



3. 下の確認画面が表示される場合がありますが、これは REX-9530 添付のドライバディスクのことですので、そのまま [OK] ボタンを押します。



第 4 章 Windows95 での REX-9530 のインストール

- さらに下のように「ファイル REX9530.MPD が見つかりませんでした」と画面に表示される場合もあります。



- この場合は、ファイルのコピー元の欄にフロッピーディスクのドライブ名に「:」と「¥」をつけて入力します。

パソコンの機種	コピー元
PC/AT 互換機	A:¥
NEC PC-9821 シリーズ	C:¥

- [完了] または [OK] ボタンを押すと、フロッピーディスクからドライバのコピーが始まります。
- コピーが終わってしばらくすると、「ピポッ」という音がして SCSI PC カードが使用可能になります。
- 最後に、フロッピーディスクをドライブから抜きます。

以上でドライバのインストールは終わりです。後述「SCSI ユーティリティのインストール」(P4-9)に進みます。

新しいハードウェアの検出画面の場合

新しいハードウェアの検出画面が表示される場合、以下の手順のインストールします。

- 新しいハードウェアを登録するための画面が表示されます。
「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択して [OK] ボタンを押します。



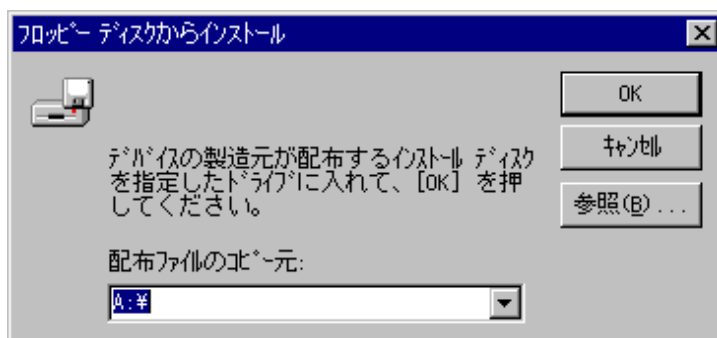
2. 次にドライバディスクを指定する画面が表示されます。

本製品に添付のドライバソフトウェアディスクをフロッピードライブに挿入します。

「配布ファイルのコピー元」の欄にフロッピーディスクのドライブ名に「:」と「¥」をつけて入力します。ただし、

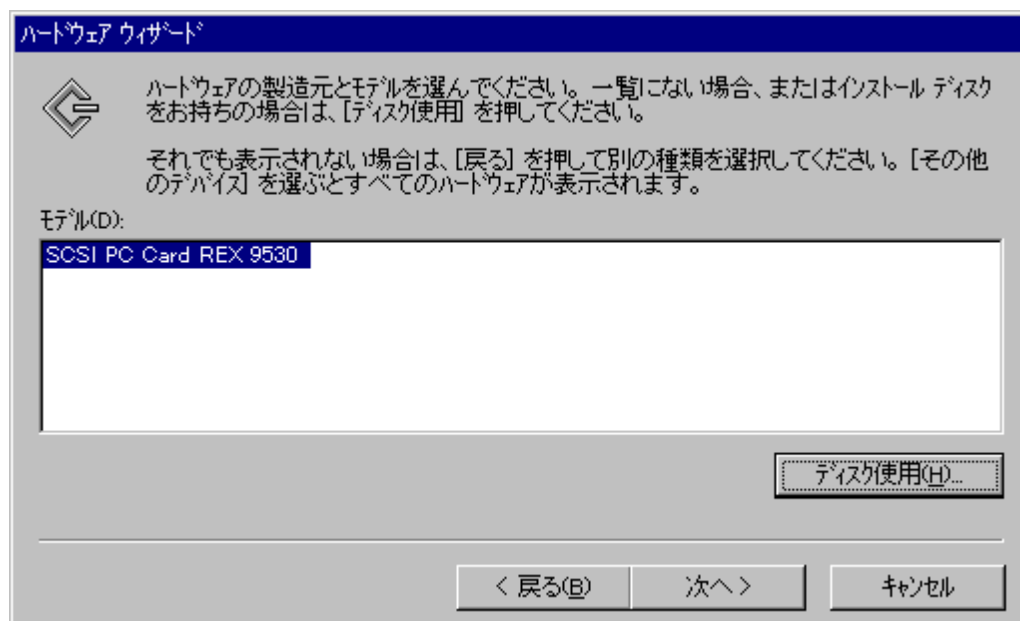
NEC PC-9821Ne と EPSON PC(98

互換機) の場合は、下表のパス名を入力します。



パソコンの機種	コピー元
PC/AT 互換機	A:¥
NEC PC-9821 シリーズ (PC-9821Ne は除く)	C:¥
NEC PC-9821Ne のみ (PC-9821Ne2, Ne3 は除く)	C:¥98¥PC9821Ne
EPSON PC (98 互換機)	C:¥EP

3. [OK] ボタンを押すと、次のドライバ選択画面が表示されます。



[SCSI PC Card REX 9530] を選択して [次へ>] ボタンを押すと、フロッピーディスクからドライバのコピーが始まります。

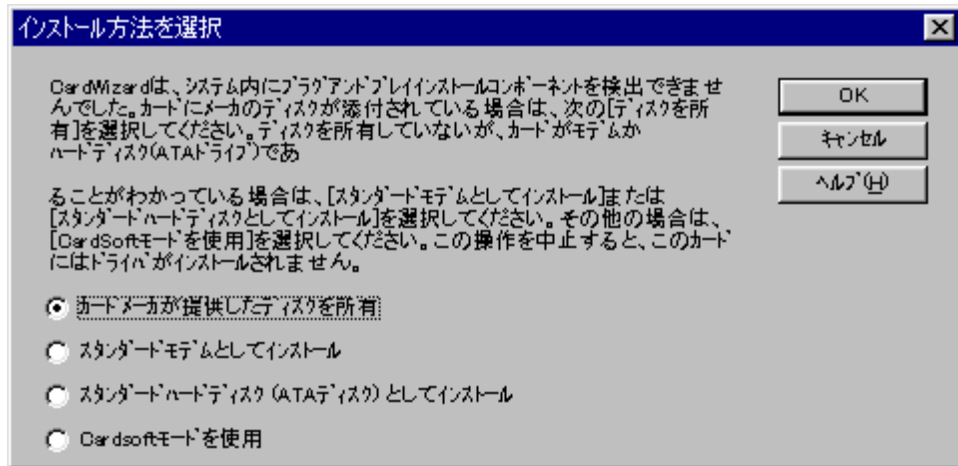
4. コピーが終わってしばらくすると、「ピポッ」という音がして SCSI PC カードが使用可能になります。
5. 最後に、フロッピーディスクをドライブから抜きます。

以上でドライバのインストールは終わりです。後述の「SCSI ユーティリティのインストール」(P4-9) に進みます。

CardWizard (CardWorks) の画面が起動する場合

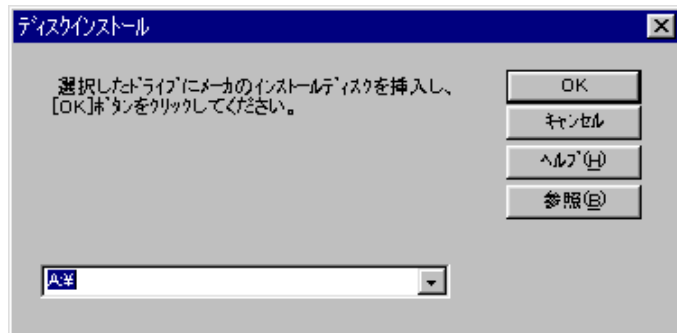
CardWizard(CardWorks)の画面が表示される場合、以下の手順でインストールします。

1. 「インストール方法を選択」の画面で「カードメーカーが提供したディスクを所有」を選択して、[OK] を押します。



2. 次にドライバディスクを指定する画面が表示されます。

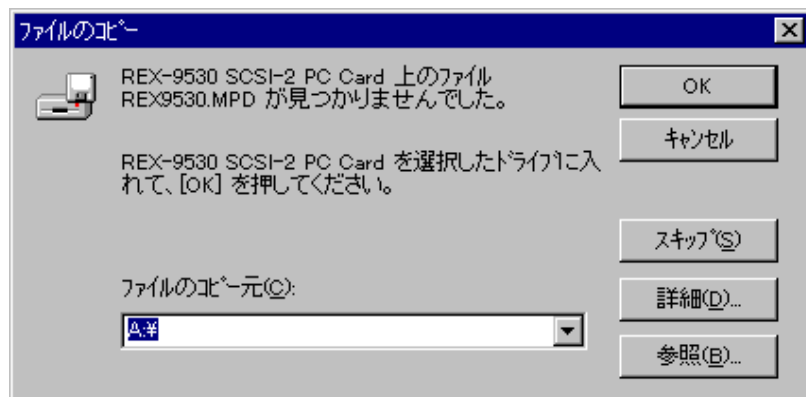
本製品に添付のドライバソフトウェアディスクをフロッピードライブに挿入します。
入力欄にディスクを挿入したドライブ名を入力します。



3. REX-9530 を新しいハードウェアとして検出します。
4. 下の確認画面が表示される場合がありますが、これは REX-9530 添付のドライバディスクのことですので、そのまま [OK] ボタンを押します。



5. さらに下のように「ファイル REX9530.MPD が見つかりませんでした」と画面に表示される場合があります。
再度、ディスクを挿入したドライブ名を入力します。



6. ドライバのコピーが終わると、CardWizard によって REX-9530 が認識されている画面が表示されます。

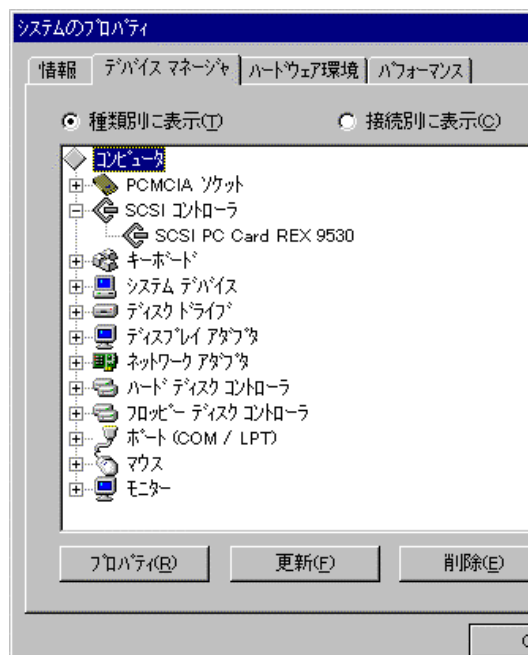
以上でドライバのインストールは終わりです。後述「SCSI ユーティリティのインストール」(P4-9)に進みます。

アダプタの設定

REX-9530 のプロパティにあるアダプタの設定で REX-9530 の動作を細かく指定することができます。

アダプタの設定は以下の手順で行います。

1. Windows98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの [SCSI コントローラ] 項目の左のプラス記号 [+] をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530] が表示されていることを確認します。
3. [SCSI PC Card REX9530] を選択し [プロパティ] ボタンを押して、プロパティウィンドウを開きます。
4. [設定] タグを選択し、アダプタの設定の画面に切り替えます。
5. アダプタの設定の欄に REX-9530 の動作オプション文字列を入力します。
設定できる動作オプション文字列は、後述「REX-9530 の動作オプション文字列」をご覧ください。
6. アダプタの設定の欄への入力が終わったら、[OK] ボタンを押します。



REX-9530 の動作オプション文字列

オプション書式

```
/BM /ASn /NDn /PARITYOFF
```

各オプション

/BM

BM モード（バイトアクセスモード）の指定。

IBM ThinkPad560, 560E で使用する場合は、必ずこの指定を入れてください。

/ASn

特定の機器と非同期モードでアクセスする指定です。

n には非同期モードアクセスする機器の SCSI-ID 番号を「0」～「6」の 1 桁の数字で指定します。イメージスキャナ等で非同期モードしかサポートしていない SCSI 機器をつなぐ場合や、同期モードで動作が不安定な場合に指定します。

このオプションは複数指定が可能です。また、「/AS」のみを指定すると接続されたすべての機器に対して非同期モードアクセスをします。

例) /AS4 /AS6 SCSI-ID 番号 4,6 に対して非同期モードでアクセスする指定です。

/NDn

特定の機器に対して切断処理（ディスコネクト - リコネクト処理）を実行しない指定です。

n には切断処理を実行しない機器の SCSI-ID 番号を「0」～「6」の 1 桁の数字で指定します。

このオプションは複数指定が可能です。また、「/ND」のみを指定すると接続されたすべての機器に対して切断処理を実行しません。

例) /ND4 /ND6 SCSI-ID 番号 4,6 に対して切断処理を実行しない指定です。

/PARITYOFF

データ転送時にパリティチェックを無効にする指定です。

古い SCSI 機器でパリティチェックが有効だと正常に動作しない場合に指定してください。

SCSI ユーティリティのインストール

SCSI フォーマットユーティリティ (RexFmt95) , SCSI 機器接続確認ユーティリティ (WinSSC) のインストールを行います。

1. 本製品に添付するドライバソフトウェアディスクをフロッピードライブに挿入して、デスクトップ画面の [マイコンピュータ] からディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. Setup95 のアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動します。
3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると、[スタート] ボタンから表示される [プログラム] メニューの中に [REX SCSI ユーティリティ] が追加されます。



各ユーティリティに関する説明は、「7. Windows95/98 用 SCSI ユーティリティについて」(P7-1) をご覧ください。

SCSI 機器の接続と再起動

1. SCSI PC カードの取り外し

Windows95 のタスクバーにある PC カードのアイコン [SCSI PC Card REX 9530 の中止] を選択します。

「安全に取りはずせます」と表示された後に、SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。



2. 前述の「SCSI ケーブルの接続と SCSI 機器の設定」(P2-4)にしたがって SCSI 機器を接続します。そして、SCSI 機器の電源を入れます。
3. そして、SCSI PC カードを再度 PC カードスロットに挿入します。
「ピポッ」という音がして自動的にドライバがロードされます。
4. 最後に、Windows95 を再起動します。

ドライバの確認

ドライバが正しくインストールされているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows95 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530]が表示されていることを確認します。



3. 登録されていない場合は、次の確認をします。

「CD-ROM」「ディスクドライブ」「その他のデバイス」「不明なデバイス」等の項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530]が誤って登録されていないか確認します。登録されている場合は、後述「REX-9530 が SCSI コントローラ以外に登録された場合 (Windows95 / 98) 」(☞ P14-17)にしたがって、ドライバを再登録してください。また、全く登録されていない場合も、ドライバを再登録します。

Windows95B(OSR2)の場合、[その他のデバイス]の中に「? PCMCIA Card Services」, 「? PCMCIA カードサービス」という項目が表示されていますが、「?」マークはエラーではありません。
この項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除するとPCカードが使用できなくなりますので、注意してください。

4. [SCSI PC Card REX 9530]項目が 2 個以上登録されている場合、後述「REX-9530 が 2 個以上登録された場合 (Windows95 / 98) 」(☞ P14-18)にしたがって、ドライバを再登録してください。
5. [SCSI PC Card REX 9530]項目の先頭のアイコンに「!」「X」「?」表示があるか確認します。
 - ・「!」表示がある場合は、リソースが競合しています。この場合は、後述の「リソースの変更」にしたがってリソースを変更します。
6. [SCSI PC Card REX 9530]のプロパティウィンドウを表示してドライバが登録されているか確認します。
 - ・ Windows95B (OSR2) より古い Windows95 の場合、[ドライバ] タグをクリックして [ドライバファイル(D)] のリストに [REX9530.MPD] が表示されていることを確認します。

- ・ Windows95B(OSR2)の場合、右の画面のように「このデバイスには、ドライバファイルが必要でないか、または読み込まれていません」と表示されますが、これで正常です。



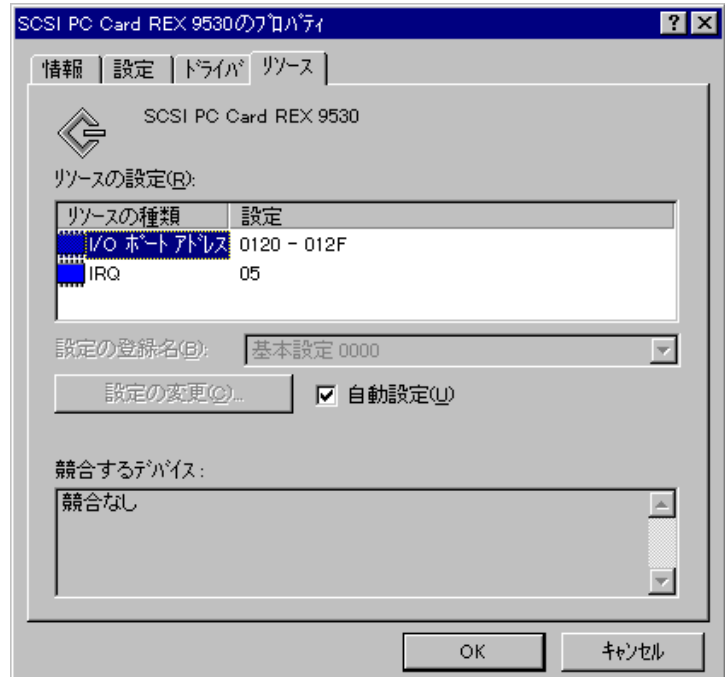
- ・ 確認したら、[OK] ボタンを押してデバイスマネージャのウィンドウに戻ります。
- ・ [ドライバ] タグが表示されていない場合は、ドライバを再登録してください。

リソースの変更

ここでの作業は、REX-9530 が他のデバイスとの競合などによりリソースを変更する必要がある場合に行います。

デバイスとの競合などが発生していない場合は特に必要ありませんので、そのまま次へ進みます。

1. デバイスマネージャの「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530]を選択してプロパティウィンドウを開き、[リソース]タグをクリックします。
2. [自動設定(U)]のチェックを外します。
3. [基本設定の登録名] を変更して競合しない値を選択します。
4. [OK] ボタンを押すと「ピポッ」という音がしてカードが使用可能になります。



SCSI 機器の確認

SCSI 機器を正しく認識しているかの確認は以下の手順で行います。

1. Windows95 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスツリー表示の項目を確認します。
「CD-ROM」「ディスクドライブ」項目等の左のプラス記号(+)をクリックして、接続機器のベンダー名(メーカー名)や型番が含まれているか確認します。
表示されていない場合は、SCSI 機器の設定や SCSI ケーブルの接続を確認してください。

本製品添付のドライバソフトウェアディスクに含まれる「WINSSC」コマンドでも接続機器を確認できます。詳しくは、後述の「WinSSC - Windows95//98用SCSI機器接続確認ユーティリティ」(P7-3)をご覧ください。

5 . SCSI PC カードで Windows95 をインストールする

ここでは、Windows3.1 から Windows95 へアップグレードする作業に SCSI PC カードを使用する場合について説明します。

SCSI PCカードに接続されたディスクへWindows95をインストールすることはできませんのでご注意ください。

SCSI PCカードに接続したCD-ROMを使用してWindows95へアップグレードするには次のインストール作業が必要です。

1 . Windows3.1 上で SCSI PC カードに接続した CD-ROM が使用できるようにする。

PC カードスロットが Windows3.1 上で使用できるようにします。
必要であればカードサービスのインストールを行います。

SCSI PC カード、CD-ROM が Windows3.1 上で使用できるようにします。
本製品添付の Windows3.1 用のインストーラを使用して行います。



2 . SCSI 機器の接続

CD-ROM ドライブの設定、SCSI ケーブルの接続後、電源を入れます。
詳しくは、前述「SCSI ケーブルの接続と SCSI 機器の設定」(P2-4) をご覧ください。

パソコンを再起動して CD-ROM が読み出せることを確認します。



3 . Windows95 のインストールをする。

CD-ROM ドライブに Windows95 の CD-ROM をセットして Windows95 のインストールプログラムを起動します。

インストール途中で本製品添付のドライバソフトウェアディスクからドライバを読み込ませます。



4 . インストールが終了したら、Windows95 の再起動で終了です。

MS-DOSのみがインストールされている環境からWindows95をインストールする場合は、後述「添付のインストーラを使用しない場合」(P14-6)にある手順でDOS用のドライバ類をインストール後、「SCSIケーブルの接続とSCSI機器の設定」(P2-4)から順に作業してください。

第 5 章 SCSI PC カードで Windows95 をインストールする

DOS/Windows3.1 での準備

まず最初に、Windows3.1 上で CD-ROM が使用できる状態にします。

Windows3.1 上でのインストーラの実行

1. 最初に、Windows3.1 を起動します。
2. プログラムマネージャの [アイコン(F)] メニューの [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. [コマンドライン(C):] の入力欄に「 A:¥SETUPW31.EXE 」を入力して [OK] ボタンを押します。
インストーラが起動したら画面の指示にしたがって作業を進めます。
4. インストールが正常に終了したら、Windows3.1 を終了します。



CD-ROM ドライブの設定と接続

1. SCSI PC カードの装着、各ケーブルの接続、CD-ROM ドライブの設定後、CD-ROM ドライブの電源を入れて、パソコン本体を再起動 (リセット) します。
CD-ROM ドライブに添付のドライバ等のソフトウェアをインストールする必要はありません。
SCSI カードの装着やケーブルの接続については、前述の以下の項をご覧ください。
 - ・「SCSI PC カードの PC カードスロットへの装着」 (P2-3)
 - ・「SCSI ケーブルの接続と SCSI 機器の設定」 (P2-4)
2. パソコン再起動後、Windows3.1 を起動してファイルマネージャから CD-ROM ドライブを確認します。

CD-ROM ドライブが認識されない場合

ファイルマネージャから CD-ROM ドライブが確認できない場合、Windows3.1 を終了して DOS に戻り、本製品添付のドライバソフトウェアディスクに含まれる SSC コマンドを実行して次のことを確認してください。

SSC の実行結果	確認事項
CD-ROM を認識している場合	Windows3.1 を起動する前に MSCDEX でドライブが割り当てられているか AUTOEXEC.BAT の記述を確認します。
「ASPI マネージャが登録されていません」と表示された場合	PC カードの装着や CONFIG.SYS の記述を確認します。
CD-ROM を認識しない場合	CD-ROM ドライブの設定や SCSI ケーブルの接続等を確認します。

詳しくは、後述の「SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド」 (P12-11) および「13. DOS/Windows3.1 用 SCSI 関連ドライバについて」 (P13-1) をご覧ください。

Windows 95 のインストール

Windows3.1 上で CD-ROM が使用できる状態になったら、Windows95 のインストールを進めます。

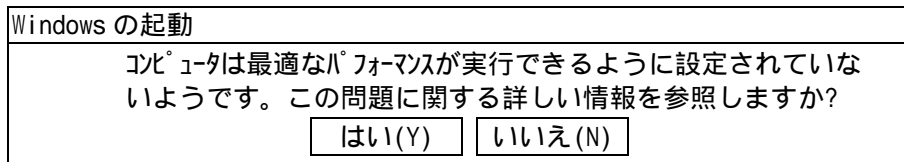
Windows95 のインストールの開始

1. Windows 3.1 を起動します。
2. プログラムマネージャの [アイコン(F)] メニューの [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. コマンドライン(C): の入力欄に「D:¥SETUP」を入力して OK ボタンを押します。

この例では、ドライブ「D:」が CD-ROM ドライブに割り当たっているものとして説明しています。

Windows95 のインストーラが起動したら画面の指示にしたがって作業を進めていきます。ファイルのコピーが終了したら Windows95 が起動して Windows95 のセットアップが実行されます。

Windows95 のセットアップが終了すると、以下の表示となる場合があります。

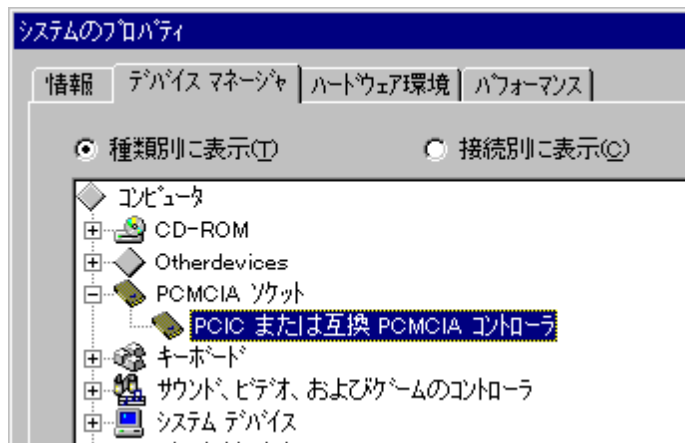


この時点では、まだ 16 ビット版の PCMCIA ドライバおよび ASPI マネージャ等が登録されているためですが、[いいえ] をクリックしてこのまま作業を進めてください。

PC カード(PCMCIA) プロパティの設定

1. コントロールパネルを開きます。
[スタート] - [設定(S)] - [コントロールパネル(C)] メニューで開きます。
2. コントロールパネルの中の [システム] を起動します。
[システム] アイコンをダブルクリックします。
3. デバイスマネージャを開きます。
[デバイスマネージャ] タグをクリックするとデバイスツリー表示に切り替わります。
4. PCMCIA のプロパティの設定画面を開きます。

[PCIC または互換 PCMCIA コントローラ] または [NEC PCMCIA Controller] をダブルクリックするとプロパティ画面が表示されます。



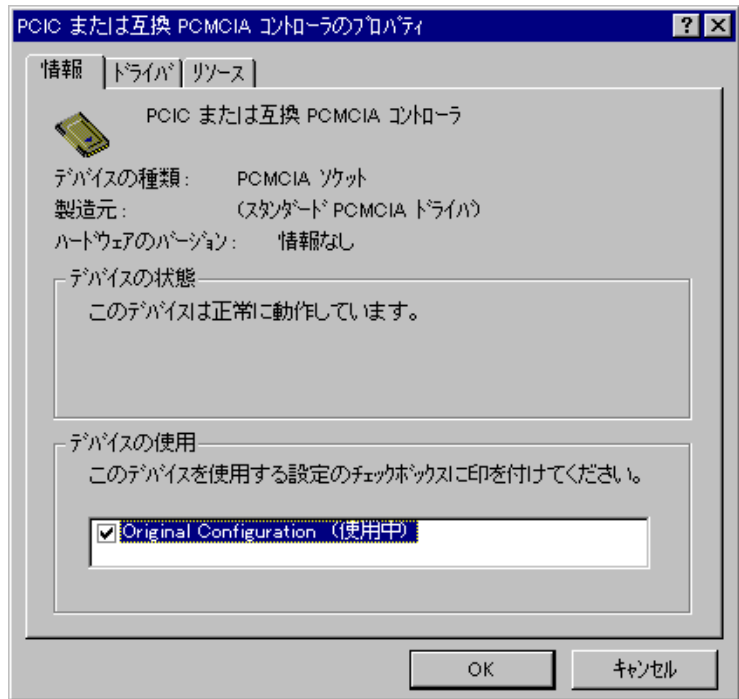
PCMCIA コントローラの項目が表示されていない場合は、

[PCMCIA ソケット] をダブルクリックして表示させてください。

第 5 章 SCSI PC カードで Windows95 をインストールする

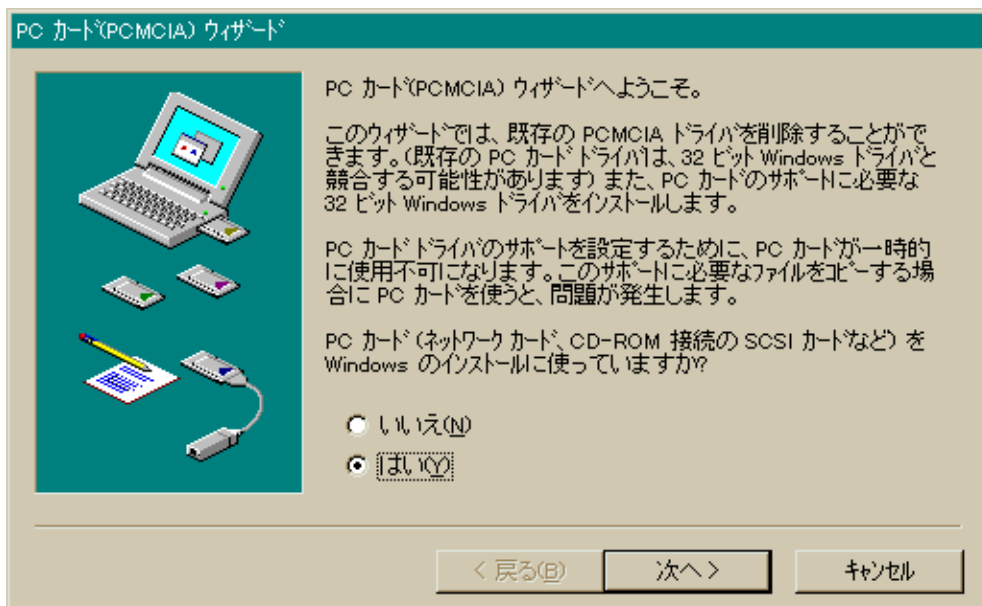
5. デバイス使用の設定

画面下の [デバイスの使用] にある 「 Original Configuration (使用中) 」 または 「 Undocked (使用中) 」 の先頭の をチェックします。



最後に、[OK] ボタンをクリックすると次の PC カード (PCMCIA) ウィザードの画面が表示されます。

PC カード (PCMCIA) ウィザードの起動



注意

必ず、「はい」を選択してください。
「いいえ」を選択すると Windows95 のインストールができなくなりますので注意してください。

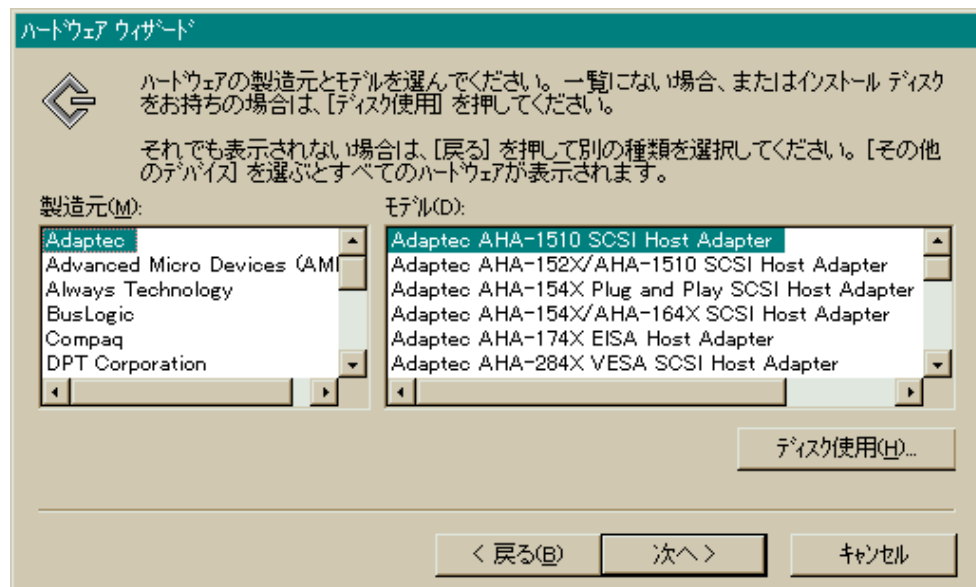
[次へ >] ボタンをクリックして次に進みます。

ハードウェア ウィザードの起動

1. PC カード(PCMCIA) ウィザードに続き、ハードウェアウィザードが自動的に起動します。



[SCSI コントローラ] をクリックして選択します。



[次へ >] ボタンをクリックして次に進みます。

本製品は一覧にないので [ディスク使用(H)...] ボタンをクリックします。

第 5 章 SCSI PC カードで Windows95 をインストールする

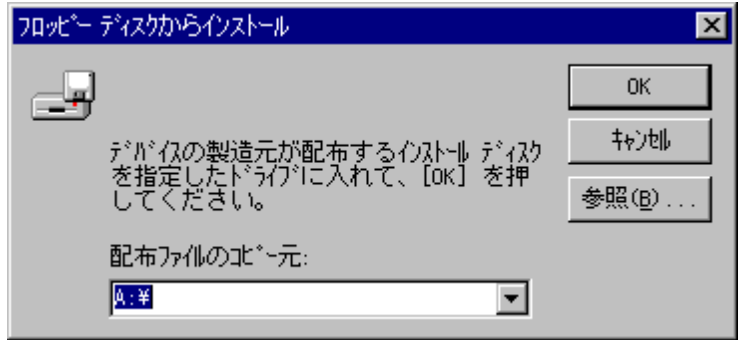
2. 次にドライバディスクを指定する画面が表示されます。

本製品に添付するドライバソフトウェアディスクをフロッピードライブに挿入します。

「配布ファイルのコピー元」の欄にフロッピーディスクのドライブ名に「:」と「¥」をつけて入力します。

ただし、NEC PC-9821Ne と

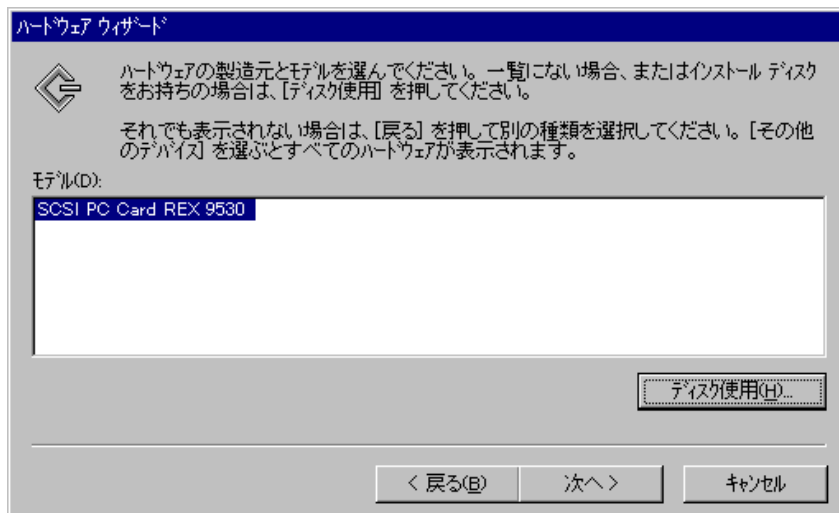
EPSON PC (98 互換機) の場合は、下表のパス名を入力します。



パソコンの機種	コピー元
PC/AT 互換機 (DOS/V)	A:¥
NEC PC-9821 シリーズ (PC-9821Ne は除く)	C:¥
NEC PC-9821Ne のみ (PC-9821Ne2, Ne3 は除く)	C:¥98¥PC9821Ne
EPSON PC (98 互換機)	C:¥EP

3. そして [OK] ボタンを押すと、次のドライバ選択画面が表示されます。

[SCSI PC Card REX 9530] を選択して [次へ >] ボタンを押します。



カードを選択後、[次へ>]ボタンをクリックします。



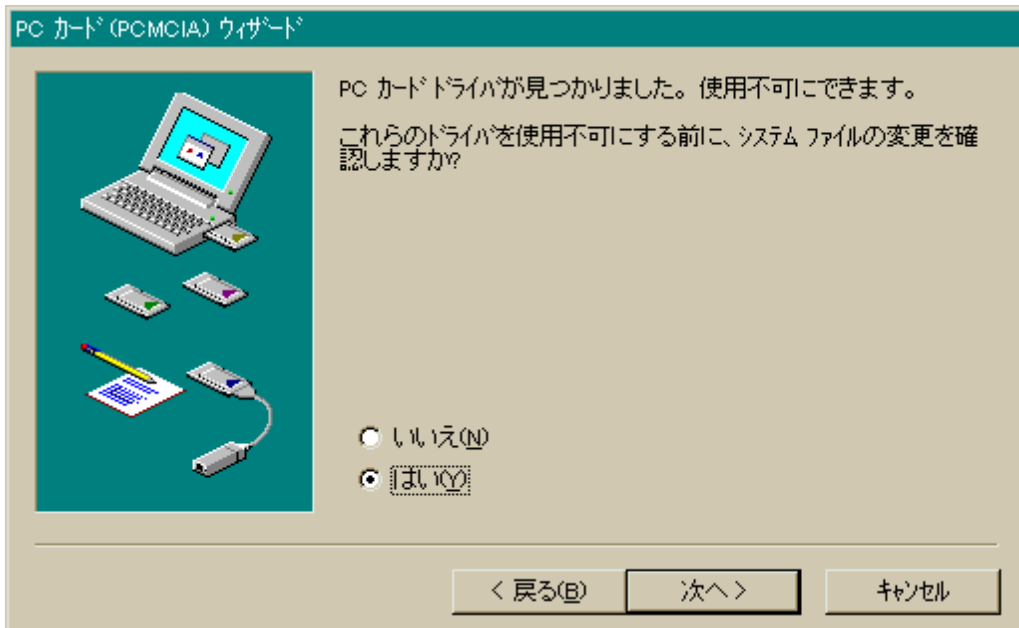
「次へ>」ボタンをクリックすると、フロッピーディスクからのコピーが始まります。コピーが終わると下の画面が表示されます。



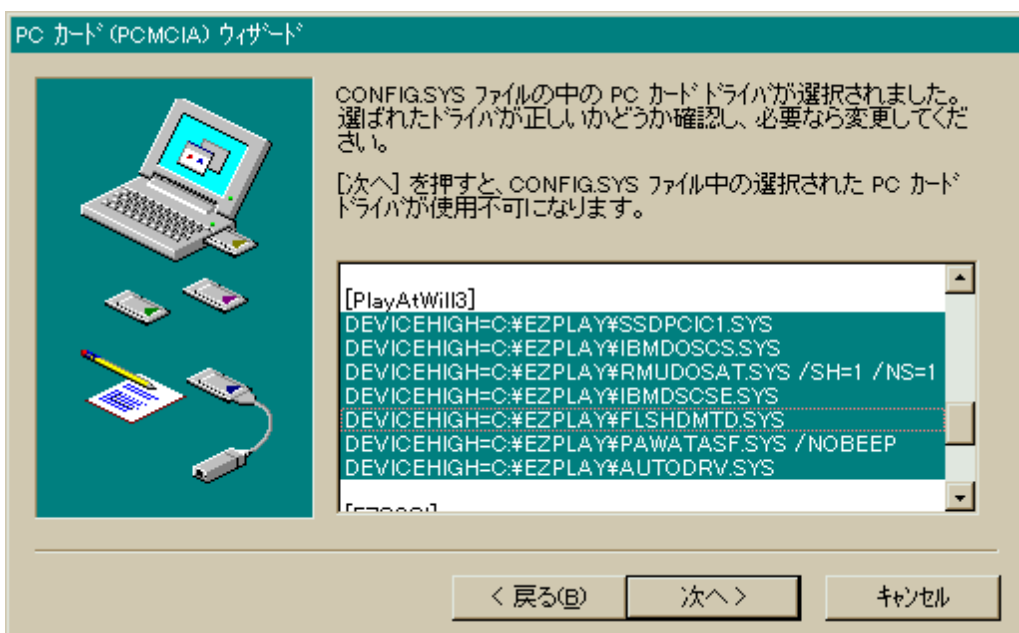
ここでフロッピーディスクをドライブから抜きます。
最後に [完了] ボタンをクリックします。

PC カード (PCMCIA) ウィザードの設定

1. ハードウェアウィザードが終わると、PC カード (PCMCIA) ウィザードへ戻ります。「はい」を選択し [次へ>] をクリックします。

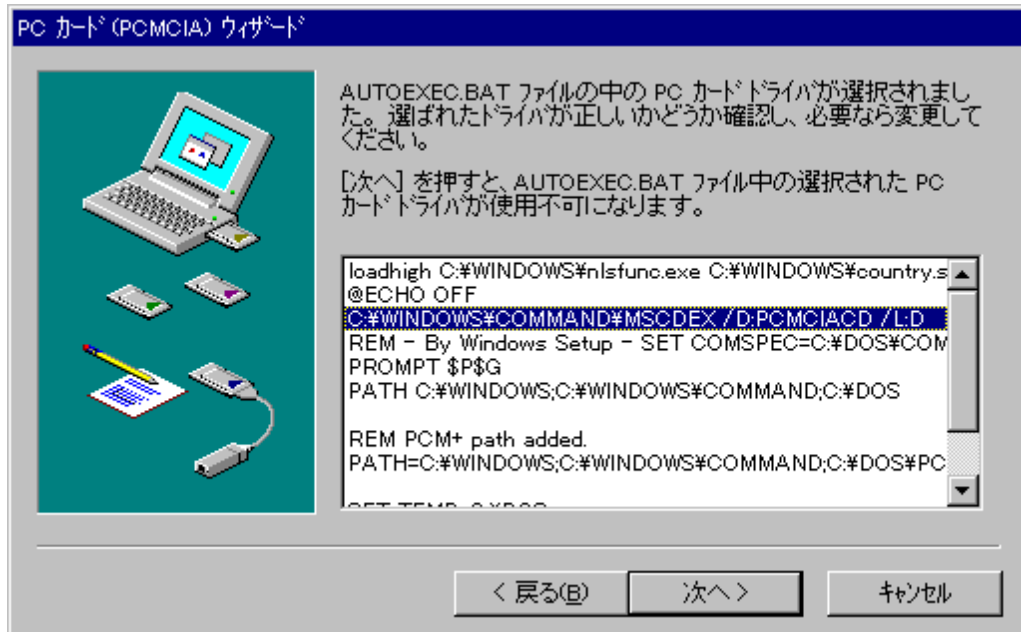


2. CONFIG.SYS の確認画面が表示されます。



- 16 ビット版の PCMCIA ドライバは自動的に検出して選択されています。
確認したら、[次へ>] ボタンをクリックします。

3. AUTOEXEC.BAT の確認画面が表示されます。



CD-ROM エクステンション (MSCDEX) も必要ないので選択して使用不可にします。選択したら、[次へ>] ボタンをクリックします。

4. SYSTEM.INI の確認画面が表示されます。



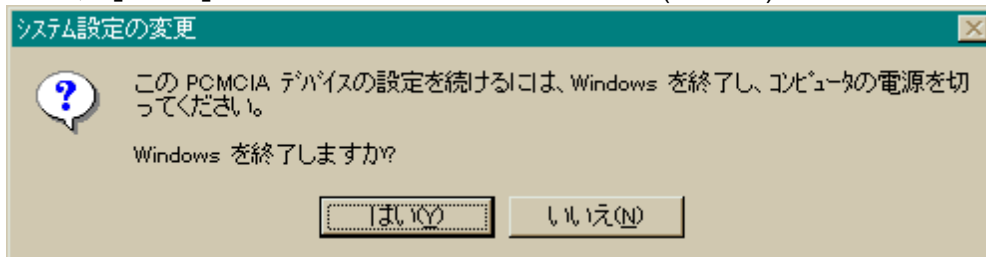
ここでは特に追加で選択するものはありません。そのまま [次へ>] ボタンをクリックします。

第 5 章 SCSI PC カードで Windows95 をインストールする

5. PC カード(PCMCIA)ウィザードの終了



最後に、[完了] ボタンをクリックして PC カード(PCMCIA)ウィザードを終わります。



[はい] をクリックして Windows95 を一旦終了します。

再度パソコンをリセットするか電源を入れなおして Windows95 を起動します。

SCSI PC カードが「新しいハードウェア」として認識されてドライバが自動的に起動すれば OK です。

以上でドライバのインストールは終わりです。次の「SCSI ユーティリティのインストール」に進みます。

ドライバが正常に登録されたかを確認する手順は「4. Windows95 での REX-9530 のインストール」の「ドライバの確認」(P4-10)をご覧ください。

SCSI ユーティリティのインストール

SCSI フォーマットユーティリティ (RexFmt95) , SCSI 機器接続確認ユーティリティ (WinSSC) のインストールを行います。

1. 本製品添付のドライバソフトウェアディスクをフロッピードライブに挿入して、デスクトップ画面の [マイコンピュータ] からディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. Setup95 のアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動します。
3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
4. SCSI ユーティリティのインストールが正常に終了すると、 [スタート] ボタンから表示される [プログラム] メニューの中に [REX SCSI ユーティリティ] が追加されます。



各ユーティリティに関する説明は、「7. Windows95/98 用 SCSI ユーティリティについて」(P7-1) をご覧ください。



6 . Windows95/98 上で各 SCSI 機器を使用するには

この章では、SCSI PC カードにさまざまな SCSI 機器を接続して Windows95/98 上で使用する手順について説明していきます。

以下の順番で各 SCSI 機器毎に説明していきます。

- ・ CD-ROMドライブ
- ・ 光磁気ディスク (MO) ドライブ
- ・ ハードディスクドライブ
- ・ PDドライブ
- ・ zipドライブ
- ・ スキャナ

上記以外の SCSI 機器として MD (ミニディスク) データドライブもありますが、Windows95/98 では SCSI 機器として MD データドライブをサポートしていません。したがって、現在この章で MD データドライブとの接続については説明しませんのでご了承ください。

1998年10月現在、Windows95上でMDデータドライブを使用可能にするドライバがインターネット上のSONYのホームページで公開されています。

CD-ROM ドライブを使用する

SCSI インターフェイスを備えた CD-ROM ドライブを SCSI PC カードに接続して Windows95/98 上で使用する場合の手順を説明します。

CD-ROM ドライブを使用するための設定

Windows95/98 では、CD-ROM のドライバはすでに Windows95/98 に組み込まれています。また、MSCDEX.EXE (CD-ROM エクステンション) も必要ありません。

1. SCSI PC カードの装着

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

初回のみ本製品添付のドライバソフトウェアディスクから Windows95/98 用ドライバを組み込みます。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、CD-ROM ドライブの接続

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

CD-ROM ドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	0~6 のいずれか
タームパワー供給	有効にする

CD-ROM ドライブの SCSI コネクタにターミネータ (終端抵抗) を取り付けます。

CD-ROM ドライブのもう一方の SCSI コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

3. システムの再起動

CD-ROM ドライブの電源を入れます。

Windows95/98 を再起動して CD-ROM ドライブを認識させます。

CD-ROM の接続を確認する

1. Windows95/98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの [CD-ROM] の項目の左のプラス記号 (+) をクリックして、CD-ROM ドライブのメーカー名や型番等が表示されることを確認します。
 - ・登録されていない場合は、SCSI ケーブルやターミネータの接続および CD-ROM ドライブの設定等が正しいか確認してください。
3. Windows95/98 上から [マイコンピュータ] を開き、CD-ROM のアイコンが表示されることを確認します。

音楽 CD を聞く

通常、CD-ROM ドライブに音楽 CD を挿入するだけで自動的に Windows95/98 の [CD プレーヤ] が起動して音楽 CD の再生が始まります。詳しくは、Windows95/98 の HELP から [CD プレーヤ] を検索してご覧ください。

音声出力は、CD-ROM ドライブのライン出力またはヘッドホン端子から出力されます。パソコン本体のスピーカからは出力されませんのでご注意ください。

CD-ROM ドライブを使用する場合の注意

- ・ CD-ROM ドライブに添付のデバイスドライバは組み込む必要がありません。
- ・ PhotoCD, VideoCD, CD-I を再生する場合は、専用の再生ソフトが必要ですが本製品には含まれておりませんので、別途ご用意ください。

光磁気ディスク (MO) ドライブを使用する

SCSI インターフェイスを備えた光磁気ディスク (MO) ドライブを SCSI PC カードに接続して Windows95/98 上で使用する手順を説明します。

MO ドライブを使用するための設定

Windows95/98 では、MO のドライバはすでに Windows95/98 に組み込まれています。

1. SCSI PC カードの装着

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

初回のみ本製品添付のドライバソフトウェアディスクから Windows95/98 用ドライバを組み込みます。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、MO ドライブの接続

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

MO ドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	0~6 のいずれか
タームパワー供給	有効にする

MO ドライブの SCSI コネクタにターミネータ (終端抵抗) を取り付けます。

M0 ドライブのもう一方の SCSI コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

3. システムの再起動

M0 ドライブの電源を入れます。

Windows95/98 を再起動して M0 ドライブを認識させます。

M0 ドライブの接続を確認する

1. Windows95/98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの [ディスク ドライブ] の項目の左のプラス記号(+)をクリックして、M0 ドライブのメーカー名や型番等が表示されることを確認します。
 - ・登録されていない場合は、SCSI ケーブルやターミネータの接続および M0 ドライブの設定等が正しいか確認してください。
3. Windows95/98 上から [マイコンピュータ] を開き、[リムーバブル ディスク] のアイコンが表示されることを確認します。

メディアのフォーマット

1. Windows95/98 上の [スタート] ボタンから表示される [プログラム] メニューの中にある [REX SCSI ユーティリティ] の [フォーマットユーティリティ] を起動します。
2. 接続されている M0 ドライブの情報表示を選択し [セレクト] を押します。
3. メニューバーの [処理] メニューから [メディアの初期化] を選択してフォーマットを実行します。

フォーマットユーティリティの説明は、後述「RexFmt95 - Windows95/98専用SCSIフォーマットユーティリティ」(P7-1)をご覧ください。

M0 ドライブを使用する場合の注意

- ・ M0 ドライブに添付のデバイスドライバは組み込む必要がありません。
- ・ DOS プロンプト上から FDISK や FORMAT コマンドによるフォーマットはできません。
- ・ Windows95/98 上の [マイコンピュータ] からのフォーマットは物理フォーマットをサポートしていません。M0 メディアを物理フォーマットする場合は、[REX SCSI ユーティリティ] の [フォーマットユーティリティ]で行ってください。
- ・ DOS/Windows3.1 上で使用していたメディアを Windows95/98 のパソコンで使用する場合、[REX SCSI ユーティリティ] の [フォーマットユーティリティ] による再フォーマットが必要なことがあります。

ハードディスクドライブを使用する

SCSI インターフェイスを備えたハードディスクドライブを SCSI PC カードに接続して Windows95/98 上で使用する場合の手順を説明します。

ハードディスクドライブを使用するための設定

Windows95/98 では、ハードディスクドライブのドライバはすでに Windows95/98 に組み込まれています。

1. SCSI PC カードの装着

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

初回のみ本製品添付のドライバソフトウェアディスクから Windows95/98 用ドライバを組み込みます。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、ハードディスクドライブの接続

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

ハードディスクドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	0~6 のいずれか
タームパワー供給	有効にする

ハードディスクドライブの SCSI コネクタにターミネータ(終端抵抗)を取り付けます。

ハードディスクドライブのもう一方の SCSI コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

3. システムの再起動

ハードディスクドライブの電源を入れます。

Windows95/98 を再起動してハードディスクドライブを認識させます。

ハードディスクの接続を確認する

1. Windows95/98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。

2. デバイスマネージャの [ディスク ドライブ] の項目の左のプラス記号(+)をクリックして、ハードディスクドライブのメーカー名や型番等が表示されることを確認します。

・登録されていない場合は、SCSI ケーブルやターミネータの接続およびハードディスクドライブの設定等が正しいか確認してください。

3. Windows95/98 上から [マイコンピュータ] を開き、ハードディスクディスクのアイコンが表示されることを確認します。

・表示されない場合は、未フォーマットまたは Windows95/98 で認識不可能なフォーマットの可能性があります。この場合、前述「HD/MO のドライブアイコンが表示されない場合」(☞ P14-11) をご覧ください。

ハードディスクのフォーマット

1. Windows95/98 上の [スタート] ボタンから表示される [プログラム] メニューの中にある [REX SCSI ユーティリティ] の [フォーマットユーティリティ] を起動します。
2. 接続されているハードディスクドライブの情報表示を選択し [セレクト] を押します。
3. メニューバーの [処理] メニューから [メディアの初期化] を選択してフォーマットを実行します。

フォーマットユーティリティの説明は、後述「RexFmt95 - Windows95/98専用SCSIフォーマットユーティリティ」(P7-1) をご覧ください。

ハードディスクドライブを使用する場合の注意

- ・ハードディスクドライブに添付のデバイスドライバは組み込む必要がありません。
- ・DOS プロンプト上から FDISK や FORMAT コマンドによるフォーマットはできません。
- ・Windows95/98 上の [マイコンピュータ] からのフォーマットは物理フォーマットをサポートしていません。ハードディスクを物理フォーマットする場合は、[REX SCSI ユーティリティ] の [フォーマットユーティリティ] で行ってください。
- ・DOS/Windows3.1 上で使用していたディスクをWindows95/98 のパソコンに接続して使用する場合、[REX SCSI ユーティリティ] の [フォーマットユーティリティ] による再フォーマットが必要なことがあります。

PD ドライブを使用する

PD ドライブ を接続して Windows95/98 上で使用する場合の手順を説明します。
ここでは、Panasonic 製の PD ドライブ LF-1000 との接続を例に説明します。

PD ドライブを使用するための設定

Windows95 では、PD 用および CD 用のドライバはすでに Windows95/98 に組み込まれています。

1. SCSI PC カードの装着

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

初回のみ本製品添付のドライバソフトウェアディスクから Windows95/98 用ドライバを組み込みます。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、PD ドライブの接続

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

PD ドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	0~6のいずれか
ファンクションスイッチ 1 番 ターミネータ(TERMINATOR)	ON
ファンクションスイッチ 2 番(LUN)	OFF

PD ドライブの SCSI IN コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

3. システムの再起動

PD ドライブの電源を入れます。

PD ドライブのインストーラは実行しません。

Windows95/98 を再起動して PD ドライブを認識させます。

PD ドライブの接続を確認する

1. Windows95/98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスマネージャの [CD-ROM] の項目の左のプラス記号(+)をクリックして、PD ドライブのメーカー名や型番等が表示されることを確認します。
 - ・登録されていない場合は、SCSI ケーブルやターミネータの接続および PD ドライブの設定等が正しいか確認してください。
3. デバイスマネージャの [ディスク ドライブ] の項目の左のプラス記号(+)をクリックして、PD ドライブのメーカー名や型番等が表示されることを確認します。
 - ・登録されていない場合は、SCSI ケーブルやターミネータの接続および PD ドライブの設定等が正しいか確認してください。
4. Windows95/98 上から [マイコンピュータ] を開き、リムーバブルディスクと CD-ROM のアイコンがそれぞれ表示されることを確認します。

PD メディアのフォーマット

1. Windows95/98 上の [スタート] ボタンから表示される [プログラム] メニューの中にある [REX SCSI ユーティリティ] の [フォーマットユーティリティ] を起動します。
2. 接続されている PD ドライブの情報表示を選択し [セレクト] を押します。
3. メニューバーの [処理] メニューから [メディアの初期化] を選択してフォーマットを実行します。

フォーマットユーティリティの説明は、後述「RexFmt95 - Windows95/98専用SCSIフォーマットユーティリティ」(P7-1)をご覧ください。

PD ドライブを使用する場合の注意

- ・DOS プロンプト上から FDISK コマンドによるメディアのフォーマットはできません。
- ・PD ドライブ添付のデバイスドライバを組み込む必要はありません。
- ・DOS/Windows3.1 上で使用していたメディアを Windows95/98 のパソコンで使用する場合、[REX SCSI ユーティリティ] の [フォーマットユーティリティ] による再フォーマットが必要なことがあります。

zip ドライブを使用する

zip ドライブ を接続して Windows95/98 上で使用する場合の手順を説明します。

zip ドライブに添付のマニュアルには「PCカードでの接続は不可」という意味の表記がありますが、本製品はPCカードの電源のみで動作可能なアクティブターミネータを内蔵しているため、zip ドライブとの接続において問題はありません。

zip 専用モデル REX-9530XZ 以外で zip ドライブを接続するには、専用の SCSI ケーブル(RCL-3004-05)が別途必要です。

zip ドライブを使用するための設定

Windows95/98 では、zip 用のドライバはすでに Windows95/98 に組み込まれています。

1. SCSI PC カードの装着

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

初回のみ本製品添付のドライバソフトウェアディスクから Windows95/98 用ドライバを組み込みます。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、zip ドライブの接続

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

zip ドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	5 または 6 のいずれか
ターミネータ(TERMINATOR)	ON にする

zip ドライブの SCSI コネクタに専用の SCSI ケーブルを取り付けます。

zip ドライブにターミネータが添付している場合がありますが、これは使用しません。

3. システムの再起動

zip ドライブの電源を入れます。

Windows95/98 を再起動して zip ドライブを認識させます。

4. zip ドライブのインストーラの実行

zip ドライブ添付のディスクからインストーラ「Setup95」を実行して専用のソフトウェアを組み込みます。

Windows95/98 を再起動します。

zip ドライブを使用する場合の注意

- ・DOS プロンプト上から FDISK や FORMAT コマンドによるメディアのフォーマットはできません。

あとの操作方法については、zip ドライブに添付のマニュアルをお読みください。

スキャナを使用する

SCSI インターフェイスを備えたイメージスキャナを SCSI PC カードに接続して Windows95 上で使用する手順を説明します。

イメージスキャナの場合、スキャナの種類やメーカーによって設定方法が異なります。紙面の都合上ここでは、EPSON の GT-8500 を例に説明します。他のスキャナについては、各スキャナに添付のマニュアル等をご覧ください。

GT-8500 を使用するための設定

Windows95/98 では、スキャナ用のドライバは組み込まれていません。したがって各スキャナメーカーが提供する Windows95/98 用のドライバを用意する必要があります。

1. SCSI PC カードの装着

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

初回のみ本製品添付のドライバソフトウェアディスクからドライバを組み込みます。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、GT-8500 の接続

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

GT-8500 に対しての以下の設定を行います。

SCSI-ID	1~6 のいずれか
ターミネータ(TERMINATOR)	OFF

GT-8500 の SCSI コネクタにターミネータ(終端抵抗)を取り付けます。

GT-8500 のもう一方の SCSI コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

GT-8500では、ターミネータ(TERMINATOR)をONにすることによりSCSIコネクタにターミネータ(終端抵抗)を取り付けないように設定できますが、REX-9530を接続して使用する場合にはこの方法は推奨しません。

3. システムの再起動

スキャナの電源を入れます。

Windows95/98 を再起動します。

起動時にスキャナを「不明なデバイス」として認識しドライバインストールの画面が表示されます。

[完了]ボタンが表示されている場合は、[完了]ボタンを押します。また、「ドライバをインストールしない」が表示されている場合は、それを選択します。

3. スキャナ添付のインストーラの実行

GT-8500 添付の EPSON Scan! II ディスクからインストーラ「Setup」を実行して専用のソフトウェアを組み込みます。

必ず、Windows95/98に対応したバージョンのEPSON Scan! IIをインストールしてください。

インストールが正常に終了すると、「EPSON スキャナの設定」ダイアログボックスが表示されます。

- ・「インターフェイス」は SCSI を選択して、「GT-8500」が認識されることを確認します。
- ・スキャンのテストをするためにスキャナに原稿をセットし、「テスト」ボタンを押してスキャナが正常に動作することを確認します。

詳しくは、EPSON Scan! II 取扱説明書をご覧ください。

GT-8500 を使用する場合の注意

- ・ GT-8500 自体は SCSI-ID を 0～7 まで設定可能ですが、EPSON Scan! II がスキャナを認識する SCSI-ID が 1～6 のため、ID0, ID7 は設定しないでください。
- ・ EPSON Scan! II をインストール後に GT-8500 の SCSI-ID を変更した場合は、Windows のコントロールパネルから「EPSON スキャナの設定」を選択して GT-8500 を再認識させる必要があります。
- ・ EPSON Scan! II のイメージ取得中に「イメージの転送に失敗しました」のエラー表示になった場合は、一度 GT-8500 の RESET スイッチを押した後にイメージ取得をもう一度最初から行ってみてください。
- ・ パソコンの機種や環境によって、EPSON Scan! II でカラー写真モードのイメージ取得をした場合には、イメージの取得が終わってから画面に表示されるまで 5 分以上かかる場合があります。



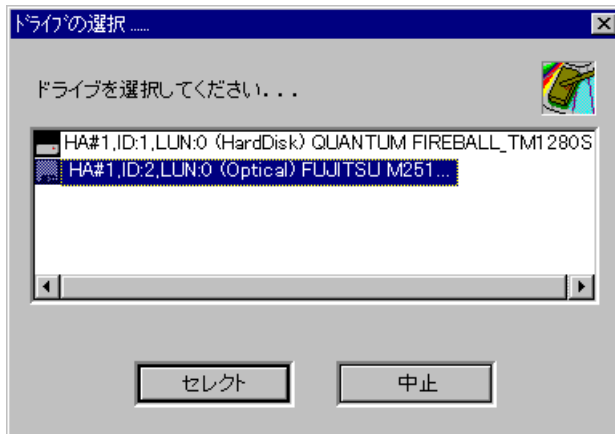
7 . Windows95/98 用 SCSI ユーティリティについて

この章では、添付のドライバソフトウェアディスクに含まれるユーティリティソフトウェアで Windows95 および Windows98 上で動作するものについて説明します。

RexFmt95 - Windows 95/98 専用 SCSI フォーマットユーティリティ

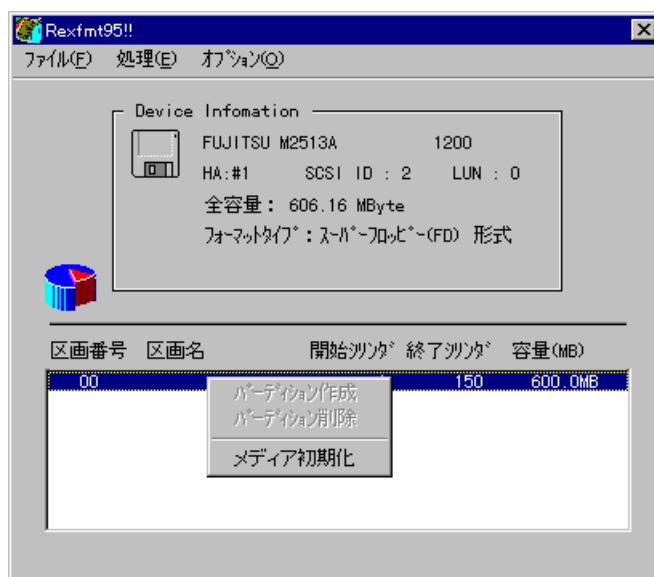
REX-9530 に接続された SCSI 機器のフォーマットを行うには本プログラムをご使用ください。

1. [スタート]ボタンから表示される[プログラム]メニューの中にある[REX SCSI ユーティリティ]の[フォーマットユーティリティ]を起動します。
下のように接続されている SCSI 機器の情報がホストアダプタごとに表示されます。フォーマットしたい機器を選択し[セレクト]を押します。



対象とする SCSI 機器は、ハードディスク、MO、PD、リムーバブルハードディスクです。
CDR、CDRW はドライブの欄には表示されませんのでご注意ください。

2. 選択後、下の画面が表示されます。区画番号に対して右クリックで[メディアの初期化]を選択します。メニューバーの[処理]メニューからも[メディアの初期化]を選択できます。

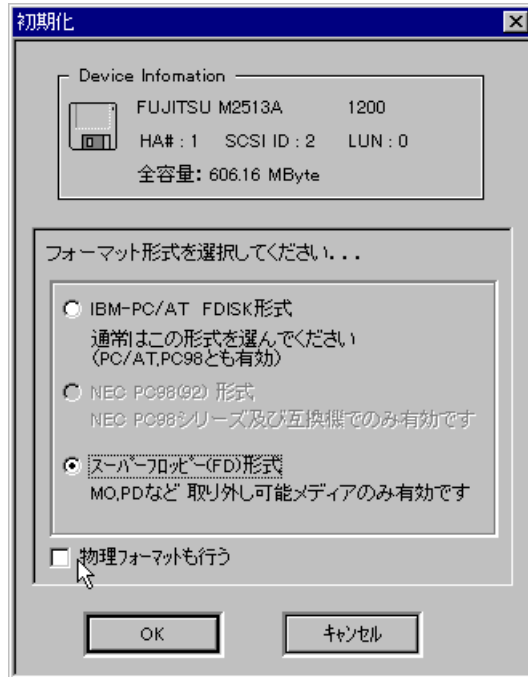


本プログラムの制限 :

本プログラムでフォーマットしたメディアは、Windows システムのクイックフォーマットは使用できなくなります。ロングフォーマットを使用しなければなりません。

第 7 章 Windows95/98 用 SCSI ユーティリティについて

- 初期化の指定画面が表示されます。物理フォーマット(Low Level Format)を同時に行う場合、物理フォーマットも行うにチェックします。



この例では、640MB の MO メディアをフォーマットしますので、[スーパーフロッピー形式]を選択します。

- フォーマット後、区画をどのように設定するかを指定します。
本プログラムは FAT32 をサポートしていますのでファイルシステムの項目で FAT32 を選択することが可能です。



FAT32 を選択すると、FAT32 をサポートしている OS でのみアクセスが可能です。(Windows 95B(OSR2), Windows98 でのみサポートしています)

- フォーマット完了後、次に示す操作が必ず 1 つ必要です。
システムを再起動する。
SCSI PC カードを終了し、再度 REX-9530 を挿入する。
リムーバブルの場合、一度メディアを排出し再度挿入する。

WinSSC - Windows95/98 用 SCSI 機器接続確認ユーティリティ

SCSI PCカードに接続されているSCSI機器をWindows95/98上から確認するためのコマンドです。

WinSSCを実行する場合、必ずSCSI PCカードに機器を接続し、SCSI機器の電源を入れておいてください。

WinSSC の起動

[スタート] ボタンから [プログラム] → [REX SCSI ユーティリティ] → [SCSI 機器接続確認] を選択します。

WinSSC の操作

WinSSC が起動すると右の画面が表示されます。



ホストアダプタに ESDI と表示されることがあります。これは、パソコン本体の IDE CD-ROM が検出されたためです。右端の をクリックして「rex9530」へ変更します。

[ホストアダプタ :]

接続されているSCSIインターフェイスの情報が表示されます。

CD-ROMドライブを内蔵しているパソコンでは、ここの覧を [rex9530] が表示されるように変更してください。

ホストアダプタの欄に [rex9530] が表示されない場合以下のことが考えられます。

- ・ REX-9530のドライバが正常にインストールされていない。
- ・ SCSIケーブルが正しく接続されていない。
- ・ SCSIケーブルにREX-9530用以外のものを使用している。
- ・ 接続されたSCSI機器の電源が入っていない。
- ・ 接続されたSCSI機器の設定が間違っている。(ターミネータのON/OFF等)

[デバイスリスト :]

接続されているSCSI機器の情報の一覧です。左から順に以下の項目が表示されます。

- ・ SCSI機器ID番号 (ID:)
- ・ ロジカルユニット番号 (LUN:)
- ・ デバイスタイプ (カッコ内)
- ・ ベンダ名および型番

[再スキャン]


[ファイル]メニューの[再スキャン]は、SCSI PCカードを抜き差しした後の最新情報を表示させるための機能です。

SCSI機器を追加した場合は、必ずSCSI PCカード抜き差しを行ってから再スキャンを実行しないと、追加された機器の情報は表示されません。


また、デバイスリストに表示された機器の行を選択してダブルクリックすると詳細情報が表示されます。

SCSI機器の詳細情報の例

CD-ROM ドライブの例

デバイス情報			
	TEAC CD-ROM CD-56S		
CD-ROMデバイス (5)	(Removable)		
デバイスID:			
ホストアダプタ: (0) rex9530			
SCSI ID: 4	LUN: 0		
デバイス名			
ベンダID: TEAC	リビジョン: 1.0A		
製品番号: CD-ROM CD-56S			
SCSI規格			
適合規格: SCSI-2			
同期転送	コマンドリンク	コマンドキュー	ソフトウェ
AEN	ターミナルI/O	相対アドレス	16/32bitBUS
DeviceStatus			
Ready.			
総容量: 273 (MByte)	ブロックサイズ: 2048		
<input type="button" value="OK"/>			

光磁気ディスク(MO)ドライブの例

デバイス情報			
	NECITSU M2512A		
光メモリデバイス (MO) (7)	(Removable)		
デバイスID:			
ホストアダプタ: (0) rex9530			
SCSI ID: 2	LUN: 0		
デバイス名			
ベンダID: NECITSU	リビジョン: 1408		
製品番号: M2512A			
SCSI規格			
適合規格: SCSI-2			
同期転送	コマンドリンク	コマンドキュー	ソフトウェ
AEN	ターミナルI/O	相対アドレス	16/32bitBUS
DeviceStatus			
Ready.			
総容量: 217 (MByte)	ブロックサイズ: 512		
<input type="button" value="OK"/>			

8 . WindowsNT 4.0 での REX-9530 のインストール

この章では、WindowsNT 4.0でSCSI PCカードを使用する手順について説明します。ただし、ご使用になる環境によっては、本書の手順どおりにインストールできない場合もありますのであらかじめご了承ください。また、「1. REX-9530について」の「WindowsNT上での制限」(☞ P1-6)でWindowsNTで使用する場合の制限について説明していますので必ずご覧ください。

REX-9530Vの場合、WindowsNT用のドライバをインターネット、NIFTY-Serveから入手する必要があります。

WindowsNT 4.0 上からのインストール

ここでは、すでにWindowsNT 4.0が動作しているパソコンでSCSI PCカードを使用するためのドライバのインストール方法について説明します。

WindowsNT 4.0をこれからインストールする場合には、後述「SCSI PCカードでWindowsNT 4.0をインストールする」(☞ P9-1)をご覧ください。

WindowsNT 診断プログラムによる空き IRQ の確認

1. WindowsNT 4.0 を起動しアドミニストレータのユーザ権限でログオンします。SCSI PC カードを抜いた状態でパソコンを起動します。
2. [スタート] - [プログラム] - [管理ツール] - [WindowsNT 診断プログラム] を起動します。
3. [リソース] タグを選択して IRQ の一覧を表示します。
そして、00～15 で非表示の番号があるか確認します。

左の例では、IRQ00, IRQ02, IRQ05, IRQ07 ~ IRQ11, IRQ13 が抜けており空きの可能性があります。



第 8 章 WindowsNT 4.0 での REX-9530 のインストール

ただし、一般的に IRQ00 (システムタイマ), IRQ02 (割込みコントローラ), IRQ07 (プリンタ), IRQ08 (リアルタイムクロック), IRQ13 (数値演算プロセッサ) に予約されています。したがって、この例では、IRQ05, IRQ09 ~ IRQ11 を使用して REX-9530 のインストールが可能となります。

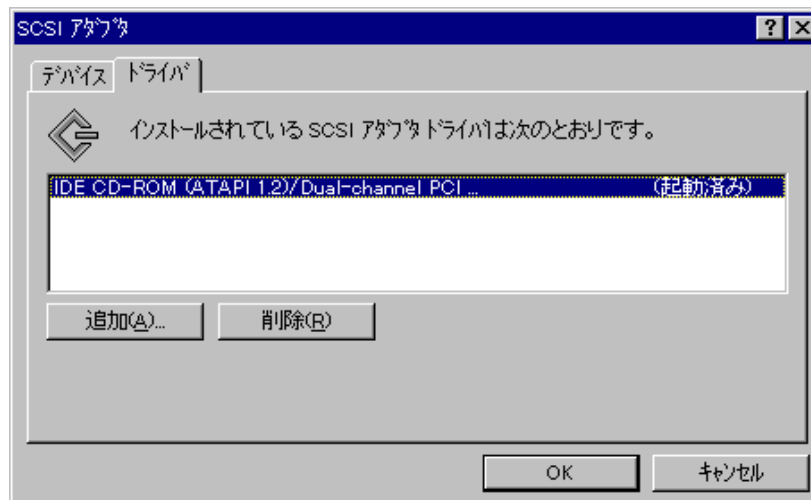
この画面で空きの IRQがない場合は、まず必要のないデバイスをパソコン本体の BIOS設定等で使用不可にして IRQの空きを確保してください。

ドライバのインストール作業

1. WindowsNT 4.0 を起動しアドミニストレータのユーザ権限でログオンします。SCSI PC カードを抜いた状態でパソコンを起動します。
2. [コントロールパネル] から [SCSI] アイコンを起動します。
3. 下の [SCSI アダプタ] 画面が表示されたら [ドライバ] タグをクリックします。



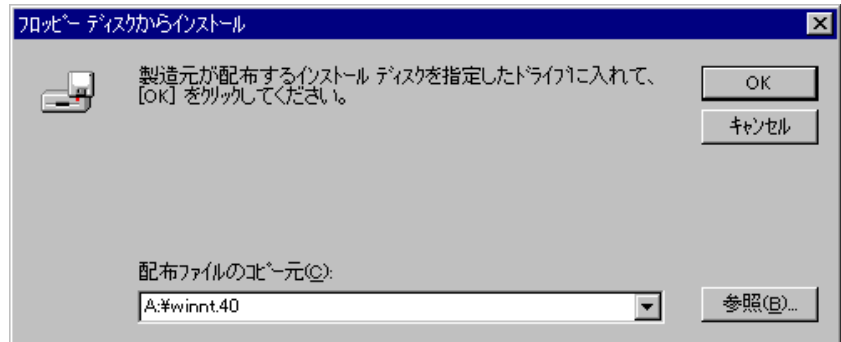
4. ドライバの画面が表示されたら [追加(A)..] ボタンを押します。



5. [ドライバのインストール] 画面が表示されたら、[ディスク使用(H)...] ボタンをクリックします。



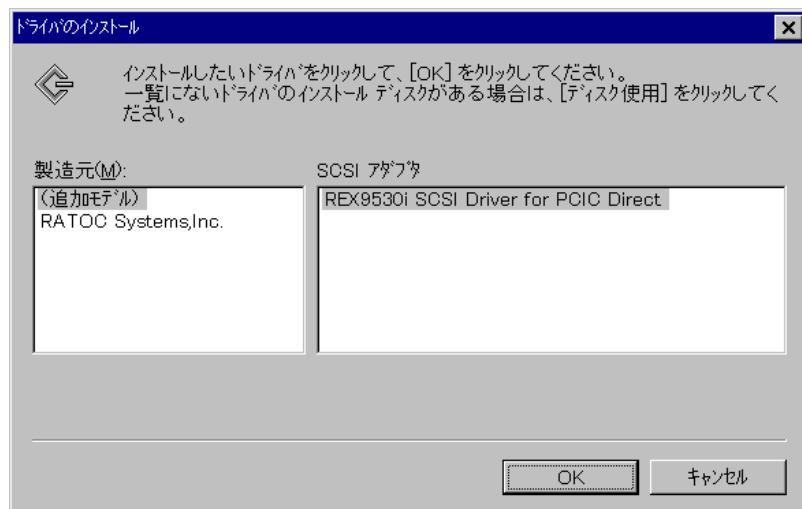
6. 右の画面が表示されたら、[配布ファイルのコピー元(C):] の欄には「A:¥」と表示されていますが、必ず使用するパソコン機種に対応した下表のディレクトリ名を入力します。



そして、[OK] ボタンをクリックします。

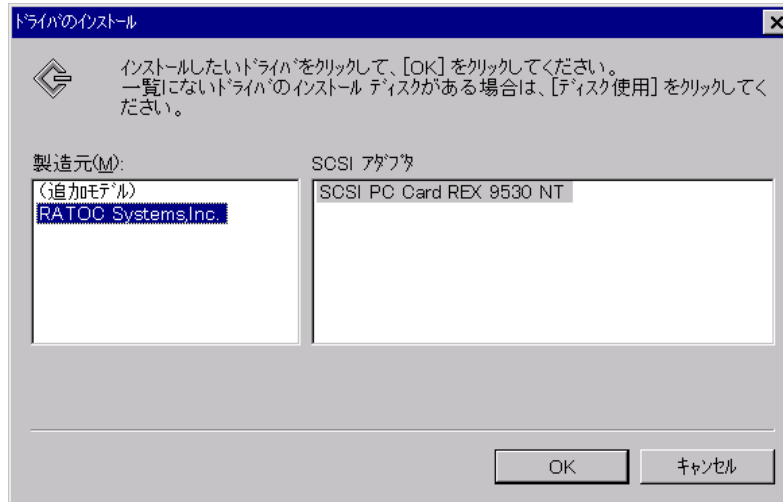
パソコンの機種	コピー元
PC/AT 互換機	A:¥WINNT.40
NEC PC-9821 シリーズ	C:¥WINNT.40

7. 下の画面が表示されて (追加モデル) の「REX9530i SCSI Driver for PCIC Direct」が選択されていますが、ここでは、このドライバは使用しません。「製造元」の「RATOC Systems, Inc.」を選択します。

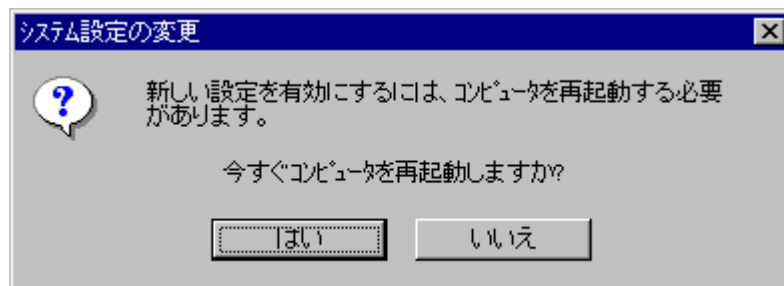


第 8 章 WindowsNT 4.0 での REX-9530 のインストール

8. 下の画面が表示されたら「SCSI PC Card REX9530 NT」を選択し、[OK] ボタンを押します。



9. ドライバファイルのコピーが終わると再起動の指示をする確認画面が表示されます。



[はい] ボタンをクリックする前に以下のことを行います。

- (1) フロッピードライブからドライバディスクを抜きます。
- (2) 本書の「2. SCSI PC カードのセットアップ」の「SCSI ケーブルの接続と SCSI 機器の設定」(P2-4) の説明にしたがって SCSI PC カード、SCSI ケーブル、SCSI 機器を接続します。そして、SCSI 機器の電源を入れます。
- (3) そして、SCSI PC カードを PC カードスロットに挿入します。
- (4) 最後に [はい] をクリックして WindowsNT を再起動します。

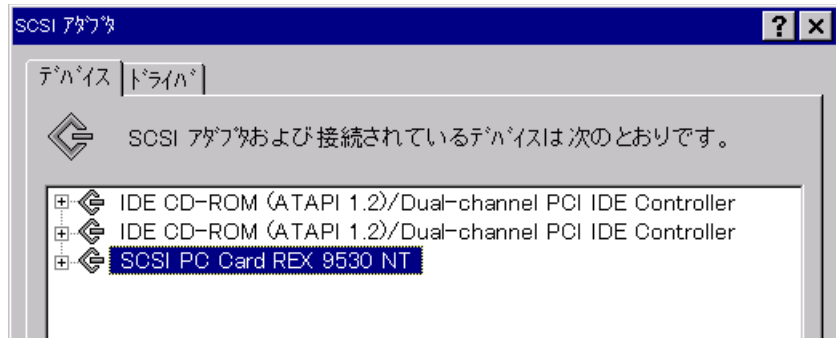
以上でドライバのインストールは終わりです。

インストール後の確認と設定

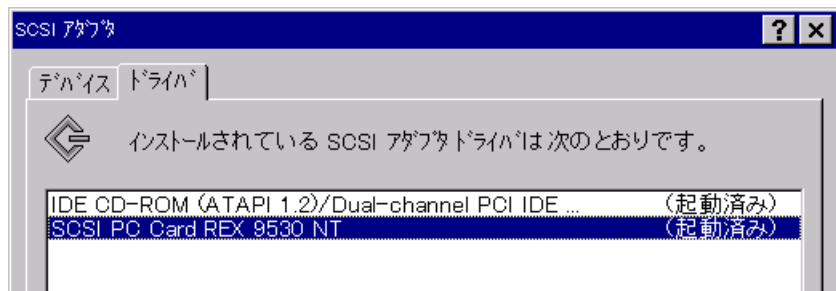
ここでは、ドライバが正しくインストールされて正常に動作しているかの確認方法について説明します。

1. [コントロールパネル] から [SCSI] アイコンを起動します。

[デバイス] リストの中に [SCSI PC Card REX 9530 NT] が表示されていることを確認します。



2. [ドライバ] タグをクリックして、[SCSI PC Card REX 9530 NT] が (起動済み) になっていること確認します。



[SCSI PC Card REX 9530] 項目が [起動済み] になっていない場合

この場合、インストールが正常に終了していない可能性があります。ドライバを再インストールしてください。再インストールしても [起動済み] にならない場合、リソース (I/O アドレスまたは IRQ) が競合している可能性があります。



この場合、REX-9530 が使用するリソースを変更してください。

変更手順は、後述「REX-9530 の動作のカスタマイズ」(P8-7) をご覧ください。

CD-ROM ドライブのドライブ名の設定

CD-ROMドライブを接続した場合、以下の手順でドライブ名を割り当てます。

1. [スタート] - [プログラム] - [管理ツール] - [ディスクアドミニストレータ] を起動します。
2. [ツール(T)] メニューの [ドライブ文字の割り当て] を使用して各 SCSI 機器に割り当てるドライブ名を設定します。



REX-9530 の動作のカスタマイズ

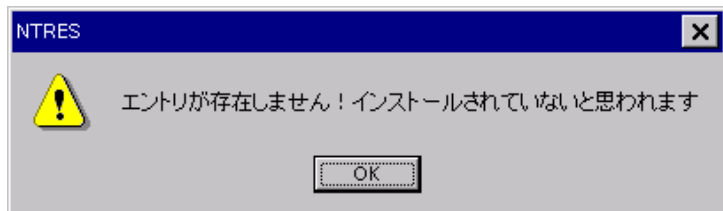
NTRES コマンドを使用して REX-9530 のドライバの動作を細かく指定することができます。

これによって、IO ポートや IRQ の競合を回避したり、接続している SCSI 機器に合わせた SCSI の動作の設定を行えます。

このプログラムは以下の手順で起動します。

1. 本製品添付のドライバディスクをセットします。
2. [マイコンピュータ] からフロッピードライブを開き、[Winnt.40] フォルダを開きます。
3. [NTRES] をダブルクリックして起動します。

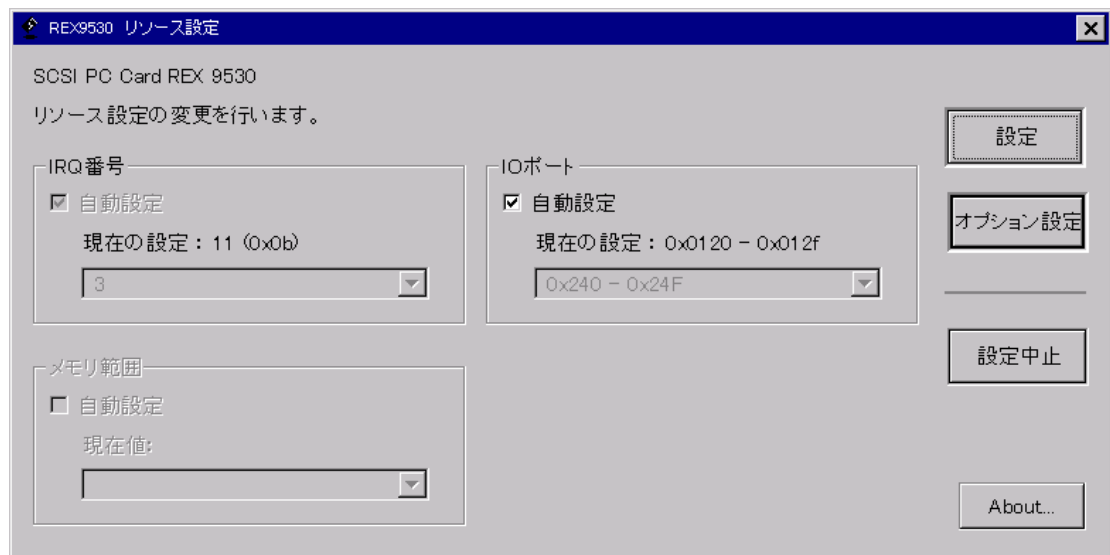
次のエラーメッセージを表示してプログラムが起動しない場合は、ドライバが未だインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。



もう一度、ドライバを削除して再度インストールしてみてください。

REX-9530 の IO ポート、IRQ の設定手順

NTRESの最初の画面ではREX-9530に割りあたるIOポートやIRQを強制的に設定できます。



IRQ 番号

REX-9530 に割り当てる割り込みリソース (IRQ 番号) を設定します。

次に説明する、I/O ポートおよび IRQ の自動設定のチェックの両方がはずれていないとこの項目は設定できません。

現在の設定の下のリストボックスから設定したい IRQ 番号を選択します。

I/O ポート

REX-9530 に割り当てる I/O ポートのリソースを設定します。

I/O ポートの自動設定のチェックがはずれていないとこの項目は設定できません。

I/O ポートの欄の自動設定のチェックが入っている場合は、そのチェックを外します。

現在の設定の下のリストボックスから設定したい I/O ポートのアドレスを選択します。

SCSI 機器へのアクセスに関する設定を行う場合 [オプション設定] ボタンを選択します。

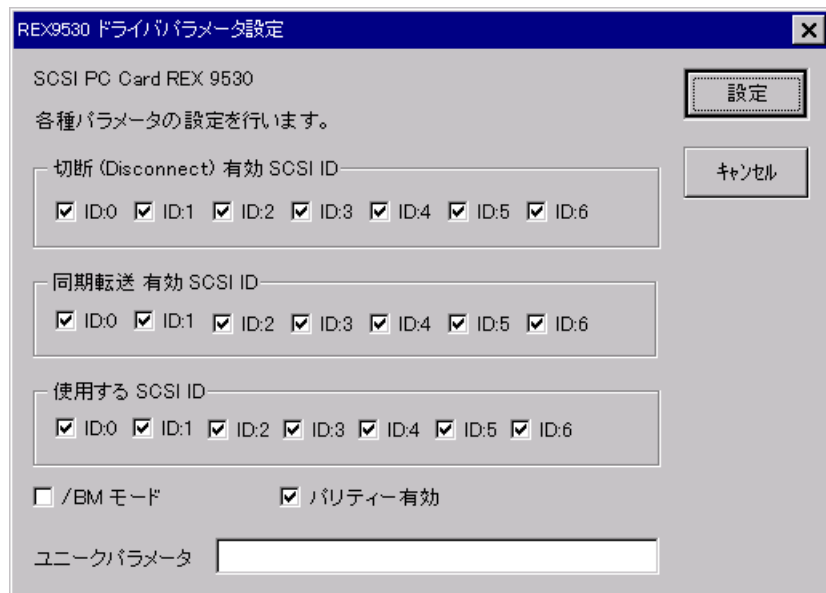
設定項目については、後述「NTRESでのREX-9530のオプション設定」をご覧ください。

すべての設定が終わったら、[設定] ボタンを押して設定値を更新します。

最後に、WindowsNTを再起動すると、更新された設定値で再初期化が行われます。

NTRES での REX-9530 のオプション設定

「REX9530 リソース設定」画面の [オプション設定] ボタンを押すと以下の画面が表示されます。各値を設定後、[設定] ボタンを押して「REX9530 リソース設定」画面に戻ります。



切断(Disconnect)有効 SCSI ID

特定の機器に対する切断処理 (ディスコネクト - リコネクト処理) を有効にするかの指定です。

切断処理を実行する機器の SCSI-ID 番号にチェックを入れます。

同期転送 有効 SCSI ID

特定の機器との転送モード（同期 / 非同期）指定です。

同期モードアクセスする機器の SCSI-ID 番号にチェックを入れます。イメージスキャナ等で非同期モードしかサポートしていない SCSI 機器を接続する場合や、同期モードで動作が不安定な場合にはこのチェックを外してください。

使用する SCSI ID

REX-9530 で制御する SCSI 機器の ID 番号にチェックを入れます。

チェックが外れていると、制御の対象外となります。

/BM モード

IBM ThinkPad560, 560E で使用する場合、このチェックを入れてください。

パリティ有効

データ転送時にパリティチェックを有効にする指定です。通常は、チェックを入れた状態でご使用ください。

SCSI パリティチェックが有効だと正常に動作しない古い SCSI 機器を接続する場合に限りチェックを外してください。

ユニークパラメータ

現在、この項目に設定するパラメータはありません。

将来、REX-9530のドライバが更新されて上記以外のパラメータ追加が必要な場合に、設定します。



9 . SCSI PC カードで WindowsNT 4.0 をインストール

この章では、WindowsNT 4.0をインストールする作業にSCSI PCカードに接続したCD-ROMを使用する場合について説明します。最初に、DOS/Windows3.1が動作している環境からインストールする場合について、次に直接WindowsNTのフロッピーディスクからインストールする場合の2種類について説明します。

SCSI PCカードに接続されたディスクへWindowsNT 4.0をインストールすることはできませんのでご注意ください。

WindowsNT 4.0 を DOS/Windows3.1 からインストールする

ここでは、DOS/Windows3.1が動作している環境でWindowsNT 4.0をインストールする作業にSCSI PCカードに接続したCD-ROMを使用する場合について説明します。

- 1 . MS-DOS 上で SCSI PC カードに接続した CD-ROM が使用できるようにする。
PC カードスロットが MS-DOS 上で使用できるようにします。
必要であればカードサービスのインストールを行います。
SCSI PC カード、CD-ROM が MS-DOS 上で使用できるようにします。
本製品添付の Windows3.1 用のインストーラを使用するか「付録」にある「添付のインストーラを使用しない場合」(P14-6) に沿って行います。



- 2 . SCSI 機器の接続
CD-ROM ドライブの設定、SCSI ケーブルの接続後、電源を入れます。
パソコンを再起動して CD-ROM が読み出せることを確認します。



- 3 . WindowsNT 4.0 のインストールをする。
CD-ROM ドライブに WindowsNT 4.0 の CD-ROM をセットして「WINNT」を実行してインストールを行います。
詳しくは、WindowsNT のマニュアルをご覧ください。
インストールが終了したら WindowsNT 4.0 を再起動します。

インストール途中で以下の画面が表示されます。

WindowsNTで使用するSCSIアダプタ、CD-ROMドライブ、または特殊なディスクコントローラを追加して指定する場合は、Sキーを押してください。大容量記憶装置のメーカーのデバイスサポートディスクで指定する場合も、Sキーを押してください。
メーカーのデバイスサポートディスクがない場合、または追加で指定したいWindowsNTを使用する大容量記憶装置がない場合は、Enterキーを押してください。

ここでは、SCSI PCカードは対象外になりますのでEnterキーを押して、そのままインストールを続けます。

先の画面のまま、インストール作業が続行できない場合、次の「WindowsNT4.0を直接インストールする(DOS/Vのみ)」(P9-2)に従ってインストールしてください。

4. SCSI アダプタの追加

先に説明した「ドライバのインストール作業」(P8-2)にしたがって SCSI アダプタの追加を行います。

WindowsNT 4.0 を直接インストールする (DOS/V のみ)

ここでは、DOS/Windows3.1 が動作していない DOS/V パソコンで WindowsNT 4.0 をインストールする作業に SCSI PC カードに接続した CD-ROM を使用する手順について説明します。PC-9800 シリーズでは、この手順は行えませんのでご注意ください。

ここで説明されているインストール手順は以下の条件においてのみ可能となりますのでご注意ください。

WindowsNT4.0 がサポートされた DOS/V パソコンであること

PCIC(PCMCIA コントローラ)がインテル i82365 互換であること

PCIC のベースアドレスが以下の 6 種類のどれか

3E0h / 3000h / F8ECh / F8FCh / FCFCh / FFF4h

SCSI PC カードに接続されたディスクへ WindowsNT をインストールすることはできませんのでご注意ください。

WindowsNT のインストール

1. WindowsNT の「Setup Disk1」をドライブにセットしてパソコンを再起動します。
2. WindowsNT のインストールプログラムが起動したら画面の指示に従って処理を進めます。
3. インストールの途中で以下の画面が表示されたら、[S]キーを押して、検出をスキップします。

セットアップは、フロッピーディスクコントローラと標準の ESDI / IDE ハードディスクを自動的に検出します。しかし、一部のコンピュータでは、SCSI アダプタや CD-ROM ドライブなどの大容量記憶装置の検出を行うと、一時的に反応しなくなったり誤動作するものもあります。

このため大容量記憶装置の検出を省略して、SCSI アダプタ、CD-ROM ドライブ、および特殊なディスクコントローラ(ドライブ アレイなど)を手動で選択してインストールすることもできます。

- ・ 続行するには、Enter キーを押してください。コンピュータの大容量記憶装置の検出を試みます。
- ・ 大容量記憶装置の検出を省略するには、S キーを押してください。SCSI アダプタ、CD-ROM ドライブ、および特殊なディスクコントローラを手動で選択してインストールできる。

F3=終了 Enter=続行 S=検出のスキップ

4. 次に以下の画面が表示されたら、[S]キーを押して、追加デバイスの指定をします。

セットアップは、コンピュータに次の大容量記憶装置を検出しました。

<なし>

- ・ WindowsNTで使用するSCSIアダプタ、CD-ROMドライブ、または特殊なディスクコントローラを追加して指定する場合は、Sキーを押してください。大容量記憶装置のメーカーのデバイスサポートディスクで指定する場合も、Sキーを押してください。
- ・ メーカーのデバイスサポートディスクがない場合、または WindowsNT で使用する大容量記憶装置を追加して指定しない場合は、Enterキーを押してください。

S=追加デバイスの指定 Enter=続行 F3=終了

5. [S]キーを押すとアダプタの一覧リストが表示されますが、REX-9530 は含まれていないので一覧リストの最下段の「その他...」の項目を選択します。

[その他(ハードウェア メーカー提供のディスクが必要)]

6. 以下の画面が表示されたら、REX-9530 の NT 用ドライバの入ったディスクをドライブにセットして[Enter]キーを押します。

次のラベルの付いたディスクをドライブ A: に挿入してください。

ハードウェア メーカー提供のサポート ディスク

- ・ 準備ができたら Enter キーを押してください。

F3=終了 Enter=続行 Esc=取り消し

7. 一覧に [REX9530 SCSI Driver for PCIC Direct]が表示されるのでそれを選択します。
8. [REX9530 SCSI Driver for PCIC Direct] が検出されたら、[Enter]キーを押して続行します。
9. さらに、画面の指示にしたがってインストール作業を進めると、以下の画面が表示されます。

次のラベルの付いたディスクをドライブ A: に挿入してください。

REX9530 SCSI Driver Disk

10. REX-9530 に添付ディスクをドライブにセットして[Enter]キーを押します。ドライバが読み込まれて、インストールが続行されます。
11. パソコン再起動の指示が表示されたら、フロッピーを抜いて[Enter]キーを押し、パソコンを再起動します。
12. パソコンが再起動後、WindowsNT のインストールが続行されます。
13. 「WindowsNT が正常にインストールされました」と表示されたら、[再起動]ボタンを押します。再起動したら、次の「SCSI ドライバの変更」に進みます。

SCSI ドライバの変更

WindowsNT のインストール時に使用した SCSI ドライバは、PCMCIA コントローラを直接制御して動作するため、WindowsNT の PCMCIA ドライバ「PCMCIA.SYS」と競合します。したがって、この SCSI ドライバを無効にして PCMCIA.SYS 上で動作するドライバに変更する必要があります。

1. WindowsNT に[Administrator] でログオンします。
2. [コントロールパネル]から[デバイス]アイコンを起動します。
3. デバイス[rex9530i]を選択して[スタートアップ(R)...]ボタンを押します。
4. スタートアップの種類に[無効(D)]を選択して[OK]ボタンを押します。
5. 最後に[終了]ボタンを押して[コントロールパネル]に戻ります。
6. [コントロールパネル]から[SCSI]アイコンを起動します。
7. [SCSI アダプタ]の画面が表示されたら [ドライバ] タグをクリックします。
8. ドライバの画面が表示されたら [追加(A)...] ボタンを押します。
9. 「ドライバのインストール」画面が表示されたら、[ディスク使用(H)...] ボタンをクリックします。
10. 「フロッピーディスクからのインストール」画面が表示されたら、[配布ファイルのコピー元(C):] の欄に [A:¥WINNT.40] と入力して [OK] ボタンをクリックします。
11. フロッピーディスクにアクセスしたのち「ドライバのインストール」画面が表示されたら、[製造元(M):] で [RATOC System Inc.] を選択します。
[SCSI アダプタ]に[SCSI PC Card REX9530 NT]が表示されるのでそれを選択します。
12. ドライバファイルのコピーが終わると再起動を指示する画面が表示されます。
13. [はい] ボタンをクリックする前に以下のことを行います。
 - (1) フロッピードライブからドライバディスクを抜きます。
 - (2) [はい] をクリックして WindowsNT を再起動します。

以上でドライバのインストールは終わりです。

10 . Windows3.1 での REX-9530 のインストール

DOS/Windows3.1上でSCSI PCカードにSCSI機器を接続して使用するには次のインストール作業が必要です。

- 1 . カードサービス/ソケットサービスをインストールする。
まだカードサービスが組み込まれていない場合、パソコン本体に添付のディスク等から組み込みます。
詳しくは、パソコン本体に添付のマニュアルをご覧ください。



- 2 . ドライバをインストールする。
本製品添付のドライバソフトウェアディスクに含まれるインストール (SETUPW31.EXE) を使用してインストールします。
詳しくは、後述「Windows3.1 用インストーラ」(☞ P10-3) をご覧ください。



- 3 . SCSI 機器の接続
SCSI 機器の ID 等の設定、SCSI ケーブルの接続後、電源を入れます。
詳しくは、本書の「2. SCSI PC カードのセットアップ」の「SCSI ケーブルの接続と SCSI 機器の設定」(☞ P2-4) をご覧ください。



- 4 . パソコンの再起動で終了です。

ただし、ご使用になる環境によりましては、本書の手順どおりにインストールできない場合もありますのであらかじめご了承ください。

MS-DOSのみ環境でインストールする場合は、「こんなときは」の「添付のインストーラを使用しない場合」(☞ P14-6) をご覧ください。

PC カードスロットを DOS/Windows3.1 で使用可能にする

DOS/Windows3.1上でPCカードスロットおよびPCカードを使用するために専用のデバイスドライバを組み込む必要があります。このドライバソフトは通常カードサービスとかカードサポートソフトウェアと呼ばれパソコン本体メーカーより提供されているため、本製品には添付しておりません。詳しくは、各パソコンに添付の説明書をご覧ください。

占有メモリについて

REX-9530はカード属性情報を4Kバイト持っており、この情報をパソコン本体のメモリ・ウィンドウを通して読み出します。使用するメモリの開始アドレスは、「C0000h ~ DF000h」の間でROMやEMSのページフレーム、UMBなどが使用していない任意のアドレスです。

たとえば、DOS/Vで「EMM386.EXE」が組み込まれている場合「X」オプションで以下のとおりに設定しておくことで「CF000h ~ CFFFF」の4Kバイトがメモリ・ウィンドウとして確保されます。

```
DEVICE = C:¥DOS¥EMM386.EXE 512 FRAME=D000 X=CF00-CFFF
```

PC-9800シリーズの場合は、通常「/E」オプションで「DC000h ~ DFFFFh」をメモリ・ウィンドウとして確保します。

```
DEVICE = A:¥DOS¥EMM386.EXE /E=DC00-DFFF
```

また、PCカードスロットが2スロットで「ASPDBK30.SYS」,「ASP36530.SYS」を使用する場合、メモリ・ウィンドウを8Kバイト以上確保してください。

```
DEVICE = C:¥DOS¥EMM386.EXE 512 FRAME=D000 X=CE00-CFFF
```

SYSTEM.INI の設定について

先に「EMM386.EXE」の「X」オプションまたは「/E」オプションで指定した値と同じ範囲を、Windows 3.1の「SYSTEM.INI」ファイルの「386Enh」セクション内に「EMMExclude」項目で指定します。

SYSTEM.INIファイル

```
.....  
[386Enh]  
.....  
EMMExclude = CE00 - CFFF
```

この範囲は使用する環境によって異なります。

Windows3.1 用インストーラ

- 最初に、Windows3.1 を起動します。
- プログラマナーの [アイコン(F)] メニューの [ファイル名を指定して実行] を選択します。

- [コマンドライン(C):] の入力欄に「 A:¥SETUPW31.EXE 」を入力して [OK] ボタンを押します。

インストーラが起動したら画面の指示にしたがって作業を進めます。



- ご使用の機種を選択すると環境を設定するダイアログボックスが表示されます。(ご使用の機種によって右下の画面は多少異なります。)

- 環境ファイル (CONFIG.SYS) のあるドライブとドライブのインストール先ディレクトリを入力します。

また、接続する SCSI 機器をチェックします。

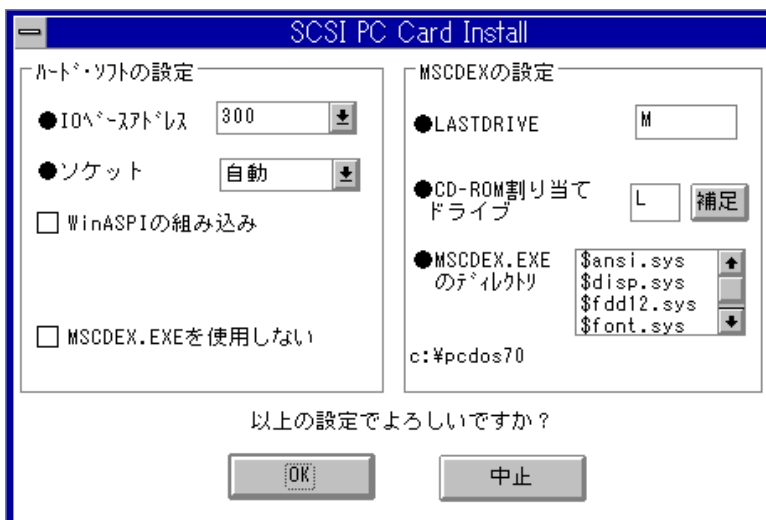
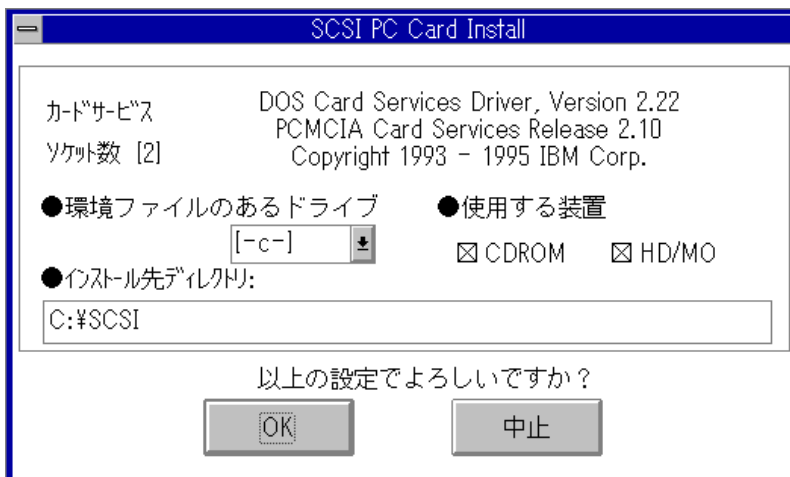
CD-ROM, HD/MO 以外に機器を接続する場合

は、後述「各 SCSI 機器を接続するには」での説明もご覧ください。

- 次に SCSI PC カードの I/O ポートや MSCDEX の設定を行います。I/O ポートアドレスの値は、他のデバイスと競合しない値を選択してください。

先の「接続する SCSI 機器」で CD-ROM をチェックしなかった場合、MSCDEX に関する設定は行えません。

[OK] ボタンを押すとファイルのコピーや設定値の更新が行われます。



第 10 章 Windows3.1 での REX-9530 のインストール

7. インストールが正常に終了したら、確認のウィンドウが表示されます。

[OK] ボタンを押すと Windows3.1 の画面に戻ります。

「EMM386.EXE に X オプションが登録されていません。」と表示される場合は、先の「占有メモリについて」の設定を確認してください。

インストール終了後、Windows 3.1 を終了して、MS-DOS へ戻ります。



IBM ThinkPad 560, 560Eの場合、ASPIマネージャに「/BM」オプションを記述する必要があります。詳しくは、後述「DOS用ドライバ(イネープラ+ASPIマネージャ)」(P13-2)をご覧ください。

SCSI 機器の接続と再起動

1. 本書の「2. SCSI PC カードのセットアップ」の「SCSI ケーブルの接続と SCSI 機器の設定」(P2-4)の説明にしたがって SCSI PC カード、SCSI ケーブル、SCSI 機器を接続します。そして、SCSI 機器の電源を入れます。
2. そして、SCSI PC カードを PC カードスロットに挿入します。
3. 最後に、パソコンを再起動します。

SCSI 機器を正しく使用できない場合

SCSI 機器を正しく使用できない場合、本製品添付のドライバソフトウェアディスクに含まれる SSC コマンドを実行して次のことを確認してください。

SSC の実行結果	確認事項
「ASPI マネージャが登録されていません」と表示された場合	PC カードの装着や CONFIG.SYS の記述を確認。
SCSI 機器を認識しない場合	SCSI 機器の設定や SCSI ケーブルの接続等を確認。
CD-ROM を認識している場合	Windows3.1 を起動する前に MSCDEX でドライブが割り当てられているか AUTOEXEC.BAT の記述を確認。
ハードディスクを認識している場合	REXFMT コマンドでディスクのフォーマットおよび区画設定を確認。
MO (光磁気ディスク) を認識している場合	REXFMT コマンドでディスクのフォーマットを確認。
zip ドライブを認識している場合	REXDISK の登録削除や Guest.exe の組み込みを確認。
スキャナを認識している場合	Setup で WinASPI の組み込みを確認。

詳しくは、第 12 章以降をご覧ください。

11 . DOS/Windows3.1 上で各 SCSI 機器を使用するには

この章では、SCSI PC カードにさまざまな SCSI 機器を接続して DOS/Windows3.1 上で使用する手順について説明していきます。

以下の順番で各 SCSI 機器毎に説明していきます。

- ・ CD-ROMドライブ、光磁気ディスク (MO) ドライブ、ハードディスクドライブ、PDドライブ、zipドライブ、MD(ミニディスク)データドライブ、スキャナ

CD-ROM ドライブを使用する

SCSI インターフェイスを備えた CD-ROM ドライブを SCSI PC カードに接続して DOS/Windows3.1 上で使用する場合の手順を説明します。

CD-ROM ドライブを使用するための設定

1. 前述「Windows3.1 上での REX-9530 のインストール」(☞ P10-1) で説明されている手順にしたがって PC カードおよびドライバのインストールを行います。

[使用する SCSI 機器] の [CD-ROM ドライブ] は必ずチェックします。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、CD-ROM ドライブの接続

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

CD-ROM ドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	0~6 のいずれか
タームパワー供給	有効にする

CD-ROM ドライブの SCSI コネクタにターミネータ(終端抵抗)を取り付けます。

CD-ROM ドライブのもう一方の SCSI コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

3. システムの再起動

CD-ROM ドライブの電源を入れます。

パソコン本体をリセットしてシステムを再起動します。

CD-ROM の接続を確認する

DOS 上ではパソコンが起動した時に、MSCDEX が表示するメッセージを確認します。

```
MSCDEX Version 2.23
Copyright(C) Microsoft Corp. 1986,1987,1988,1990 All right reserved.
Drive L: = Driver PCMCIA CD unit 0
```

3 行目の「Drive x:」表示のドライブが CD-ROM に割り当てられたドライブです。

このドライブに対して DIR コマンド等でファイル名が表示されるか確認します。

- ・ エラーになる場合は、SCSI ケーブルやターミネータの接続および CD-ROM ドライブの設定等が正しいか確認してください。

音楽 CD を聞く

Windows3.1 上で音楽 CD を聞く場合は、Windows3.1 のアクセサリに含まれるメディアプレーヤーというソフトを使用します。詳しくは、MS-Windows のマニュアルをご覧ください。

音声出力は、CD-ROM ドライブのライン出力またはヘッドフォン端子から出力されます。パソコン本体のスピーカからは出力されませんのでご注意ください。

CD-ROM ドライブを使用する場合の注意

- ・ CD-ROM ドライブに添付のデバイスドライバは組み込む必要がありません。
- ・ PhotoCD, VideoCD, CD-I を再生する場合は、専用の再生ソフトが必要ですが本製品には含まれておりませんので、別途ご用意ください。

MSCDEX についての注意事項

- ・ SCSI PC カードに CD-ROM ドライブを接続して DOS/Windows3.1 上で使用する場合には、APSI マネジャ, ASPI モジュール以外に MSCDEX.EXE が必要ですが、本製品には含まれておりません。MSCDEX はマイクロソフト社の製品で以下のものを別途ご用意ください。

DOS/V 機 (PC/AT 互換機)	MS-DOS6.2/V, PC-DOS6.3/V, PC-DOS7.0/V に添付のもの CD-ROM ドライブに添付のもの
NEC PC-9821 シリーズ	NEC 版 MS-DOS 6.2 または NEC 版 Windows3.1 に添付のもの CD-ROM ドライブに添付のもの
EPSON PC-486/586 Note シリーズ	EPSON 版 MS-DOS 6.2 に添付のもの CD-ROM ドライブに添付のもの

- ・ ネットワーク環境で使用する場合は、ネットワークを起動した後で MSCDEX をロードしてください。
また、CD-ROM に割り当てるドライブ名がネットワークドライブと重ならないように指定してください。
- ・ MSCDEX のパラメータについては、後述の「 MSCDEX.EXE 」 (P13-15) をご覧ください。

「NECCD.SYS」等の CD-ROM デバイスドライバについて

CD-ROM デバイスドライバ「NECCD.SYS」は、NEC 製 SCSI インターフェイス用のデバイスドライバで ASPI 仕様でないため、REX-9530 と組み合わせることはできません。このため、「NECCD.SYS」を「CONFIG.SYS」ファイルに登録する必要はありません。また、CD-ROM ドライブに添付する CD-ROM デバイスドライバも ASPI 仕様以外は、全く使用できませんので「CONFIG.SYS」ファイルに登録しないでください。

光磁気ディスク(MO)ドライブを使用する

SCSI インターフェイスを備えた光磁気ディスク(MO)ドライブを SCSI PC カードに接続して DOS/Windows3.1 上で使用する場合の手順を説明します。

MO ドライブを使用するための設定

1. 前述「Windows3.1 上での REX-9530 のインストール」(P10-1) で説明されている手順にしたがって PC カードおよびドライバのインストールを行います。

[使用する SCSI 機器] の [ハードディスク、MO] は必ずチェックします。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、 MO ドライブの接続

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

MO ドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	0~6 のいずれか
タームパワー供給	有効にする

MO ドライブの SCSI コネクタにターミネータ(終端抵抗)を取り付けます。

MO ドライブのもう一方の SCSI コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

3. システムの再起動

MO ドライブの電源を入れます。

パソコン本体をリセットしてシステムを再起動します。

メディアのフォーマット

DOS/Windows3.1 上で MO のメディアをフォーマットするには DOS のプロンプト状態で REXFMT というフォーマットユーティリティを使用します。

```
REXFMT [%Adapter_No] #SCSI-id /MO :[ FD | IBM | NEC ]  
[ /INIT ]
```

オプションパラメータ

オプション	意味
%Adapter_No	「%」に続けて対象となるホストアダプタの番号を指定します。
#SCSI-id	「#」に続けて対象となるMOドライブのSCSI-ID番号を指定します。
/MO:	MOメディアの論理フォーマットを行う指定です。 「/MO:」に続けてフォーマット形式「FD, IBM, NEC」の3種類から指定します。Windows95のマシンでこのメディアを使用する場合は、必ず「FD」を選択してください。フォーマット形式を省略した場合、「FD」を選択したことになります。
FD	MOの一般的な形式です。 異機種間での互換性が最もあるフォーマットです。
IBM	DOS/Vの「FDISK」コマンドで初期化したハードディスクと同じ形式です。
NEC	PC-9800シリーズの「FORMAT」コマンドで初期化したハードディスクと同じ形式です。

第 11 章 DOS/Windows3.1 上で各 SCSI 機器を接続するには

/INIT	論理フォーマットをする前に物理フォーマットを実行します。
-------	------------------------------

実行例

REXFMT #1 /MO /INIT

SCSI-ID が「1」のドライブのメディアの初期化を物理フォーマットを含めて行います。また、フォーマット形式は「FD」になります。

REXFMT に関する詳しい説明は、後述の「REXFMT.EXE」(P12-1)をご覧ください。

MO ドライブを使用する場合の注意

- ・ MO ドライブに添付のデバイスドライバは組み込む必要がありません。
- ・ DOS/Windows3.1 上では FDISK や FORMAT コマンドによるフォーマットはできません。
- ・ 新規メディアは物理フォーマットを行ってください。
- ・ 対応する物理セクターサイズは 512 バイトおよび 2048 バイトのみです。
- ・ 論理フォーマットのフォーマット形式は特に指定しないでください。

640MB のメディアを使用する場合の注意

- ・ PC-9800 シリーズで使用する場合は、必ず REXDISK.SYS に「/I」オプションを指定してください。
- ・ SMARTDRV を使用している場合、「 - ドライブ名」指定でキャッシュの対象外にしてください。

ハードディスクドライブを使用する

SCSI インターフェイスを備えたハードディスクドライブを SCSI PC カードに接続して DOS/Windows3.1 上で使用する場合の手順を説明します。

ハードディスクドライブを使用するための設定

1. 前述「Windows3.1 上での REX-9530 のインストール」(☞ P10-1) で説明されている手順にしたがって PC カードおよびドライバのインストールを行います。

[使用する SCSI 機器] の [ハードディスク、MO] は必ずチェックします。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、ハードディスクドライブの接続

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

ハードディスクドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	0~6 のいずれか
タームパワー供給	有効にする

ハードディスクドライブの SCSI コネクタにターミネータ(終端抵抗)を取り付けます。

ハードディスクドライブのもう一方の SCSI コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

3. システムの再起動

ハードディスクドライブの電源を入れます。

パソコン本体をリセットしてシステムを再起動します。

ハードディスクのフォーマット

新規のハードディスクを接続する場合には、ハードディスクのフォーマットとパーティションの作成をする必要があります。

DOS/Windows3.1 上でハードディスクをフォーマットするには DOS のプロンプト状態で REXFMT というフォーマットユーティリティを使用します。

```
REXFMT [%Adapter_No] #SCSI-id /HD :< IBM | NEC > [ /INIT ]
```

オプションパラメータ

オプション	意味
%Adapter_No	「%」に続けて対象となるホストアダプタの番号を指定します。
#SCSI-id	「#」に続けて対象となるハードディスクドライブのSCSI-ID番号を指定します。
/HD:	ハードディスクの論理フォーマットを行う指定です。 「/HD:」に続けてフォーマット形式「IBM, NEC」の2種類から指定します。省略はできません。
IBM	DOS/Vの「FDISK」コマンドで初期化したハードディスクと同じ形式です。
NEC	PC-9800シリーズの「FORMAT」コマンドで初期化したハードディスクと同じ形式です。
/INIT	論理フォーマットをする前に物理フォーマットを実行します。

実行例

```
REXFMT #1 /HD:IBM
```

SCSI-ID が「1」のドライブの初期化を FDISK 形式で行います。

ハードディスクのフォーマットが正常に終了したら、パーティションを作成する必要があります。パーティションを作成する場合にも REXFMT を使用します。

REXFMT に関する詳しい説明は、後述の「REXFMT.EXE」(P12-1)をご覧ください。

ハードディスクドライブを使用する場合の注意

- ・ハードディスクドライブに添付のデバイスドライバは組み込む必要がありません。
- ・DOS/Windows3.1 上では FDISK や FORMAT コマンドによるフォーマットはできません。

PD ドライブを使用する

PD ドライブ を接続して DOS/Windows3.1 上で使用する場合の手順を説明します。
ここでは、Panasonic 製の PD ドライブ LF-1000 との接続を例に説明します。

PD ドライブを使用するための設定

1. 前述「Windows3.1 上での REX-9530 のインストール」(☞ P10-1) で説明されている手順にしたがって PC カードおよびドライバのインストールを行います。

[使用する SCSI 機器] の [CD-ROM ドライブ] [ハードディスク、MO] は必ずチェックします。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、PD ドライブの接続

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

PD ドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	0~6のいずれか
ファンクションスイッチ 1 番 ターミネータ(TERMINATOR)	ON
ファンクションスイッチ 2 番(LUN)	OFF

PD ドライブの SCSI IN コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

3. システムの再起動

PD ドライブの電源を入れます。

PD ドライブのインストーラは実行しません。

パソコン本体をリセットしてシステムを再起動します。

PD メディアのフォーマット

新規の PD メディアを使用する場合には、PD をフォーマットする必要があります。DOS/Windows3.1 上で PD をフォーマットするには DOS のプロンプト状態で REXFMT というフォーマットユーティリティを使用します。

```
REXFMT [%Adapter_No] #SCSI-id /MO :[ FD | IBM | NEC ]  
[ /INIT ]
```

オプションパラメータ

オプション	意味
%Adapter_No	「%」に続けて対象となるホストアダプタの番号を指定します。
#SCSI-id	「#」に続けて対象となるPDドライブのSCSI-ID番号を指定します。
/MO:	PD メディアの論理フォーマットを行う指定です。 「/MO:」に続けてフォーマット形式「FD, IBM, NEC」の3種類から指定します。Windows95のマシンでこのメディアを使用する場合は、必ず「FD」を選択してください。フォーマット形式を省略した場合、「FD」を選択したことになります。
FD	PDの一般的な形式です。 異機種間での互換性が最もあるフォーマットです。
IBM	DOS/Vの「FDISK」コマンドで初期化したハードディスクと同じ形式です。
NEC	PC-9800シリーズの「FORMAT」コマンドで初期化したハードディスクと同じ形式です。
/INIT	論理フォーマットをする前に物理フォーマットを実行します。

実行例

```
REXFMT #1 /MO
```

SCSI-ID が「1」のドライブのメディアの初期化を FD 形式で行います。

フォーマット形式に「IBM, NEC」を指定した場合はフォーマットが終了したら、パーティションを作成する必要があります。パーティションを作成する場合にも REXFMT を使用します。

REXFMT に関する詳しい説明は、後述の「REXFMT.EXE」(P12-1)をご覧ください。

PD ドライブを使用する場合の注意

- DOS/Windows3.1 上で FDISK や FORMAT コマンドによるメディアのフォーマットはできません。
- DOS/Windows3.1 上での PD ドライブへのアクセスは「REXDISK.SYS」, 「REXCD.SYS」を使用するため PD ドライブ添付のデバイスドライバを組み込む必要はありません。
- PD ドライブに添付のユーティリティは使用できません。
- メディアのフォーマットは、REXFMT.EXE を使用します。

zip ドライブを使用する

zip ドライブ を接続して DOS/Windows3.1 上で使用する場合の手順を説明します。

zip ドライブに添付のマニュアルには「PCカードでの接続は不可」という意味の表記がありますが、本製品はPCカードの電源のみで動作可能なアクティブターミネータを内蔵しているため、zipドライブとの接続において問題はありません。

zip専用モデルREX-9530Z以外でzipドライブを接続するには、専用のSCSIケーブル(RCL-3004-05)が別途必要です。

zip ドライブを使用するための設定

1. 前述「Windows3.1 での REX-9530 のインストール」(☞ P10-1)で説明されている手順にしたがって PC カードおよびドライバのインストールを行います。

zip ドライブのみを接続する場合、[使用する SCSI 機器]の[CD-ROM ドライブ] [ハードディスク、MO] のチェックは両方ともクリアします。

ハードディスク / 光磁気ディスクと同時に使用する場合

- ・ CONFIG.SYS ファイルの以下の行に「/NoScanID」指定で zip ドライブに割り当てる SCSI-ID にアクセスしないように指定します。

```
DEVICE=C:¥SCSI¥REXDISK.SYS /NoScanID:5+6
```

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、zip ドライブの接続

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

zip ドライブに対して以下の設定を行います。

SCSI-ID	5または6のいずれか
ターミネータ(TERMINATOR)	ON にする

zip ドライブの SCSI コネクタに専用の SCSI ケーブルを取り付けます。

zip ドライブにターミネータが添付している場合がありますが、これは使用しません。

3. システムの再起動

zip ドライブの電源を入れます。

パソコン本体をリセットしてシステムを再起動します。

4. zip ドライブのインストーラの実行

Windows3.1 を起動して、zip ドライブ添付のディスクからインストーラ「Setup」を実行して専用のソフトウェアを組み込みます。

パソコン本体をリセットしてシステムを再起動します。

zip ドライブを使用する場合の注意

- ・ zip ドライブのみを使用する場合は、REXDISK.SYS を組み込まないでください。
- ・ FDISK や FORMAT コマンドによるメディアのフォーマットはできません。

MD(ミニディスク)データドライブを使用する

MD データドライブを SCSI PC カードに接続する場合の手順について説明します。
MD データは音楽用の MD(ミニディスク)をコンピュータの記録媒体として扱うために拡張されたメディアです。
MD データドライブは、MD データをフロッピーディスクや MO などと同じ用途に使用するためのドライブです。
ここでは、SONY 製のポータブル MD データ・ドライブ MDH-10 との接続を例に説明します。

MD データドライブを使用するための設定

1. 前述「Windows3.1 上での REX-9530 のインストール」(☞ P10-1)で説明されている手順にしたがって PC カードおよびドライバのインストールを行います。

MD データドライブのみを接続する場合、[使用する SCSI 機器]の[CD-ROM ドライブ][ハードディスク、MO]のチェックは両方ともクリアします。

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、MD データドライブの接続

SCSI PC カードを PC カードスロットに奥まで差し込みます。

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

MD データドライブ以下の設定を行います。

SCSI-ID	0~6 のいずれか
ターミネータスイッチ	ON にする
POWER/モード切り換えスイッチ	「DATA」にする

MD データドライブの SCSI コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

3. システムの再起動

MD データドライブの電源を入れます。

パソコン本体をリセットしてシステムを再起動します。

4. MD データのインストーラの実行

MD データドライブ添付のディスクから SETUP.EXE を実行して専用のソフトウェアを組み込みます。

MD データを使用するために以下の 2 行が AUTOEXEC.BAT ファイルに追加されます。

```
C:¥MDDATA¥MDMGR.EXE
C:¥MDDATA¥MDFSEX.EXE
```

パソコン本体をリセットしてシステムを再起動します。

メディアのフォーマット

MD データのメディアはMDFS(MD データファイルシステム)という独自のフォーマットを持っています。

メディアをフォーマットするには専用のフォーマットユーティリティを使用します。

DOS 上では MDFORMAT.EXE というコマンドを実行します。

```
MDFORMAT drive: [ -q | -s ] [ -v:label -o ] [ -? ]
```

オプションパラメータ

オプション	意味
drive	フォーマットするメディアの入っているドライブ名
-q	論理フォーマット
-s	物理フォーマットと論理フォーマット
-v: label	ボリュームラベル
-o	確認のステップなしで実行
-?	ヘルプ表示

実行例

```
mdformat d: -qv:TEST
```

D ドライブのメディアを論理フォーマットして「TEST」というボリュームラベルを付けます。

Windows 上では MD DATA グループにある「Mdfomat」を実行します。

MD データドライブを使用する場合の注意

- ・ FDISK や FORMAT コマンドによるフォーマットはできません。
- ・ メディアのフォーマットは、MD データドライブに添付のプログラム「MDFORMAT」を使用します。

スキャナを使用する

SCSI インターフェイスを備えたイメージスキャナを SCSI PC カードに接続して DOS/Windows3.1 上で使用する場合を中心に説明します。

イメージスキャナの場合、スキャナの種類やメーカーによって設定方法が異なります。紙面の都合上ここでは、EPSON の GT-8500 を例に説明します。他のスキャナについては、各スキャナに添付のマニュアル等をご覧ください。

GT-8500 を使用するための設定

1. 前述「Windows3.1 上での REX-9530 のインストール」(P10-1) で説明されている手順にしたがって PC カードおよびドライバのインストールを行います。

画面左の [WinASPI の組み込み] 項目をチェックします。

スキャナのみを接続する場合、[使用する SCSI 機器] の [CD-ROM ドライブ] [ハードディスク、M0] のチェックは両方ともクリアします。

EPSON PC シリーズ (9 8 互換機) の場合、Windows3.1 の SYSTEM.INI ファイルの [System] セクション内に「ReflectTimer=1」を設定します。
([System] セクションそのものがない場合は追加します)

```
[System]
ReflectTimer=1
```

2. SCSI PC カード、SCSI ケーブル、GT-8500 の接続

SCSI PC カード用 SCSI ケーブルの小さい方のコネクタを SCSI PC カードに差し込みます。

GT-8500 に対しての以下の設定を行います。

SCSI-ID	1~6 のいずれか
ターミネータ (TERMINATOR)	OFF

GT-8500 の SCSI コネクタにターミネータ (終端抵抗) を取り付けます。

GT-8500 のもう一方の SCSI コネクタに SCSI ケーブルを取り付けます。

GT-8500では、ターミネータ (TERMINATOR) をONにすることにより SCSI コネクタにターミネータ (終端抵抗) を取り付けないように設定できますが、REX-9530を接続して使用する場合にはこの方法は推奨しません。

3. システムの再起動

スキャナの電源を入れます。

パソコン本体をリセットしてシステムを再起動します。

4. スキャナ添付のインストーラの実行

GT-8500 添付の EPSON Scan! II ディスクからインストーラ「Setup」を実行して専用のソフトウェアを組み込みます。

インストールが正常に終了すると、「EPSON スキャナの設定」ダイアログボックスが表示されます。

- ・「インターフェイス」は SCSI を選択して、「GT-8500」が認識されることを確認します。
- ・スキャンのテストをするためにスキャナに原稿をセットし、「テスト」ボタンを押してスキャナが正常に動作することを確認します。

詳しくは、EPSON Scan! II 取扱説明書をご覧ください。

GT-8500 を使用する場合の注意

- ・ GT-8500 自体は SCSI-ID を 0~7 まで設定可能ですが、EPSON Scan! II がスキャナを認識する SCSI-ID が 1~6 のため、ID0, ID7 は設定しないでください。
- ・ EPSON Scan! II をインストール後に GT-8500 の SCSI-ID を変更した場合は、Windows のコントロールパネルから「EPSON スキャナの設定」を選択して GT-8500 を再認識させる必要があります。
- ・ EPSON Scan! II のイメージ取得中に「イメージの転送に失敗しました」のエラー表示になった場合は、一度 GT-8500 の RESET スイッチを押した後にイメージ取得をもう一度最初から行ってみてください。
- ・ パソコンの機種や環境によって、EPSON Scan! II でカラー写真モードのイメージ取得をした場合には、イメージの取得が終わってから画面に表示されるまで 5 分以上かかる場合があります。



12. DOS 用 SCSI ユーティリティについて

この章では、添付のドライバソフトウェアディスクに含まれるユーティリティソフトウェアで DOS 上で動作するものについて説明します。

REXFMT.EXE - ディスク・フォーマット・コマンド

ハードディスクや光磁気ディスク(MO)、PDの論理フォーマット、パーティション設定・表示を行います。

このプログラムを実行するには、ASPIマネージャが登録されている必要があります。

Windows95の場合、コマンドプロンプトから実行します。

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] [サブコマンド] [オプション....]
```

%Adapter_No ホストアダプタ番号を指定します。
この指定は、ATAPI 仕様の CD-ROM ドライブを内蔵しているパソコンで Windows95 の DOS プロンプトから本コマンドを使用する場合などに、SCSI PC カードがホストアダプタ番号「0」以外で動作する場合に使用します。

 ホストアダプタ 0 内蔵 CD-ROM (ATAPI)

 ホストアダプタ 1 SCSI PC カード

省略時は、「0」が選択されます。

#SCSI_ID 対象ドライブの SCSI-ID 番号を指定します。
省略時は、最も若い番号が選択されます。

サブコマンド ディスクに対する処理を指定します。
/HD ハードディスクのフォーマット
/MO 光磁気ディスク(MO)およびPDのフォーマット
/PAT 区画(パーティション)の作成
/DEL 区画の削除
/SLEEP 区画を一時的に無効(SLEEP)にする
/ACTIVE 一時的に無効にした区画を有効(ACTIVE)にする

オプション 各処理の詳細を指定します。
各サブコマンドによって指定可能なオプションは異なります。

サブコマンド、SCSI-ID 以外のすべてのオプションを省略した場合は、指定 SCSI-ID のドライブの状態について表示します。SCSI-ID も省略した場合は、最も若い SCSI-ID について表示します。

(注意) REXFMT を起動しようとして下のようなメッセージを表示して実行できない場合があります。この場合は、「EMM386.EXE」のオプションに「D=48」を追加してシステムを再起動してください。

```
EMM386 DMA buffer is too small. Add D=48 parameter and reboot.
```

「EMM386.EXE」の記述例

```
DEVICE=C:¥DOS¥EMM386.EXE RAM 1024 FRAME=D000 X=C800-CFFF D=48
```


第 12 章 DOS 用 SCSI ユーティリティについて

状態表示の実行例

```
A:¥SCSIUT> REXFMT #0 <Enter>
ハードディスク・MOフォーマットユーティリティ Verx.x (yymmdd)
(c)RATOC system.inc,1994,1995. all right reserved.

Check SCSI ID:#0.....OK!
メディアタイプ: Hard Disk (HD) <SEAGATE ST32430N 025>
ディスクの全容量: 2149071360 バイト (2049 メガバイト)
フォーマット形式: I B M H D
全シリンダ数: 261
1シリンダあたりのバイト数: 8225280バイト
ヘッド数: 255
トラックあたりのセクタ数: 63

区画番号 容量 開始シリンダ 終了シリンダ %
  00 1019 メガバイト 0 129 49.81

空き領域 1: 1027 メガバイト (131 シリンダ)
処理を終了します。
```

エラーメッセージ

A S P I マネジャが登録されていません。

- 意味 ・ ASPI マネジャが正常に起動していない。
- 原因 ・ ASPI マネジャが起動に失敗している。
- 対処 ・ ASPI マネジャの設定や SCSI 機器の設定を確認します。

SCSI ID : #X ... 指定された機器は使えません

Check SCSI ID : #6 ... フォーマット可能なSCSI機器が見つかりません

- 意味 ・ ドライブが認識できなかった。
- 原因 ・ 間違った SCSI-ID 番号を指定した。
- 対処 ・ ディスクの SCSI-ID 番号を確認して、その番号を指定します。
- 原因 ・ ドライブの電源が入っていない。
 - ・ SCSI ケーブルが正しく接続されていない。
 - ・ SCSI ターミネータが装着されていない。
 - ・ ドライブからタームパワーが供給されていない。
- 対処 ・ ドライブの設定を確認します。
 - ・ SCSI ケーブルの接続を確認します。

書式 1 - ハードディスクの初期化

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /HD:[ IBM | NEC ] [ /INIT ]
                                             [ /VERIFY:[ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクのフォーマットを実行します。

サブコマンド

/HD

「/HD:」に続けてハードディスクのフォーマット形式を指定します。

ここで指定するフォーマット形式は以下のものです。

IBM	DOS/Vの「FDISK」コマンドで初期化した場合と同じ形式 Windows95で使用する場合、こちらを選択してください。
NEC	PC-9800シリーズの「FORMAT」コマンドで初期化した場合と同じ形式

オプション

/INIT

このオプションは、論理フォーマットに先立ってハードディスクの物理フォーマットを行う場合に指定します。

/VERIFY:ON

/VERIFY:OFF

このオプションは、ハードディスクのフォーマット書き込み後のベリファイチェックを指定します。

ON	ベリファイチェックを行います。
OFF	ベリファイチェックを行いません。

フォーマットの実行例

```
A:¥SCSIUT> REXFMT #0 /HD:IBM <Enter>
ハードディスク・MOフォーマットユーティリティ Ver x.x (yymmdd)
(c)RATOC system.inc,1994,1995. all right reserved.

Check SCSI ID:#0.....OK!
メディアタイプ: Hard Disk (HD) <SEAGATE ST32430N 025>
ディスクの全容量: 2149071360 バイト (2049 メガバイト)
フォーマット形式: I B M H D
全シリンダ数: 261
1シリンダあたりのバイト数: 8225280バイト
ヘッド数: 255
トラックあたりのセクタ数: 63

このディスクは、I B M H D 形式でフォーマットされています。
```

上のように表示した後、下の確認入力になります。

```
I B M H D形式でメディアを初期化しますか?(内容は全て失われます) (y/n)
```

「y」を入力するとハードディスクを初期化します。「n」を入力すると処理を中止します。

第 12 章 DOS 用 SCSI ユーティリティについて

初期化されると下のメッセージを表示してプログラムを終了します。

終了しました。
続いて区画の確保を行って下さい。
処理を終了します。

エラーメッセージ

ドライブの準備ができていません。

- 意味 ・ ディスクの読み出しに失敗した。
原因 ・ 間違った SCSI-ID 番号を指定した。
対処 ・ ディスクの SCSI-ID 番号を確認して、その番号を指定します。
原因 ・ ドライブの電源が入っていない。
・ SCSI ケーブルが正しく接続されていない。
・ SCSI ターミナータが装着されていない。
・ ドライブからタームパワーが供給されていない。
対処 ・ ドライブの設定を確認します。
・ SCSI ケーブルの接続を確認します。

制限事項

NEC PC-9800 シリーズまたは EPSON PC シリーズ (98 互換機) の場合
NEC HD形式でフォーマットしたメディアに対してSCANDISK.EXEを実行すると以下の
エラーメッセージが表示されます。

FATメディアバイトが足りない、FATバックアップコピーが正しくない

修復するか問いに対しては、必ず「修復する」を選択してください。
一度修復すると次回からこのエラーは発生しません。

DOS/V Note パソコンの場合

NEC HD形式でフォーマットしたメディアに対してSCANDISK.EXEを実行すると以下の
エラーメッセージが表示されます。

ディレクトリエントリが正しくない、ディレクトリが損傷を受けている

これは、SCANDISKがディレクトリエントリを検査中にFDISK形式でフォーマットされ
たディスクのエントリ数と異なる場合に表示するエラーですが、使用上特に問題はあ
りません。修復するか問いに対しては、絶対に「修復する」は**選択しない**でくださ
い。

「修復する」を選択するとディスクのデータを破壊するおそれがあるので注意してく
ださい。

書式 2 - 光磁気ディスク (MO) の初期化

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /MO:[ FD | IBM | NEC ] [ /INIT ]
[ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

光磁気ディスク (MO) や PD メディアのフォーマットを実行します。
サブコマンド

/MO

「/MO:」に続けて MO のフォーマット形式を指定します。

FD	MO の一般的な形式 異機種間での互換性が最もあるフォーマットです。 Windows95 で使用する場合は、これを選択してください。
IBM	DOS/V の「FDISK」コマンドで初期化したハードディスクと同じ形式
NEC	PC-9800 シリーズの「FORMAT」コマンドで初期化したハードディスクと同じ形式

ここで指定するフォーマット形式は「REXDISK.SYS」で説明したものと同じです。

今後の互換性のため、なるべく「FD」形式を指定してください。

また、フォーマット形式を省略した場合は、自動的に「FD」を選択したことになります。

DOS 3.X 互換のセミ IBM フォーマットには対応していません

オプション

/INIT

このオプションは、論理フォーマットに先立ってメディアの物理フォーマットを行う場合に指定します。

/VERIFY:ON

/VERIFY:OFF

このオプションは、メディアのフォーマット書き込み後のベリファイチェックを指定します。

ON	ベリファイチェックを行います。
OFF	ベリファイチェックを行いません。

第 12 章 DOS 用 SCSI ユーティリティについて

フォーマットの実行例

```
A:¥SCSIUT> REXFMT #0 /MO <Enter>
ハードディスク・MOフォーマットユーティリティ Ver x.x (yymmdd)
(c)RATOC system.inc,1994,1995. all right reserved.

Check SCSI ID:#0.....OK!
メディアタイプ: Removable Media (MO) <FUJITSU >
ディスクの全容量: 228518400 バイト (217 メガバイト)
フォーマット形式: N E C H D
全シリンダ数: --
1シリンダあたりのバイト数: --
ヘッド数: --
トラックあたりのセクタ数: --

このディスクは、N E C H D 形式でフォーマットされています。
```

上のように表示した後、下の確認入力になります。

```
MOを FD形式でフォーマットします。よろしいですか？(内容は全て失われます) (y/n)
```

「y」を入力するとメディアを初期化します。「n」を入力すると処理を中止します。初期化されると下のメッセージを表示してプログラムを終了します。

```
終了しました。
処理を終了します。
```

エラーメッセージ

```
ドライブの準備ができていません。
```

- 意味 ・ ディスクの読み出しに失敗した。
- 原因 ・ 間違った SCSI-ID 番号を指定した。
- 対処 ・ ディスクの SCSI-ID 番号を確認して、その番号を指定します。
- 原因 ・ メディアがドライブに挿入されていない。
- 対処 ・ ドライブにメディアが正しく挿入されていることを確認します。
- 原因 ・ ドライブの電源が入っていない。
- ・ SCSI ケーブルが正しく接続されていない。
 - ・ SCSI ターミネータが装着されていない。
 - ・ ドライブからタームパワーが供給されていない。
- 対処 ・ ドライブの設定を確認します。
- ・ SCSI ケーブルの接続を確認します。

```
メディアに異常があります。処理を中断します。
```

- 意味 ・ メディアの読み出しに失敗した。
- 原因 ・ ドライブに間違ったメディアが挿入されている。
- 対処 ・ 正しいメディアが挿入されていることを確認します。

書式 3 - 区画の確保

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /PAT[<確保容量>] [/Hxx]
        [/LABEL:<ボリュームラベル>]
        [ /KNAME[:<区画名>] ] [ /SLEEP | /ACTIVE ]
        [ /VERIFY: [ ON | OFF] ]
```

ハードディスクに区画を確保します。

サブコマンド

/PAT

「/PAT:」に続けて確保する区画の容量を指定します。
 確保容量を省略した場合は、連続して確保可能な最大容量になります。
 また、容量の単位は次の 3 とおりが指定できます。

	設定単位	説 明
/PAT:<cc>	シリンダ数	ccには10進数の1～1024が指定できます
/PAT:<mm>M	M/バイト数	mmには10進数の1～8032が指定できます
/PAT:<pp>%	パーセント	ppには10進数の1～100が指定できます

オプション

/Hxx

このオプションは NEC HD 形式で最初の区画作成の場合のみ有効です。
 本製品で初期化したディスクを NEC PC-9801 シリーズ用の各種 SCSI インターフェイスカードでも再フォーマットせずに認識させる場合に指定します。
 「/H」に続けてフォーマット形式を指定します。
 「xx」のフォーマット形式は以下のいずれかを指定します。

指定値	対象フォーマット
92	NEC製SCSIインターフェイスカード(PC-9801-92)
55	NEC製SCSIインターフェイスカード(PC-9801-55) (MOに対しては設定できません。)
S2	サードパーティ製 (ICM等)SCSIインターフェイスカード (MO に対しては設定できません。)
MELCO	サードパーティ製 (MELCO等)SCSIインターフェイスカード
FMO	REXFMT v1.xx でNEC HD形式にフォーマットしたMO (このオプションは、REXDISK.SYS v1.xxとの下位互換性のた めに用意されています。通常は指定しないでください。)

すでに区画が作成されている場合、このオプションは無視されます。

/LABEL

「/LABEL:」に確保した区画に設定するボリュームラベルを指定します。

/VERIFY:ON

/VERIFY:OFF

このオプションは、区画情報の書き込み後のベリファイチェックを指定します。

ON	ベリファイチェックを行います。
OFF	ベリファイチェックを行いません。

第 12 章 DOS 用 SCSI ユーティリティについて

下の3つのオプションはハードディスクがNEC HD形式の場合のみ有効です。

/KNAME[:<区画名>]	区画名を指定します。
/SLEEP	区画確保後に区画の属性をスリープ状態にします。
/ACTIVE	区画確保後に区画の属性をアクティブ状態にします。

区画作成の実行例

```
A:¥SCSIUT> REXFMT #0 /PAT:1 /LABEL:DOS_6 <Enter>
ハードディスク・MOフォーマットユーティリティ Ver x.x (yymmdd)
(c)RATOC system.inc,1994,1995. all right reserved.
Check SCSI ID:#0.....OK!
メディアタイプ: Hard Disk (HD) <SEAGATE ST32430N 025>
ディスクの全容量: 2149071360 バイト (2049 メガバイト)
フォーマット形式: I B M H D
全シリンダ数: 261
1シリンダあたりのバイト数: 8225280バイト
ヘッド数: 255
トラックあたりのセクタ数: 63

このディスクは、I B M H D 形式でフォーマットされています。
区画番号 容量 開始シリンダ 終了シリンダ %
00 1019 メガバイト 0 129 49.81

確保区画容量: 40 メガバイト ラベル名: DOS_6
```

上のように確保する区画の容量とボリュームラベルが表示した後、下の確認入力になります。

区画を確保します。よろしいですか? (y/n)

「y」を入力すると指定した領域を確保します。「n」を入力すると処理を中止します。区画が確保されると下のメッセージを表示してプログラムを終了します。

区画を確保しました。
処理を終了します。

エラーメッセージ

指定された容量では確保できません。

原因 ・ ディスクの残り容量を越えた容量を指定した。

対処 ・ ディスクの残り容量を確認して、その範囲内の容量を指定します。

区画確保の対象が NEC HD 形式でフォーマット済みの MO の場合

NEC HD 形式の場合は、フォーマット種別を指定してください。

原因 ・ 「/H」オプションによるフォーマット形式を指定しなかった。

・ MO に対して「/H55」または「/HS2」を指定した。

対処 ・ HD の場合、「/H55」、「/HS2」、「/H92」、「/HMELCO」のいずれかを指定します。

・ MO の場合、「/H92」、「/HMELCO」のいずれかを指定します。

制限事項

NEC PC-9800 シリーズまたは EPSON PC シリーズ (98 互換機) の場合
NEC HD形式でフォーマットしたメディアに対して区画を確保する場合以下の制限があります。

内蔵HDの区画サイズが31M未満または129M以上の場合、REXFMTで確保する区画サイズも31M未満または129M以上にする必要があります。
上の条件で32M～128Mの区画サイズを確保するとREXDISK.SYSの起動時にハングアップしたり、メディアに対して正しくアクセスできない不具合が発生することがあります。

書式 4 - 区画の削除

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] /DEL:<区画番号> [ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

ハードディスクから区画を削除します。

サブコマンド

/DEL

「/DEL:」に続けて削除する区画番号を指定します。

区画番号を省略した場合は、先頭区画(区画番号 0)が削除されます。

オプション

/VERIFY:ON

/VERIFY:OFF

このオプションは、区画情報の書き込み後のベリファイチェックを指定します。

ON	ベリファイチェックを行います。
OFF	ベリファイチェックを行いません。

区画削除の実行例

```
A:¥SCSIUT> REXFMT #0 /DEL:2 <Enter>
.....
.....
```

区画番号	容量	開始シリンダ	終了シリンダ
00	12 メガバイト	0	11
01	100 メガバイト	12	111
02	40 メガバイト	112	151

上のように現在の各区画容量とボリュームラベルを表示した後、下の確認入力になります。

区画番号: 02 を削除します。よろしいですか? (y/n) y <Enter>

「y」を入力すると指定した区画を削除します。「n」を入力すると処理を中止します。区画が削除されると下のメッセージを表示してプログラムを終了します。

区画を削除しました。
処理を終了します。

書式 5 - 区画属性の変更

書式

```
REXFMT [%Adapter_No] [#SCSI_ID] [ /SLEEP:<区画番号> | /ACTIVE:<区画番号> ]
      [ /VERIFY: [ ON | OFF ] ]
```

NEC HD形式でフォーマットしたメディアの区画属性を変更します。

サブコマンド

/SLEEP

/ACTIVE

「/SLEEP:」, 「/ACTIVE:」に続けて区画番号を指定します。

この機能は、NEC HD形式以外でフォーマットしたメディアの区画に対しては無効です。

オプション

/VERIFY:ON

/VERIFY:OFF

このオプションは、区画情報の書き込み後のベリファイチェックを指定します。

ON	ベリファイチェックを行います。
OFF	ベリファイチェックを行いません。

区画属性変更の実行例

```
A:¥SCSIUT> REXFMT #0 /SLEEP:1 <Enter>
.....
.....
.....
区画番号 区画名      容量      開始シリンダ  終了シリンダ  属性
  00    MS-DOS 5.0  100 メガバイト      1             651  Active
  01    MS-DOS 5.0   40 メガバイト    652            912  Active
```

上のように現在の各区画の情報を表示した後、下の確認入力になります。

```
区画番号： 01 の属性をSleepに変更しますか？ (y/n) y <Enter>
```

「y」を入力すると指定した区画属性を変更します。「n」を入力すると処理を中止します。区画属性が変更されると下のメッセージを表示してプログラムを終了します。

```
属性を変更しました。
処理を終了します。
```

SSC.EXE - SCSI 機器接続確認コマンド

SCSI PCカードに接続されているSCSI機器を確認するためのコマンドです。
このプログラムを実行するには、ASPIマネージャが登録されている必要があります。

書式

```
SSC [%Adapter_No] [#SCSI_ID]
```

- %Adapter_No** ホストアダプタ番号を指定します。
この指定は、ATAPI 仕様の CD-ROM ドライブを内蔵しているパソコンで Windows95 の DOS プロンプトから本コマンドを使用する場合などに、SCSI PC カードがホストアダプタ番号「0」以外で動作する場合に使用します。
- ホストアダプタ 0 内蔵 CD-ROM (ATAPI)
ホストアダプタ 1 SCSI PC カード
- 省略時は、「0」が選択されます。
- #SCSI_ID** 対象 SCSI 機器の SCSI-ID 番号を指定します。
省略時は、ID 番号 0 から 6 まで順番にスキャンして表示します。

実行例

```
A:¥SCSIUT> SSC <Enter>
SSC.EXE(SHOW SCSI) S C S I 接続機器チェックプログラム Ver x.xx(yymmdd)
(c) RATOC system.inc,1995. SLR. all rights reserved.
S C S I I D : #0 .....Connect!
C D - R O M ・ デバイス
ベンダ I D : TOSHIBA
製品番号 : CD-ROM XM-4101TA
リビジョン : 2943
S C S I 規格の適合範囲 : SCSI-2
同期転送 : サポート
取り外し : 可能
ブロックサイズ : 2048
全ブロック数 : 130080
総容量 : 254メガバイト
```

実行を開始すると、指定した SCSI-ID の機器状態を ID 番号の右横に表示します。

表示	機器検出状態
Connect	SCSI 機器を検出できた
Not Connect	SCSI 機器を検出できなかった

機器を検出した場合には、さらに機器の情報を表示します。
また、メディアの情報も表示します。

表示メッセージ

ASPI マネジャが登録されていません！！

- 意味 ・ ASPI マネジャが正常に起動していない。
原因 ・ ASPI マネジャが起動に失敗している。
対処 ・ CONFIG.SYS ファイルの ASPI マネジャの設定を確認します。

ドライブの準備ができていません。

CD-ROM や MO 等の取り外し可能なドライブを接続している場合

- 原因 ・ ドライブにメディアが挿入されていない。
対処 ・ ドライブにメディアをセットします。

CD-ROM ドライブを接続している場合

- 原因 ・ REXCD.SYS や MSCDEX.EXE が正しく組み込まれていない。
対処 ・ CONFIG.SYS ファイルの REXCD.SYS の設定を確認します。
・ AUTOEXEC.BAT ファイルの MSCDEX.EXE の設定を確認します。
・ REX-9530 のインストーラを再実行します。

13. DOS/Windows3.1 用 SCSI 関連ドライバについて

DOS/Windows3.1上でSCSI PCカードを使用する場合、DOS/Windows3.1用SCSIドライバをインストールする必要があります。

また、SCSI PCカードを使用してWindows95のインストールを行う場合、一時的にDOS用SCSI関連ドライバがインストールされます。ここでは、これらのドライバについて説明していきます。

CONFIG.SYS の書き換えについて

本製品添付の Windows3.1 用インストーラ「SETUPW31.EXE」を実行すると、CONFIG.SYS に SCSI PC カード用の各種ドライバを登録します。

例えば DOS/V 環境でインストールした場合、次のような記述を追加します。

```
[COMMON]
REM ----REX-9530----
DEVICE=C:¥SCSI¥ASPI9530.SYS /PORT=280
DEVICE=C:¥SCSI¥REXCD.SYS /D:PCMCIACD
DEVICE=C:¥SCSI¥REXDISK.SYS
```

ASPI9530.SYS

SCSI PCカードのカードサービス対応イネーブラ兼ASPIマネジャ。

パソコン本体のカードサービスに対してSCSIカードが必要とするI/Oポートアドレスを知らせます。

また、SCSIコントローラを制御するためのASPIマネジャとして機能します。

ここでは、ASPI9530.SYSを例としていますが、これ以外にパソコンの機種およびPCMCIAドライバに対応した各種ドライバがあります。各ドライバ名および設定パラメータについては、後述「DOS用ドライバ(イネーブラ+ASPIマネジャ)」(P13-2)をご覧ください。

REXCD.SYS

ASPI仕様のCD-ROMドライバ(ASPIモジュール)。

REXDISK.SYS

ASPI仕様のハードディスク/MO用ディスクドライバ(ASPIモジュール)。

ASPIおよびASPIマネジャについて

ASPI (Advance SCSI Programing Interface) はAdaptec社によって提唱されたSCSIデバイスドライバやユーティリティプログラムのためのソフトウェア上のインターフェイス規格案です。

ASPIマネジャと呼ばれる部分はSCSIインターフェイスボードのハードウェアの直接制御を受け持ち、上位のプログラムとのインターフェイスがASPI規格に準拠していればハードウェアの違いを吸収することができるように考慮されています。そしてASPIモジュールと呼ばれる部分は、このASPIマネジャを呼び出してSCSI機器を制御するソフトウェアです。

第 13 章 DOS/Windows3.1 用 SCSI 関連ドライバについて

DOS 用ドライバ (イネーブラ+ASPI マネジャ)

本製品に添付のドライバASP19530.SYS, ASPDBK30.SYS, ASP36530.SYS, ASP9530N.SYS, SS9530.SYS, ASP9530E.SYSは、SCSI PCカードのイネーブラ兼DOS用ASPIマネジャとして機能します。

ドライバは以下の種類があります。

ドライバ名	対応PCMCIAドライバ	対応機種
ASP19530.SYS	カードサービス	DOS/Vノートパソコン
ASPDBK30.SYS	DATABOOK製CardTalk	
ASP36530.SYS	PCMCIAコントローラ直接制御	
ASP9530N.SYS	NEC PC98標準添付のカードサービス	NEC PC-9821シリーズ
SS9530.SYS	NEC PC98標準添付のソケットサービス	NEC PC-9821 Ne
ASP9530E.SYS	EPSON 98互換機標準添付のカードサービス	EPSON PC-486/586シリーズ

書式

<pre>DEVICE=<ディレクトリパス>¥ASP19530.SYS [/PORT=<I/Oアドレス>] [/SOCKET=<スロット番号>] [/INT=<割り込み番号>] [/BOFF] [/AS=n1] [/S1=n1] [/RESET=<ディレイ>] [/PARITYOFF] [/BM] [/NORMAL]</pre>
<pre>DEVICE=<ディレクトリパス>¥ASPDBK30.SYS [/PORT=<I/Oアドレス>] [/SOCKET=<スロット番号>] [/MEM=<開始セグメント>] [/AS=n1] [/S1=n1] [/RESET=<ディレイ>] [/PARITYOFF]</pre>
<pre>DEVICE=<ディレクトリパス>¥ASP36530.SYS [/PORT=<I/Oアドレス>] [/SOCKET=<スロット番号>] [/MEM=<開始セグメント>] [/AS=n1] [/S1=n1] [/RESET=<ディレイ>] [/PARITYOFF] [/BM] [/NORMAL] [/PCICADR=<PCICのアドレス>]</pre>
<pre>DEVICE=<ディレクトリパス>¥ASP9530N.SYS [/PORT=<I/Oアドレス>] [/SOCKET=<スロット番号>] [/AS=n1] [/S1=n1] [/RESET=<ディレイ>] [/PARITYOFF] [/BM] [/NORMAL]</pre>
<pre>DEVICE=<ディレクトリパス>¥SS9530.SYS [/AS=n1] [/S1=n1] [/RESET=<ディレイ>] [/PARITYOFF]</pre>
<pre>DEVICE=<ディレクトリパス>¥ASP9530E.SYS [/PORT=<I/Oアドレス>] [/SOCKET=<スロット番号>] [/AS=n1] [/S1=n1] [/RESET=<ディレイ>] [/PARITYOFF]</pre>

以下のパソコンの場合には、必ず [/BM] オプションを指定してください。

パソコンの機種	ドライバ名
IBM ThinkPad560, 560E	ASP19530.SYS, ASP36530.SYS

全ドライバ共通のオプション

/PORT=<I/O アドレス>

SCSI PC カードが使用する I/O ポートのベースアドレスを 16 進数で指定します。

ドライバ	設定可能 I/O アドレス値	省略時
ASPI9530.SYS, ASP36530.SYS ASPDBK30.SYS	120, 140, 180, 280, 300, 340	300
ASP9530N.SYS	0D0, 1D0, 2D0, 3D0, 4D0	0D0
SS9530.SYS	0D0 固定	
ASP9530E.SYS	300, 320, 340, 380, 3A0, 3C0	380

本カードは「/PORT」で指定した値から 16 バイトの空間を占有します。

/SOCKET=<スロット番号>

PC カード スロットが 2 つ以上の場合に、SCSI PC カードを挿入する PC カード スロットを「0~2」の数字で指定します。

スロット番号	意	味
0	自動スキャン。スロット 1、2 を順番に検索して見つける。	
1	下側のスロット	
2	上側のスロット	

一部のパソコンでは、スロット番号の下側 / 上側の意味が逆になる場合があります。

/AS=n1 /AS=n2

特定の機器と非同期転送モードでのアクセスをする指定です。

n1, n2には非同期モードアクセスする機器のSCSI-ID番号を「0」～「6」の1桁の数字で指定します。イメージスキャナ等で非同期モードしかサポートしていないSCSI機器をつなぐ場合や、同期モードで動作が不安定な場合に指定します。

このオプションは複数指定が可能です。また、「/AS」のみを指定すると接続されたすべての機器に対して非同期モードアクセスします。

例) /AS=4 /AS=6 SCSI-ID番号4,6に対して非同期モードでアクセスする指定です。

/S1=n1 /S1=n2

特定の機器と同期転送モードを5MB/Sec以下でアクセスする指定です。

n1, n2には5MB/Sec以下でアクセスする機器のSCSI-ID番号を「0」～「6」の1桁の数字で指定します。FAST SCSI(10MB/Sec)をサポートしていない機器を接続している場合に指定してください。

このオプションは複数指定が可能です。また、「/S1」のみを指定すると接続されたすべての機器に対して5MB/Sec以下でアクセスします。

例) /S1=1 /S1=2 SCSI-ID番号1,2に対して5MB/Secの同期モードでアクセスする指定です。

/PARITYOFF

データ転送時にパリティチェックを無効にする指定です。

古いSCSI機器でパリティチェックが有効だと正常に動作しない場合に指定してください。

第 13 章 DOS/Windows3.1 用 SCSI 関連ドライバについて

/RESET=<ディレイ>

SCSI機器にリセットメッセージを発行後にディレイを秒単位で指定します。デバイスリセット後、機器準備ができるまで時間のかかる場合に指定してください。

/BM

BMモード（バイトアクセスモード）の指定。

この「/BM」および次の「/NORMAL」を指定しない場合は、PCカードスロットのコントローラを判断して自動的にアクセスモードが選択されます。

ただし、IBM ThinkPad 560, 560E で使用する場合、必ずこの「/BM」指定を入れてください。

/NORMAL

上のBMモードと逆の標準アクセスモードモードの指定。

ASPI9530.SYS 固有のオプション

/INT SCSI PC カードに割り当てる割り込み番号を 16 進数で指定します。「ASPI9530.SYS」自体は割り込みを必要としませんが、一部のカードサービスではカードコンフィギュレーション処理で割り当てるための割り込み番号を指定する必要があります。（現在確認されている機種は、COMPAQ CONTURA AERO 4/33C）

設定可能な値は「0～F」ですが、他の装置やインターフェイスと競合しない値でなければなりません。

このオプションが省略された場合は、割り込みを割り当てません。

また、SystemSoft 版カードサービスが組み込まれている場合は、CSALLOC.INI ファイルの「IRQ=」項目にここで指定する値が登録されている必要があります。

/BOFF

カード認識時やカード挿抜検出時に ASPI9530.SYS 独自でビープ音を鳴らす機能を抑制します。記述を省略した場合にはビープ音が鳴ります。

カードサービス自身が鳴らすビープ音は、このオプションで抑制することはできません。

ASPDBK30.SYS, ASP36530.SYS 固有のオプション

/MEM

カード属性情報読みだしに使用するメモリ・ウィンドウの開始セグメント・アドレスを指定します。ここで指定した値が EMS のページフレームや UMB 領域と重ならないように「EMM386.EXE」の「X」オプションで除外しておく必要があります。（記述例）

```
DEVICE=C:¥DOS¥EMM386.EXE 512 FRAME=D000 X=C800-CFFF
```

さらに、Windows3.1 上で使用する場合は SYSTEM.INI の [386Enh] セクションに EMMExclude 項目も追加する必要があります。（記述例）

```
EMMExclude=C800-CFFF
```

「/MEM=」の記述を省略した場合は、メモリ・ウィンドウの開始セグメント・アドレスが「CE00」となり、「CE00～CFFF」までの 8 K バイトを使用します。

ASP36530.SYS 固有のオプション

/PCICADR=<PCIC のアドレス>

ASP36530.SYS は、パソコン本体の PCIC (PC カードコントローラ) の I/O アドレスを 3E0h / 3E2h / 3E4h / 3E8h / 3000h / F8Ech / FCF0h / FCFCh / FFF4h / FFF8h から自動的に検出しますが、それ以外のアドレスの場合に「/PCICADR=」に続けて 16 進数で指定します。

全ドライバ共通のエラーメッセージ

本カードではそのベースアドレスは使用できません
ドライバをアンロードしました

- 意味 ・ REX-9530 が使用できないアドレスが指定された。
- 原因 ・ 「/PORT=」オプションを省略している場合、省略時の値から 16 バイトが他のデバイスと競合している。
- 対処 ・ 「/PORT=」オプションで、SCSI PC カードが使用する I/O アドレスを 300 以外に指定します。
- 原因 ・ 「/PORT=」オプションで指定した I/O アドレスが他のデバイスと競合している。
- 対処 ・ 「/PORT=」オプションで指定した I/O アドレスを他の値にします。
(CSALLOC.INI ファイルがある場合、「IOP=」オプションのリストに含まれている範囲で変更する必要があります)

ASPI9530.SYS, ASP9530N.SYS, ASP9530E.SYS 共通の表示メッセージ

カードサービスプログラムが常駐していません。
ドライバをアンロードしました

- 意味 ・ カードサービスが起動していないため、ASPI マネジャが起動できなかった。
- 原因 ・ 「CONFIG.SYS」ファイルにカードサービスが登録されていない。
- 対処 ・ パソコン本体添付のマニュアルにしたがってカードサービスを登録します。
- 原因 ・ CONFIG.SYS ファイルへの ASPI マネジャを登録する位置が不正。
- 対処 ・ ASPI マネジャがカードサービスの登録より後ろの行に登録されているか確認します。
- 原因 ・ 「カードサービス」が使用するメモリが EMS の領域や ROM と競合している。
- 対処 ・ 「EMM386.EXE」の「X」や「/E」オプションの指定を変更してみます。
(CSALLOC.INI ファイルがある場合、「MEM=」オプションのエリアも上に合わせて変更する必要があります)

SystemSoft 版カードサービスの「CSALLOC.EXE」が組み込まれている場合

- 原因 ・ CSALLOC.INI ファイルの「MEM=」項目が不正。
- 対処 ・ CSALLOC.INI の「MEM=」項目のリストに「EMM386.EXE」の「X」や「/E」オプションのエリアを含めます。

カードコンフィギュレーションに失敗しました。

意味 ・ SCSI PC カードのコンフィギュレーションを要求したがカードサービスがエラーを返した。

使用機種がコンパック CONTURA AERO 4/33C 等の割り込み指定が必要なカードサービスで発生します。

原因 ・ ASPI マネジャが割り当てる割り込み番号を指定していない。

対処 ・ 「/INT=」オプションを指定します。

(詳しくは、「ASPI9530.SYS 固有のオプション」を参照してください。)

I/O ウィンドウが取得できません。

意味 ・ SCSI PC カード用に取得しようとした I/O アドレスが割り当て不可になっている。

原因 ・ 指定した I/O アドレスがすでに他のデバイスに割り当たっている。

対処 ・ 「/PORT=」オプションに別の I/O アドレスを指定します。

SystemSoft 版カードサービスの「CSALLOC.EXE」が組み込まれている場合

原因 ・ CSALLOC.INI ファイルの「IOP=」項目のリスト外の値を指定している。

対処 ・ 「/PORT=」オプションに別の「IOP=」項目のリストに含まれる値を指定します。

IBM 版カードサービスの「AUTODRV.SYS」が組み込まれている場合

原因 ・ SCSI PC カードが「AUTODRV.SYS」によって勝手にコンフィギュレーションされている。

対処 ・ 「ASPI9530.SYS」を「AUTODRV.SYS」より前に登録します。

```
DEVICE = C:¥SCSI¥ASPI9530.SYS /PORT=280
DEVICE = C:¥EZGOING¥AUTODRV.SYS C:¥EZGOING¥AUTODRV.INI
```

・ 「AUTODRV.INI」ファイルの [SCSI] セクションに「Option=Ignore」の記述を追加します。

```
[SCSI]
CardID=SCSI
Option=Ignore
```

この記述を追加する

ASPDBK30.SYS 固有の表示メッセージ

ソケットサービスプログラムが常駐していません。
ドライバをアンロードしました

- 意味 ・ソケットサービス「CardTalk」が正しく起動していないため、ASPDBK30.SYS が起動できなかった。
- 原因 ・CONFIG.SYS ファイルにソケットサービス「CardTalk」が登録されていない。
- 対処 ・パソコン本体添付のマニュアルにしたがってソケットサービス「CardTalk」を登録します。
- 原因 ・CONFIG.SYS ファイルへの ASPDBK30.SYS を登録する位置が不正。
- 対処 ・ASPDBK30.SYS が CARDTALK.SYS の登録より後ろの行に登録されているか確認します。
- 原因 ・「/MEM=」オプションを省略している場合、メモリ・ウィンドウ・セグメント「CE00h~CFFFh」が EMS の領域や ROM と競合している。
- 対処 ・「/MEM=」オプションに、EMM386.EXE の「X」オプションのエリアを指定します。
- 原因 ・ASPDBK30.SYS の「/MEM=」で指定したメモリ・セグメントが不正。
- 対処 ・「/MEM=」オプションを EMM386.EXE の「X」オプションのエリアと一致させます。
- 原因 ・ASPDBK30.SYS の「/MEM=」で指定したメモリが EMS の領域や ROM と競合している。
- 対処 ・EMM386.EXE の「X」オプションと「/MEM=」の指定を変更してみます。

ASP36530.SYS 固有の表示メッセージ

カード属性情報（タプル）の読みだしができません。
ドライバをアンロードしました

ICカードが違います。

- 意味 ・メモリ・ウィンドウを通じてカード属性情報が読みだせなかった。
- 原因 ・ASP36530.SYS の「/MEM=」オプションを省略している場合、メモリ・ウィンドウ・セグメント「CE00h~CFFFh」が EMS の領域や ROM と競合している。
- 対処 ・「/MEM=」オプションに、EMM386.EXE の「X」オプションのエリアを指定します。
- 原因 ・ASP36530.SYS の「/MEM=」で指定したメモリ・セグメントが不正。
- 対処 ・「/MEM=」オプションを EMM386.EXE の「X」オプションのエリアと一致させます。
- 原因 ・ASP36530.SYS の「/MEM=」で指定したメモリが EMS の領域や ROM と競合している。
- 対処 ・EMM386.EXE の「X」オプションと ASP36530.SYS の「/MEM=」の指定を変更してみます。

REXCD.SYS - CD-ROM ドライバ

ASPI マネージャ対応のDOS上で動作するCD-ROMデバイスドライバです。

REXCD.SYS の書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>*REXCD.SYS [/D:<デバイス名>] [/U:1]  
[ /ScanID:id+id+.... ] [ /NoScanID:id+id+.... ] [ /N:1 ] [ /E ]
```

オプション

/D:<デバイス名>

この CD-ROM デバイスに付けるデバイス名を指定します。このデバイス名が「MSCDEX.EXE」の「/D:」オプションに指定するデバイス名になります。また、省略した場合のデバイス名は「PCMCIA CD」になります。

/U:1

接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合の指定です。

CD-ROM ドライブが 1 台だけ接続されていることを前提として動作する CD-ROM ソフト用のオプションです。接続する CD-ROM ドライブが 1 台だけの場合は、必ずこのオプションを指定してください。

このオプションを省略した場合、SCSI-ID 番号「0」から「6」を順に検索して接続されている CD-ROM ドライブをすべて登録します。

/ScanID:id+id+....

REXCD.SYSが対象とするCD-ROMドライブのSCSI-ID番号を指定します。

REXCD.SYSは通常SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているCD-ROMドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定のSCSI-IDのみ検索させることが可能となり、ドライバの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0と1のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6のSCSI機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXCD.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6 の SCSI 機器については検索しません。

/N:1

接続する CD-ROM ドライブに対してロジカルユニットの検索を行いません。

「REXCD.SYS」は起動時に、ロジカルユニット番号「0」から「7」を順に検索して接続されている CD-ROM ドライブの論理ドライブ数を調べます。ところが、旧型の CD-ROM ドライブでロジカルユニット番号「0」以外でアクセスするとドライブ側が異常になる場合があります。このような場合には、必ずこのオプションを指定してください。

また、6 連奏 CD 等ロジカルユニットの指定が必要なドライブの場合にはこのオプションは指定しないでください。

/E

ドライバの表示メッセージを英語にします。
英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。

REXCD.SYS の表示メッセージ

A S P I マネジャ対応 C D - R O M デバイスドライバ
R E X - C D Ver x.xx yymmdd
RATOC System,inc. 1994. Osaka Japan.

ASPI CD-ROM Device Driver
REXCD.SYS Ver x.xx (yymmdd)

意味 ・ ドライバ起動メッセージ。

CD-ROM SCSI_ID : 6:NEC PC-CD170
デバイス名 : PCMCIA CD

CD-ROM SCSI_ID : 6:NEC PC-CD170
Device name : PCMCIA CD

意味 ・ SCSI-IDが「6」の「NEC PC-CD170」を認識した。
・ CD-ROM デバイス名に「PCMCIA CD」を割り当てた。
・ ドライバが正常に常駐した。

C D - R O M ドライブを見つけることができませんでした。

CD-ROM Drive Not Found.
Driver Unloaded.

意味 ・ SCSI バス上に接続されている CD-ROM ドライブを認識できなかった。
原因 ・ CD-ROM ドライブの電源が入っていない。
・ SCSI ケーブルが正しく接続されていない。
・ SCSI ターミネータが装着されていない。
・ CD-ROM ドライブからタームパワーが供給されていない。
対処 ・ CD-ROM ドライブの設定を確認します。
・ SCSI ケーブルの接続を確認します。

A S P I マネジャが登録されていません。

ASPI Manager Not Installed.
Driver Unloaded.

意味 ・ ASPI9530.SYS, ASPDBK30.SYS, ASP36530.SYS などの ASPI マネジャが正常に起動していない。
原因 ・ 「CONFIG.SYS」ファイルへの「REXCD.SYS」を登録する位置が不正。
対処 ・ ASPI マネジャより後ろの行に登録します。
原因 ・ ASPI マネジャが起動に失敗している。
対処 ・ ASPI マネジャの設定や SCSI 機器の設定を確認します。

第 13 章 DOS/Windows3.1 用 SCSI 関連ドライバについて

REXDISK.SYS - ハードディスク/MO ディスクドライバ

ASPI マネージャ対応のDOS上で動作するハードディスク / 光磁気ディスク用デバイスドライバです。

サポートしているメディアについて

本ドライバがサポートしているメディアは以下のとおりです。

メディア	対応フォーマットおよび制限
ハードディスク	<ul style="list-style-type: none">・ FDISK形式ハードディスクフォーマット 最大ディスク容量7.8Gバイトまで・ NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット(注1) 最大ディスク容量2Gバイトまで・ 物理セクタサイズ512バイトのみに対応
3.5インチ光磁気ディスク	<p>128MB/230MB/540MB/640MB (倍密) 容量</p> <ul style="list-style-type: none">・ FDフォーマット(スーパーフロッピーフォーマット)・ FDISK形式ハードディスクフォーマット・ NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット(注1)・ 物理セクタサイズ512バイトと2048バイトに対応
5インチ光磁気ディスク	<ul style="list-style-type: none">・ FDISK形式ハードディスクフォーマット・ FDフォーマット(スーパーフロッピーフォーマット) <p>以下のフォーマットはサポートしていません</p> <ul style="list-style-type: none">・ NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット
リムーバブルHD	<ul style="list-style-type: none">・ FDISK形式ハードディスクフォーマット・ NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット・ FDフォーマット(スーパーフロッピーフォーマット)

(注1) NEC FORMAT.EXE 形式ハードディスクフォーマット

このフォーマットは、NEC 製 SCSI インターフェイスカードに接続して NEC 版 MS-DOS の FORMAT.EXE で初期化したディスクのフォーマットを意味します。

FORMAT.EXE で初期化したディスクでも他の SCSI インターフェイスカードを使用した場合にはフォーマットの互換性がない場合もありますので注意が必要です。

REXDISK.SYS の書式とオプション

書式

```
DEVICE=<ディレクトリパス>%REXDISK.SYS [/Rn1+n2+n3+....] [/LOCK |  
/UNLOCK]  
[/A] [/DUMMY] [/REMOVABLE] [/ScanID:id+id+....]  
[/NoScanID:id+id+....] [/Hxx[:id+....]] [/NoStart]  
[/I] [/E]
```

オプション

/Rn1+n2+n3+....

光磁気ディスク (MO) 等の取り外し可能なメディア用の予約パーティション数を指定します。SCSI-ID 番号の若い順に指定します。

また、「0」を指定した場合は、ドライバ起動時の状態によって割り当てるパーティション数が決定します。

メディアが挿入されている	メディアに存在する全パーティション数
メディアが挿入されていない	1パーティションのみ

この記述を省略すると「0」を指定した場合と同じ意味になります。

/LOCK

/UNLOCK

光磁気ディスク (MO) 等の取り外し可能なメディア用のドアのロック / アンロックを指定します。

/LOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押してもメディアは排出されません。
/UNLOCK	ドライブのイジェクト・スイッチを押すとメディアは排出されます。

この記述を省略すると「/UNLOCK」を指定した場合と同じ意味になります。

/A

メディアのフォーマットが「NEC ハードディスク・フォーマット」と同等の場合に、「スリープ属性」のパーティションもドライブとして認識させる指定です。

/DUMMY

PC-DOS J6.1/V のディスク圧縮機能による不具合を回避するための指定です。

これにより、実際に割り当たるより 1 論理ドライブ余分に論理ドライブを確保します。ただし、余分に割り当たったドライブにはアクセスできません。

たとえば、REX-9530 に接続された機器で 4 ドライブ有効な場合、「/DUMMY」を指定すると下のようになります。

A	フロッピー (1.44MB モード)	
B	フロッピー (1.44MB モード)	
C	内蔵ハードディスク	
D	フロッピー (1.2MB モード)	
E	フロッピー (1.2MB モード)	
F	REX-9530接続のハードディスク (区画 1)	
G	REX-9530接続のハードディスク (区画 2)	
H	REX-9530接続のハードディスク (区画 3)	
I	REX-9530接続のハードディスク (区画 4)	
J	ディスク圧縮機能との不具合回避用	x
K 以降	ディスク圧縮ドライブ	

/REMOVABLE

光磁気ディスク (MO) が Windows3.1 のファイルマネージャ等におけるドライブのアイコン表示でフロッピーディスクと同様の取り外し可能なメディアのアイコンで表示されるようにします。

光磁気ディスク (MO) を「フロッピーディスクのフォーマット」で初期化することはできません。

第 13 章 DOS/Windows3.1 用 SCSI 関連ドライバについて

/ScanID:id+id+....

REXDISK.SYS が対象とするハードディスク / 光磁気ディスクドライブの SCSI-ID 番号を指定します。

REXDISK.SYS は通常 SCSI-ID 0~6 を順番スキャンして接続されているハードディスク / 光磁気ディスクドライブを検索します。

しかし、このオプションを指定することにより特定の SCSI-ID のみ検索させることが可能となり、ドライバの起動時間を短縮できます。

たとえば、SCSI-ID 0 と 1 のみを対象とする場合、「/ScanID:0+1」と記述すれば、2~6 の SCSI 機器については検索しません。

/NoScanID:id+id+....

先の「/ScanID」オプションと反対に REXDISK.SYS の対象外とする SCSI-ID 番号を指定します。

たとえば、SCSI-ID 5 と 6 のみを対象外とする場合、「/NoScanID:5+6」と記述すれば、5~6 の SCSI 機器については検索しません。

/Hxx[:id+id+....]

このオプションは NEC PC-9801 シリーズ用の各種 SCSI インターフェイスカードを使用して初期化されたディスクを再フォーマットせずに認識させようとした場合に、REXDISK が認識しないときに指定します。

「/H」に続けてフォーマット形式と対象とするドライブの SCSI ID を指定します。

「xx」のフォーマット形式は以下のいずれかを指定します。

指定値	対象フォーマット
92	NEC製SCSIインターフェイスカード(PC-9801-92)によるもの
55	NEC製SCSIインターフェイスカード(PC-9801-55)によるもの
S2	サードパーティ製 (ICM等)SCSIインターフェイスカード
MELCO	サードパーティ製 (MELCO等)SCSIインターフェイスカード
FMO	REXFMT v1.xx でNEC HD形式にフォーマットしたMO

ドライブの SCSI ID を省略した場合は、すべてのドライブが対象になります。

ただし、NEC HD 形式以外でフォーマットされているディスクは対象外になります。

/I

NEC PC-9800 シリーズで 640MB を使用する場合に指定します。

/NoStart

接続した SCSI 機器に対して Start Unit の SCSI コマンドを発行しない場合に指定します。

/E

ドライバの表示メッセージを英語にします。

英語 DOS 環境で使用する場合に指定します。

PC-DOS J6.1/V での制限について

REXDISK.SYSはIBMのPC-DOS J6.1/V で使用した場合に、以下の不具合が発生することがわかっています。

PC-DOS J6.1/V でディスクの圧縮機能が組み込まれており、「REXDISK.SYS」に3個以上の論理ドライブが割り当てられた場合、最終ドライブにアクセスできなくなる。

これを回避するには、「REXDISK.SYS」に「/DUMMY」オプションを指定して余分に1ドライブ確保するか、ディスク圧縮機能を完全に取り除くためPC-DOS J6.1/V の再インストールを行う必要があります。

また、ディスク圧縮機能を取り除く作業は「FDISK」によるハードディスクの再区画設定も伴います。一旦、起動ドライブのデータが完全に消去されるため、ファイルのバックアップ等を行ってから作業を行ってください。

PC-DOS J6.1/V 以外のディスク圧縮機能（PC-DOS J6.3/V 等）の場合には、このような不具合は発生しません。

REXDISK.SYS の表示メッセージ

```
A S P I マネージャ対応   ハードディスク・MO デバイス ドライバ
      R E X D I S K   Ver x.xx (yyymmdd)
Copyright(C) RATOC system, inc. 1994. Osaka, Japan.
```

```
ASPI Disk Device Driver
REXDISK.SYS Ver x.xx (yyymmdd)
(c) Copyright 1994 RATOC system, inc. Osaka, Japan
```

意味 ・ ドライバ起動メッセージ。

SCSI ID	デバイスタイプ	割り当てドライブ
#0	Hard Disk	F: G:
#4	Removable Media(MO)	H:

SCSI ID	Device Type	Drive
#0	Hard Disk	F: G:
#4	Removable Media(MO)	H:

- 意味 ・ SCSI-ID が「0」のハードディスクを認識してドライブ「F:」と「G:」に割り当てた。
- ・ SCSI-ID が「4」の光磁気ディスクを認識してドライブ「H:」に割り当てた。
 - ・ ドライバが正常に常駐した。

ハードディスク・MOドライブを見つける事ができませんでした。
ドライバは登録されません。

Hard Disk / MO Drive Not Found.
Driver Unloaded.

意味 ・ SCSI バス上に接続されているハードディスクドライブまたは光磁気ディスクドライブを認識できなかった。

原因 ・ ドライブの電源が入っていない。
・ SCSI ケーブルが正しく接続されていない。
・ SCSI ターミネータが装着されていない。
・ ドライブからタームパワーが供給されていない。
・ ディスクが「REXDISK.SYS」の認識できるフォーマットでない。

対処 ・ ドライブの設定を確認します。
・ SCSI ケーブルの接続を確認します。
・ 「REXFMT.EXE」を実行してディスクをフォーマットしてみます。

(注意) REXFMTでフォーマットするとディスクのデータはすべて消えます。

ASPI マネジャが登録されていません。

ASPI Manager Not Installed.
Driver Unloaded.

意味 ・ ASPI9530.SYS, ASPDBK30.SYS, ASP36530.SYS などの ASPI マネジャが正常に起動していない。

原因 ・ 「CONFIG.SYS」ファイルへの「REXDISK.SYS」を登録する位置が不正。

対処 ・ ASPI マネジャより後ろの行に登録します。

原因 ・ ASPI マネジャが起動に失敗している。

対処 ・ ASPI マネジャの設定や SCSI 機器の設定を確認します。

MSCDEX.EXE - CD-ROM エクステンション

CD-ROMドライブをMS-DOSから使用可能なドライブにするためのコマンドです。

ご注意

このプログラム自体は、本製品には含まれておりません
MSCDEXはマイクロソフト社の製品で以下のものを別途ご用意ください。

- ・ MS-DOS 6.2/V, PC-DOS 6.3/V, PC-DOS 7.0/Vに添付のもの
- ・ NEC版MS-DOS 6.2またはNEC版Windows3.1に添付のもの
- ・ EPSON版MS-DOS 6.3に添付のもの
- ・ CD-ROMドライブに添付のもの

MSCDEX.EXE の書式とオプション

書式

```
MSCDEX /D:<デバイス名> [/L:<ドライブ名>] [/M:<メモリサイズ>]
```

オプション

/D:<デバイス名>	CD-ROMデバイスドライバ名につけられたデバイス名を指定します。REXCD.SYS ではデフォルトのデバイス名は「PCMCIACD」です。
/L:<ドライブ名>	CD-ROMドライブに割り当てるMS-DOSのドライブ名を指定します。システムで予約されているドライブ名以降で「LASTDRIVE」で指定したドライブ名までの間で指定可能です。
/M:<メモリサイズ>	CD-ROMアクセス用のディスクバッファのサイズをキロバイト単位で指定します。

MSCDEX.EXE の表示メッセージ

```
MSCDEX Version 2.23  
Copyright(C) Microsoft Corp. 1986,1987,1988,1990 All right reserved.  
Drive L: = Driver PCMCIACD unit 0
```

意味 ・ ドライバが正常に常駐した

```
Device driver not found:'PCMCIACD'  
No valid CDROM device drivers selected
```

意味 ・ CD-ROM デバイス「PCMCIACD」が常駐していない。

原因 ・ 「REXCD.SYS」が起動していないか、エラーでアンロードされている。

対処 ・ 「REXCD.SYS」が正常に起動するよう CONFIG.SYS ファイルを修正します。

原因 ・ 「REXCD.SYS」の「/D:」オプションに指定したデバイス名が、「MSCDEX」の「/D:」オプションに指定したデバイス名と一致していない。

対処 ・ CONFIG.SYS ファイルの「DEVICE=REXCD.SYS」行「/D:」オプションに指定したデバイス名を確認して、AUTOEXEC.BAT ファイルの「MSCDEX」行「/D:」オプションのデバイス名をそれに一致させます。

Not enough drive letters available

- 意味 ・ CD-ROM ドライブに割り当てる MS-DOS のドライブ名が無効。
- 原因 ・ 「MSCDEX」コマンドの「/L:」オプションに指定したドライブ名が、すでに他のデバイスに割り当たっている。
- 対処 ・ 「/L:」オプションに指定したドライブがネットワークドライブ等に割り当たっていないか確認します。
- 原因 ・ 「CONFIG.SYS」ファイルの「LASTDRIVE=」に指定した値以降のドライブ名を「/L:」オプションのドライブ名に指定している
- 対処 ・ 「LASTDRIVE=」の値または「/L:」オプションの値を変更します。

WINASPI.DLL, VASPIREX.386

WINASPI.DLL は、Windows3.1 上から ASPI マネージャを呼び出すためのダイナミック・リンク・ライブラリ (DLL) です。

VASPIREX.386 は、WINASPI.DLL がプロテクトメモリにアクセスするための Windows3.1 用の仮想デバイスドライバです。

WINASPI.DLL , VASPIREX.386 の 2 つのドライバが組み込まれることにより Windows3.1 上からの ASPI インターフェイスを提供します。

この機能は、CDROM デバイスドライバや HD/MO 用ディスクドライバを介さないで SCSI 機器を直接制御するソフトが使用します。

たとえば、SCSI インターフェイスを持つイメージスキャナ向けのユーティリティがあります。

WINASPI.DLL, VASPIREX.386 のインストール手順

1. 「Windows3.1 上のインストール」で説明されている手順にしたがって PC カードおよびドライバのインストールを行います。

画面左の [WinASPI の組み込み] 項目をチェックします。

スキャナのみを接続する場合、[使用する SCSI 機器] の [CD-ROM ドライブ] [ハードディスク、MO] のチェックは両方ともクリアします。

Windows3.1 の SYSTEM.INI ファイルの [386Enh] セクション内に vaspirex.386 を登録します。

```
device=vaspirex.386
```

EPSON PC シリーズ (98 互換機) の場合、Windows3.1 の SYSTEM.INI ファイルの [System] セクション内に 「ReflectTimer=1」を設定します。

([System] セクションそのものがない場合は追加します)

```
[System]
ReflectTimer=1
```

2. パソコン本体を再起動して、ASPI マネージャが正しく登録されるか確認します。
3. Windows3.1 を起動して、WINASPI を使用するソフトを動かします。

WINASPI.DLL の制限

WINASPI.DLL は DOS 用 ASPI マネージャおよび仮想デバイスドライバ VASPIREX.386 が正しく組み込まれていないと動作しません。

本製品に添付している WINASPI.DLL は、Windows3.1 専用となっているため Windows95 上では正常に動作しません。したがって、Windows95 には組み込まないようしてください。

表示メッセージ

DOS ASPI マネジャが登録されていません！

意味 ・ ASPI マネジャが正常に起動していない。

原因 ・ ASPI マネジャが起動に失敗している。

対処 ・ CONFIG.SYS ファイルの ASPI マネジャの設定を確認します。

VASPIREX.386 が登録されていません。

system.ini に正しく登録されているか確認してください。

意味 ・ 「VASPIREX.386」が正常に起動していない。

原因 ・ VASPIREX.386 が Windows の SYSTEM ディレクトリにコピーされていないか SYSTEM.INI に記述がない。

対処 ・ 「WINASPI.DLL, VASPIREX.386 のインストール手順」にしたがってインストールする。

14. こんなときは

Windows98 の起動ディスクから OS の再インストールを行う

ここでは、Windows98 の起動ディスクを作成して SCSI PC カードを使用して CD-ROM を認識させて OS を再インストールする手順を DOS/V パソコンの例で説明します。

Windows98 起動ディスクの作成

1. フォーマット済みの新しいフロッピーディスクを 2 枚用意します。
2. コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」を開きます。
3. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面で「起動ディスク」のタグをクリックします。
4. 「ディスクの作成(C) ‹」ボタンを押します。
5. ディスク挿入の画面が表示されたら、用意したフロッピーディスクをドライブにセットして [OK] ボタンを押します。

以上で Windows98 の起動ディスク 1、起動ディスク 2 が作成されます。

起動ディスク 1 からファイルの削除と追加

PC カードから CD-ROM を認識させるためのドライバを起動ディスク 1 へ組み込む必要がありますが、このためのディスクスペースを空けるため次の 4 つのファイルを削除します。

- ・ aspi2dos.sys, aspi8dos.sys, aspi4dos.sys, aspi8u2.sys

1. [スタート] - [プログラム] - [MS-DOS プロンプト] を開き、MS-DOS プロンプトを起動します。
2. MS-DOS プロンプトが起動したら、次のコマンド(下線部)を入力してファイルを削除します。

```
C:¥WINDOVS> DEL A:¥ASPI2DOS.SYS  
C:¥WINDOVS> DEL A:¥ASPI8DOS.SYS  
C:¥WINDOVS> DEL A:¥ASPI4DOS.SYS  
C:¥WINDOVS> DEL A:¥ASPI8U2.SYS
```

3. REX-9530X に添付のディスクから一旦パソコンのハードディスクへ SCSI ドライバのファイルをコピーし、それを經由して起動ディスク 1 へ SCSI ドライバをコピーします。

- (1) 起動ディスク 1 を抜いて、REX-9530X 添付のドライバディスクに入れ替えます。
- (2) 次のコマンド(下線部)を入力してパソコンのハードディスクへファイルをコピーします。

```
C:¥WINDOVS> COPY A:¥AT¥ASP36530.SYS C:¥  
C:¥WINDOVS> COPY A:¥SCSIUT¥REXCD.SYS C:¥
```

- (3) REX-9530X 添付のドライバディスクを抜いて、起動ディスク 1 に入れ替えます。

(4) 次のコマンド(下線部)を入力してパソコンのハードディスクから起動ディスク 1 へファイルをコピーします。

```
C:¥WINDOWS> COPY C:¥ASP36530.SYS A:¥  
C:¥WINDOWS> COPY C:¥REXCD.SYS A:¥
```

CONFIG.SYS ファイルの編集

1. 作成した起動ディスク 1 の CONFIG.SYS ファイルを編集します。

ASP36530.SYS, REXCD.SYS の記述を追加します。

[CD]で始まる行から下の部分を修正します。

編集前

```
[CD]  
device=himem.sys /testmem:off  
device=oakcdrom.sys /D:miscd001  
device=btosm.sys  
device=flashpt.sys  
device=btcdrom.sys /D:miscd001  
device=aspi2dos.sys  
device=aspi8dos.sys  
device=aspi4dos.sys  
device=aspi8u2.sys  
device=aspicd.sys /D:miscd001
```

編集後(下線部が追加修正箇所)

```
[CD]  
device=himem.sys /testmem:off  
device=oakcdrom.sys /D:miscd001  
device=btosm.sys  
device=flashpt.sys  
device=btcdrom.sys /D:miscd001  
rem device=aspi2dos.sys  
rem device=aspi8dos.sys  
rem device=aspi4dos.sys  
rem device=aspi8u2.sys  
rem device=aspicd.sys /D:miscd001  
device=asp36530.sys  
device=rexcd.sys /D:miscd001
```

以上で SCSI PC カードを使用して CD-ROM を認識させるための起動フロッピーが作成できました。このディスクを使用してパソコンを起動し、「Start computer with CD-ROM support」を選択して CD-ROM が認識されたら、CD-ROM から Setup (OS の再インストール) を実行してください。

Windows95 の起動ディスクから OS の再インストールを行う

ここでは、Windows95 の起動ディスクを作成して SCSI PC カードを使用して CD-ROM を認識させて OS を再インストールする手順を DOS/V パソコンの例で説明します。

Windows95 起動ディスクの作成

1. フォーマット済みの新しいフロッピーディスクを 1 枚用意します。
2. コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」を開きます。
3. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面で「起動ディスク」のタグをクリックします。
4. 「ディスクの作成(C) ‹」ボタンを押します。
5. ディスク挿入の画面が表示されたら、用意したフロッピーディスクをドライブにセットして [OK] ボタンを押します。

以上で Windows95 の起動ディスクが作成されます。

起動ディスクからファイルの削除と追加

PC カードから CD-ROM を認識させるためのドライバを起動ディスクへ組み込む必要がありますが、このためのディスクスペースを空けるため次の 3 つのファイルを削除します。

- REGEDIT.EXE, DEBUG.EXE, UNINSTAL.EXE

その後、次の 2 つのファイルをコピーします。

- EMM386.EXE, MSCDEX.EXE

1. [スタート] - [プログラム] - [MS-DOS プロンプト] を開き、MS-DOS プロンプトを起動します。
2. MS-DOS プロンプトが起動したら、次のコマンド(下線部)を入力してファイルを削除します。

```
C:¥WINDOWS> DEL A:¥REGEDIT.EXE
C:¥WINDOWS> DEL A:¥DEBUG.EXE
C:¥WINDOWS> DEL A:¥UNINSTAL.EXE
```

3. REX-9530X に添付のディスクから一旦パソコンのハードディスクへ SCSI ドライバのファイルをコピーし、それを經由して起動ディスクへ SCSI ドライバをコピーします。

(1) 起動ディスクを抜いて、REX-9530X 添付のドライバディスクに入れ替えます。

(2) 次のコマンド(下線部)を入力してパソコンのハードディスクへファイルをコピーします。

```
C:¥WINDOWS> COPY A:¥AT¥ASP36530.SYS C:¥
C:¥WINDOWS> COPY A:¥SCSIUT¥REXCD.SYS C:¥
```

(3) REX-9530X 添付のドライバディスクを抜いて、起動ディスクに入れ替えます。

(4) 次のコマンド(下線部)を入力してパソコンのハードディスクから起動ディスクへファイルをコピーします。

```
C:¥WINDOWS> COPY C:¥ASP36530.SYS A:¥
C:¥WINDOWS> COPY C:¥REXCD.SYS A:¥
```


第 14 章 こんなときは

- Windows95 がインストールされているディレクトリから EMM386.EXE, MSCDEX.EXE の 2 つのファイルをコピーします。

次のコマンド (下線部) を入力してファイルをコピーします。

```
C:¥WINDOWS> COPY C:¥WINDOWS¥EMM386.EXE A:¥  
C:¥WINDOWS> COPY C:¥WINDOWS¥COMMAND¥MSCDEX.EXE A:¥
```

CONFIG.SYS, AUTOEXEC.BAT ファイルの編集

- 作成した起動ディスクの CONFIG.SYS ファイルを編集します。
EMM386.EXE, ASP36530.SYS, REXCD.SYS の記述を追加します。

編集前

```
DEVICE=BILLING.SYS  
DEVICE=JFONT.SYS /MSG=OFF  
DEVICE=JDISP.SYS /HS=LC  
DEVICE=JKEYB.SYS  
DEVICE=HIMEM.SYS
```

編集後 (下線部が追加修正箇所)

```
DOS=HIGH, UMS  
DEVICE=HIMEM.SYS  
DEVICE=EMM386.EXE RAM X=CC00-CCFF  
  
DEVICE=BILLING.SYS  
DEVICE=JFONT.SYS /MSG=OFF  
DEVICE=JDISP.SYS /HS=LC  
DEVICE=JKEYB.SYS  
REM DEVICE=HIMEM.SYS  
  
DEVICEHIGH=ASP36530.SYS /MEM=CC00  
DEVICEHIGH=REXCD.SYS
```

- 作成した起動ディスクには AUTOEXEC.BAT ファイルが存在しないため、新規に以下の内容で作成します。

AUTOEXEC.BAT の内容

```
LH MSCDEX /D:PCMC1ACD
```

以上で SCSI PC カードを使用して CD-ROM を認識させるための起動ディスクが作成できました。このディスクを使用してパソコンを起動して CD-ROM が認識されたら、CD-ROM から Setup (OS の再インストール) を実行してください。

DriveImage の起動ディスクで使用する

ここでは、DriveImage の起動ディスクを作成し、SCSI PC カードに接続した MO を使用する場合の手順を DOS/V パソコンの例で説明します。

DriveImage 用起動ディスクへのファイルの追加

- 最初に、DriveImage の説明書にしたがって DriveImage 用の起動ディスクを作成します。
- 次に PC カードから MO を認識させるためのドライバを起動ディスクへ組み込む必要があります。REX-9530X に添付のディスクから一旦パソコンのハードディスクへ SCSI ドライバのファイルをコピーし、それを經由して起動ディスクへ SCSI ドライバをコピーします。

(1) REX-9530X 添付のドライバディスクに入れ替えます。

(2) 次のコマンド（下線部）を入力してパソコンのハードディスクへファイルをコピーします。

```
C:¥WINDOWS> COPY A:¥AT¥ASP36530.SYS C:¥
C:¥WINDOWS> COPY A:¥SCSIUT¥REXDISK.SYS C:¥
```

(3) REX-9530X 添付のドライバディスクを抜いて、起動ディスクに入れ替えます。

(4) 次のコマンド（下線部）を入力してパソコンのハードディスクから起動ディスクへファイルをコピーします。

```
C:¥WINDOWS> COPY C:¥ASP36530.SYS A:¥
C:¥WINDOWS> COPY C:¥REXDISK.SYS A:¥
```

CONFIG.SYS ファイルの編集

- 作成した起動ディスクの CONFIG.SYS ファイルを編集します。
ASP36530.SYS, REXCD.SYS の記述を追加します。

編集前

```
LASTDRIVE=Z
REM Put Network or CD-ROM Drivers here.
```

編集後（下線部が追加修正箇所）

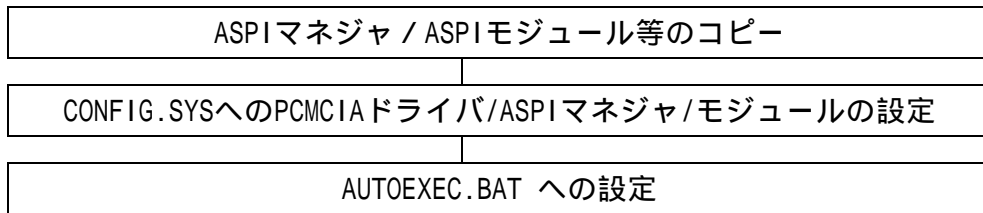
```
LASTDRIVE=Z
REM Put Network or CD-ROM Drivers here.
DEVICE=ASP36530.SYS
DEVICE=REXDISK.SYS
```

以上で SCSI PC カードを使用して MO を認識させるための起動ディスクが作成できました。このディスクを使用してパソコンを起動して MO が認識されたら、DriveImage を起動してこのドライブを指定してください。

第 14 章 こんなときは

添付のインストーラを使用しない場合(DOS/Windows3.1)

ここでは、Windows3.1上でDOS用のドライバ類をインストールする場合に、添付のインストーラを使用せずにインストールする手順について説明します。



ASPI マネジャ / ASPI モジュール等のコピー

本製品添付のフロッピーディスクから ASPI マネジャ / ASPI モジュールの各ファイルをコピーします。

- 最初に、各ファイルを格納するために「SCSI」という名前でサブディレクトリを作成します。
- 次に、本製品添付のフロッピーディスクから必要なファイルを作成したサブディレクトリ内に「copy」コマンドでコピーします。
 - ASPI マネジャは、使用するパソコンの機種に対応したディレクトリからコピーしてください。
 - REXCD、REXDISKは、「SCSIUT」ディレクトリからコピーします。

C> mkdir %scsi <Enter>	ディレクトリ「SCSI」の作成
C> copy a:%at c:%scsi <Enter>	ディレクトリ AT, 98, EPからコピー
C> copy a:%scsiut c:%scsi <Enter>	ディレクトリ SCSIUTからコピー

CONFIG.SYS への PC カードドライバ / ASPI マネジャ / ASPI モジュールの設定

各ドライバの設定は、以下に示す順番で CONFIG.SYS ファイルに登録されている必要があります。

EMM386.EXE等の拡張メモリーマネジャ
カードサービス / CardTalk等のPCカードドライバ
ASPI9530.SYS / ASPDBK30.SYS / ASP36530.SYS等のASPI マネジャ
REXCD.SYS / REXDISK.SYS等のASPIモジュール
LASTDRIVEの指定 その他

1. EMM386.EXE 等の拡張メモリーマネジャ

EMM386.EXE 等の拡張メモリーマネジャがカード属性読みだし用のメモリ・ウィンドウを使用しないように設定する必要があります。

たとえば、DOS/V パソコンで「EMM386.EXE」が組み込まれている場合「X」オプションで以下のとおりに設定しておくことで「CF000h~CFFFFh」の 4K バイトがメモリ・ウィンドウとして確保されます。

DEVICE = C:%DOS%EMM386.EXE 512 FRAME=D000 X=CF00-CFFF

PC-9800 シリーズの場合は、通常「/E」オプションで「DC000h～DFFFFh」をメモリ・ウィンドウとして確保します。

```
DEVICE = A:¥DOS¥EMM386.EXE /E=DC00-DFFF
```

また、PC カードスロットが 2 スロットで「ASPDBK30.SYS」、「ASP36530.SYS」を使用する場合、メモリウィンドウを 8K バイト以上確保してください。

```
DEVICE = C:¥DOS¥EMM386.EXE 512 FRAME=D000 X=CE00-CFFF
```

2. EMM386.EXE 等の拡張メモリーマネージャ

EMM386.EXE 等の拡張メモリーマネージャがカード属性読みだし用のメモリ・ウィンドウを使用しないように設定する必要があります。

たとえば、DOS/V パソコンで「EMM386.EXE」が組み込まれている場合「X」オプションで以下のとおりに設定しておくことで「CF000h～CFFFFh」の 4K バイトがメモリ・ウィンドウとして確保されます。

```
DEVICE = C:¥DOS¥EMM386.EXE 512 FRAME=D000 X=CF00-CFFF
```

PC-9800 シリーズの場合は、通常「/E」オプションで「DC000h～DFFFFh」をメモリ・ウィンドウとして確保します。

```
DEVICE = A:¥DOS¥EMM386.EXE /E=DC00-DFFF
```

また、PC カードスロットが 2 スロットで「ASPDBK30.SYS」、「ASP36530.SYS」を使用する場合、メモリウィンドウを 8K バイト以上確保してください。

```
DEVICE = C:¥DOS¥EMM386.EXE 512 FRAME=D000 X=CE00-CFFF
```

3. カードサービス/CardTalk 等の PC カードドライバ

REX-9530 に添付する ASPI マネージャは「カードサービス」等の PC カードドライバが提供される場合は、そのドライバを経由して REX-9530 を制御しています。したがって MS-DOS のシステムには、PC カードドライバが組み込まれている必要があります。

4. ASPI マネージャ

ASPI マネージャは PC カードドライバの種類や有無に対応したものを組み込む必要があります。

5. ASPI モジュール

ASPI マネージャ上で動作する ASPI モジュールは、SCSI PC カードに接続する SCSI 機器に対応したものを組み込む必要があります。

6. LASTDRIVE

「LASTDRIVE」コマンドによって CD-ROM が割り当て可能となる最終ドライブを設定する必要があります。

AUTOEXEC.BAT への設定

CD-ROM ドライブを使用する場合は、「AUTOEXEC.BAT」ファイルに「MSCDEX」を起動する行を追加します。

「AUTOEXEC.BAT」の記述追加例

```
C:¥DOS¥MSCDEX /D:PCMCIA CD /L:M
```

この例では、以下の設定となります。

- ・ ディレクトリ「C:¥DOS」の「MSCDEX」を実行します。
- ・ CD-ROM デバイス名「PCMCIA CD」を「/D:」オプションに指定して、「MSCDEX」が制御するようにします。
- ・ 「/L:」オプションに「M」を指定して、CD-ROM ドライブを MS-DOS のドライブ「M」に割り当てます。

SYSTEM.INI の設定について

先に「EMM386.EXE」の「X」オプションで指定した値を同じ範囲を、Windows 3.1の「SYSTEM.INI」ファイルの「386Enh」セクション内に「EMMExclude」項目で指定します。

SYSTEM.INI ファイル

```
.....  
[386Enh]  
.....  
EMMExclude = CE00 - CFFF
```

この範囲は使用する環境によって異なります。

Windows95 上でドライバを削除する場合

一度登録したドライバを削除する場合は以下の手順で行います。

1. Windows95 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、 [デバイスマネージャ] を選択します。
2. デバイスツリー表示から項目を削除します。
「SCSI コントローラ」項目の左のプラス記号(+)をクリックして、 [SCSI PC Card REX 9530]項目を選択して [削除] ボタンをクリックします。

Windows95 上でドライバを再インストールする場合

通常ドライバの再インストールを行う場合、以下の手順で行います。

1. 先に説明した「ドライバの削除」で一度ドライバを削除します。
2. 次に、タスクバーの PC カードアイコンをクリックして [SCSI PC Card REX 9530 の中止] を選択します。安全に取り外せる状態になったら SCSI PC カードを一度抜いて再挿入します。
3. 最後に、第 3 章、第 4 章で説明した「ドライバのインストール」にしたがってドライバを登録します。

まれに、インストール途中で失敗したりハングした場合にドライバが正常に登録されない場合があります。このような場合は次に説明するような手順でドライバの再インストールを行ってください。

デバイスツリーからの削除

1. コントロールパネルを開きます。
[スタート] - [設定(S)] - [コントロールパネル(C)] メニューで開きます。
2. コントロールパネルの中の [システム] を起動します。
[システム] アイコンをダブルクリックします。
3. デバイスマネージャを開きます。
[デバイスマネージャ] タグをクリックするとデバイスツリー表示に切り替わります。
4. SCSI PC カードを削除します。
[SCSI コントローラ] の [+] をクリックして [SCSI PC Card REX9530...] がある場合、それを選択して [削除] ボタンをクリックします。
もし、ない場合 [その他のデバイス] の [+] をクリックしてその中に登録されていないか確認します。
5. SCSI PC カードを PC カードスロットから抜きます。

ドライバファイルと INF ファイルの削除

1. [マイコンピュータ]を開き、[表示(V)] - [オプション(O)]にて[すべてのファイルを表示(S)]をチェックします。
2. [スタート]ボタンから[検索] - [ファイルやフォルダ]を選択します。
3. [名前(N):]に「REX9530.MPD」と入力します。
4. [探す場所(L):]に Windows95 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
5. [検索開始(I)]をクリックします。
6. [REX9530.MPD]が表示されたら、それを選択して削除キー(DEL)を押して削除します。
7. [名前(N):]に INF ファイルの名前を入力します。
Windows95B(OSR2)の場合、「9530*.INF」と入力します。
それ以前の Windows95 の場合、「OEM*.INF」と入力します。
8. [探す場所(L):]に Windows95 がインストールされているディレクトリ名を入力します。
9. [検索開始(I)]をクリックします。
10. [OEMxx.INF]が表示されたら、ファイルを開いて 3 行目 ~ 7 行目に以下の記述があるか確認します。
[; REX9530.INF]
上記記述がある場合に限り、そのファイルを選択して削除キー(DEL)を押して削除します。上記記述があるファイルが複数の場合、すべてなくなるまで削除します。

レジストリの削除

1. [スタート]ボタンから[ファイル名を指定して実行]を選択します。
2. [名前(O):]に「REGEDIT」と入力して[OK]ボタンをクリックします。
3. [HKEY_LOCAL_MACHINE] - [Enum] - [PCMCIA]と順番に開きます。そして、最初の文字列が [RATOC_System_Inc,-SCSI2_CARD_37....]と一致する行が登録されているか確認します。
この記述がある場合に限り、その行を選択して削除キー(DEL)を押して削除します。
この記述が複数の場合、すべてなくなるまで削除します。
4. すべてなくなったら、レジストリエディタを終了します。

これで完全にドライバは削除されました。
再起動後、ドライバを再インストールを行います。

HD/MO のドライブアイコンが表示されない場合 (Windows95/98)

ここでは、マイコンピュータに HD/MO のドライブアイコンが表示されない場合の対処方法について説明します。

多くの原因は、未フォーマットのドライブを接続している場合や DOS/Windows3.1 で認識可能なディスクのフォーマットが Windows95/98 で認識できないフォーマットになっている場合です。

これらの場合、ディスクの再フォーマットによって認識可能になります。

ただし、DOS/Windows3.1 で使用していたディスクを再フォーマットする場合は、中身のデータが失われますので必ず別のパソコンでバックアップを取った後に行ってください。

ドライブの確認

最初にドライブそのものが SCSI カードで認識できているか確認します。

1. WinSSC の起動

[スタート] ボタンから [プログラム] → [REX SCSI ユーティリティ] → [SCSI 機器接続確認] を選択します。

2. SCSI 機器の確認

WinSSC が起動すると右の画面が表示されます。接続されている SCSI 機器の情報が正しく表示されているか確認します。

正しい場合は、次のハードディスクまたは MO のフォーマットに進みます。



ハードディスクのフォーマットの場合

PC/AT 用 Windows95/98 では、ハードディスクのフォーマット形式が IBM 形式 (FDISK 形式) のみの対応となります。また、PC-9800 用および EPSON PC (98 互換機) 用の Windows95 では IBM 形式と NEC HD 形式の 92 フォーマットが認識可能です。

このため、それ以外のフォーマットで使用していた場合や未フォーマットの場合は、RexFmt95 を使用してディスクを再フォーマットしてください。

1. RexFmt95 の起動

[スタート] ボタンから [プログラム] → [REX SCSI ユーティリティ] → [フォーマットユーティリティ] を選択します。

2. ディスクのフォーマット

RexFmt95 のメインウィンドウから [処理] - [メディア初期化] を選択します。フォーマット形式に「IBM FDISK 形式」を選択して [OK] ボタンを押します。通常「物理フォーマット」のチェックはする必要はありません。

3. パーティションの作成

RexFmt95 のメインウィンドウから [区画名] の欄が [空き] になっている行を選択します。

[処理] - [パーティション作成] を選択します。

確保容量を入力して [OK] ボタンを押します。

光磁気ディスク (M0) のフォーマットの場合

Windows95/98 では、M0 のフォーマット形式がスーパーフロッピーフォーマットのみの対応となるため、それ以外のフォーマットで使用していた場合や未フォーマットの場合は、RexFmt95 を使用して M0 を再フォーマットしてください。

1. RexFmt95 の起動

[スタート] ボタンから [プログラム] → [REX SCSI ユーティリティ] → [フォーマットユーティリティ] を選択します。

2. ディスクのフォーマット

RexFmt95 のメインウィンドウから [処理] - [メディア初期化] を選択します。フォーマット形式に「スーパーフロッピー (FD) 形式」を選択して [OK] ボタンを押します。

通常「物理フォーマット」のチェックはする必要はありません。

インターネットからドライバをダウンロードする場合

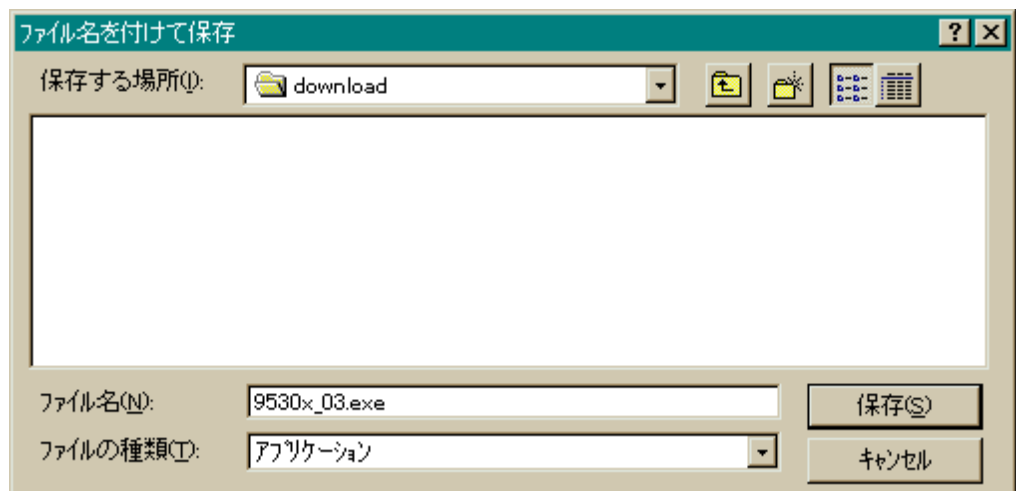
ここでは、インターネットからバージョンアップされたドライバをダウンロードしてドライバディスクを作成する手順について説明します。

(ブラウザとして Microsoft Internet Explorer4.0 を使用した場合を例にしています。)

1. ラトックシステムのホームページからドライバをダウンロードする。
 - (1) ラトックシステムのホームページ (www.rexpccard.co.jp) へアクセスします。
 - (2) ドライバダウンロードのページから「REX-9530 シリーズ用ドライバアップデート」を選択します。
 - (3) ドライバをディスクに保存するよう指定します。



- (4) ドライバをダウンロード先はハードディスク上に任意のフォルダを指定します。
[保存] を押すとダウンロード中の画面が表示されます。

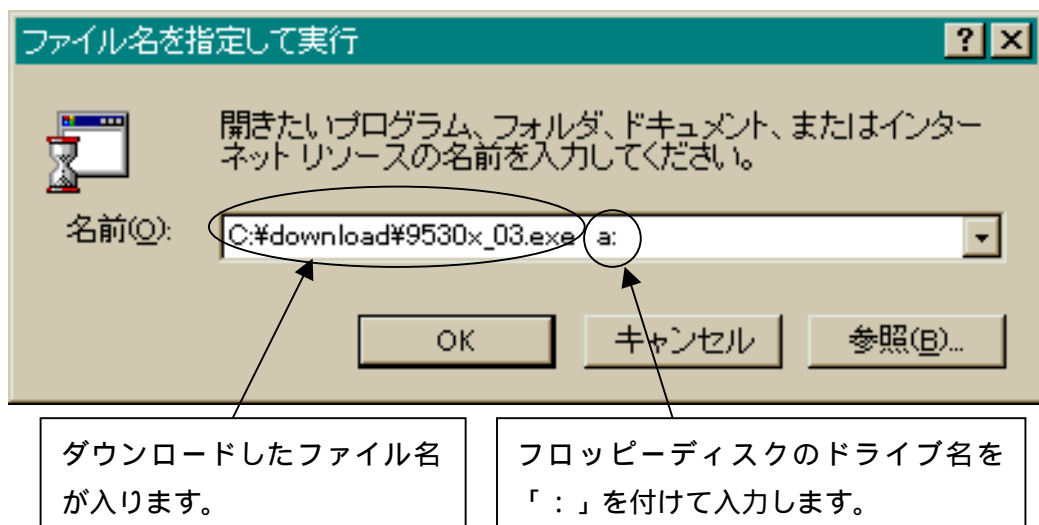


- (5) ダウンロードが終わると右の画面が表示されます。
[OK] を押してからブラウザを終了します。
次にドライバディスクの作成へ進みます。

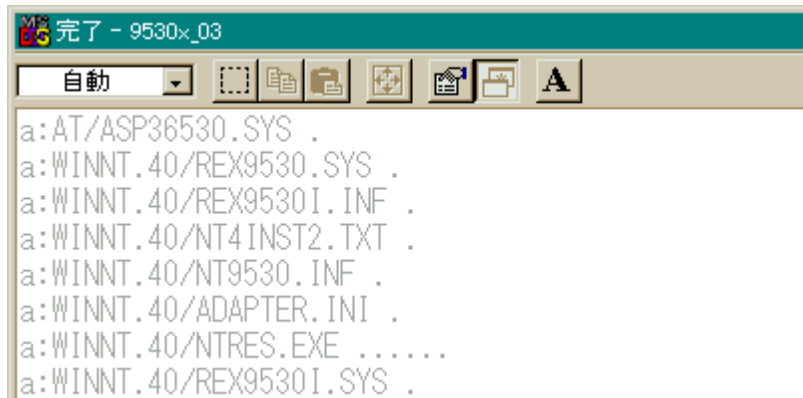


第 14 章 こんなときは

2. ダウンロードしたファイルからドライバディスクを作成します。
 - (1) ドライバディスク用にフォーマット済みの新しいフロッピーディスクを 1 枚用意します。
 - (2) デスクトップ画面の [スタート] ボタンのメニューから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
 - (3) [参照] ボタンを押して先ほどダウンロードの名前を付けて保存の画面で名前(0:)の欄に設定した名前を選択します。
名前(0:)の欄に設定した名前が入ったら、その後ろに続けてスペースを 1 つ空けてフロッピーディスクのドライブ名を入力します。



- (4) [OK] ボタンを押すと解凍処理の画面が表示されてフロッピーディスクへ書き込みます。
- (5) 書き込みが終わると解凍画面の右上が完了に変わります。
解凍画面を閉じてください。



以上でフロッピーにアップデートされたドライバディスクが作成されました。

ドライバをアップデートする場合 (Windows98)

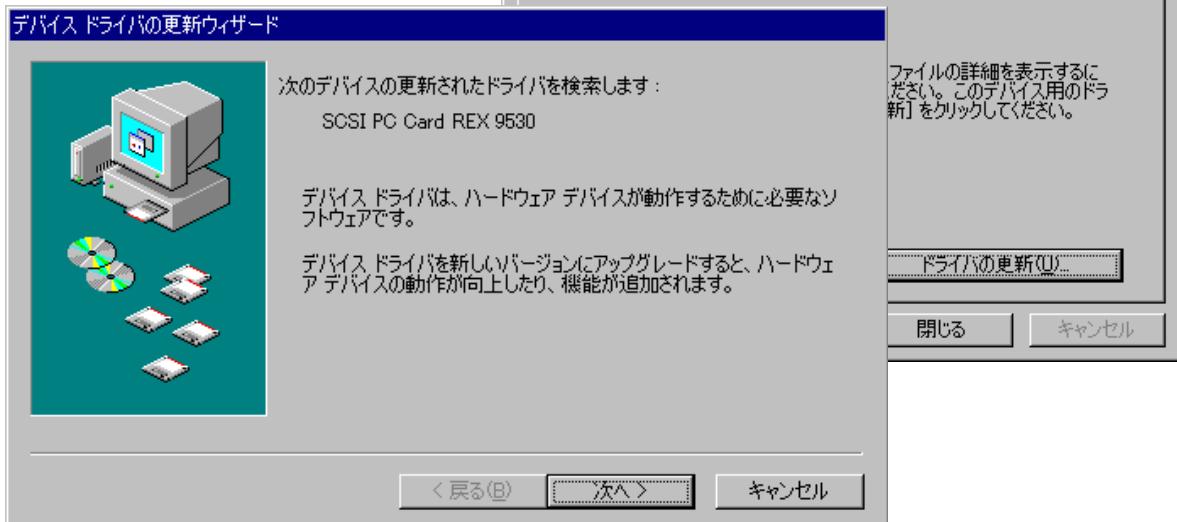
ここでは、NIFTY-Serve やインターネットからバージョンアップされたドライバをダウンロードした場合の Windows98 でのアップデート手順について説明します。

1. ドライバをダウンロードしたら、ハードディスクへコピーしてからフロッピーディスクへ解凍してください。

フロッピーディスク上で解凍すると容量不足で正常に解凍できません。

以下は、「Windows98 での REX-9530 のインストール」で説明した「ドライバの更新」(P3-4)と同じ手順です。

2. Windows98 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
3. デバイスマネージャの [SCSI コントローラ] 項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530] を選択してプロパティウィンドウを開き、[ドライバ] タグをクリックします。



4. [ドライバの更新(U)...] ボタンをクリックすると、「デバイスドライバの更新ウィザード」が起動して上の画面が表示されます。
[次へ>] ボタンを押します。
5. 検索方法の選択で「現在使用しているドライバよりそれに適したドライバを検索する(推奨)」をチェックし [次へ] ボタンを押します。
6. 更新されたドライバの検索場所を指定する画面が表示されたら、作成したドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「フロッピーディスク」にチェックをして [次へ] ボタンを押します。
7. ドライバが検出されたら [次へ] ボタンを押します。
8. コピーが終わってしばらくすると、完了画面が表示されます。
[完了] ボタンを押すと REX-9530 のプロパティ画面に戻ります。

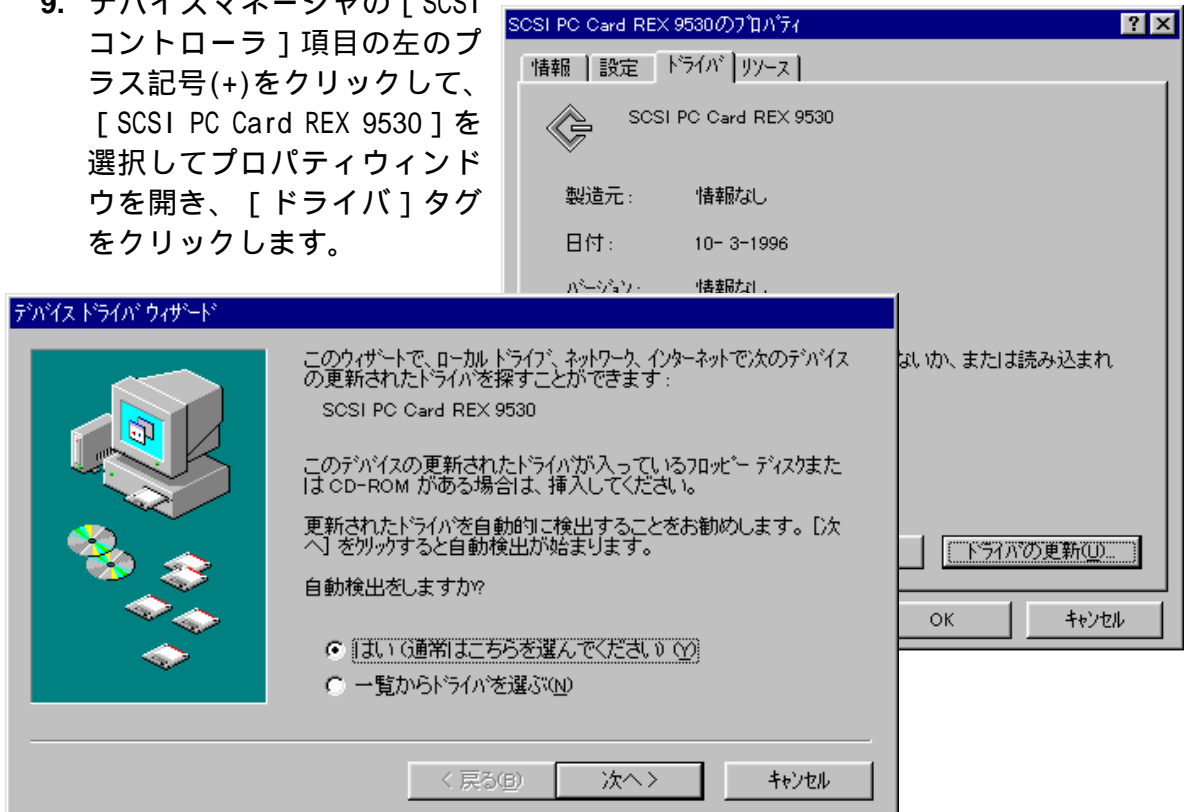
以上でドライバのアップデートは終わりです。

ドライバをアップデートする場合 (Windows95)

ここでは、NIFTY-Serve やインターネットからバージョンアップされたドライバをダウンロードした場合のアップデート手順について説明します。

(Windows95B の場合を例にしています。)

3. ドライバをダウンロードしたら、ハードディスクへコピーしてからフロッピーディスクへ解凍してください。
フロッピーディスク上で解凍すると容量不足で正常に解凍できません。
4. Windows95 上から [コントロールパネル] の [システム] を開き、[デバイスマネージャ] を選択します。
9. デバイスマネージャの [SCSI コントローラ] 項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530] を選択してプロパティウィンドウを開き、[ドライバ] タグをクリックします。



10. [ドライバの更新(U)...] ボタンをクリックすると、「デバイスドライバウィザード」が起動して上の画面が表示されます。
[はい] を選択して、[次へ>] ボタンを押します。
11. 「デバイスドライバが見つかりませんでした」という画面が表示されるので [場所の指定(O)...] ボタンを押します。
12. 先に説明した「デバイスドライバウィザードの画面の場合」(P4-3) と同様の手順でディレクトリ名を入力してドライバをコピーします。途中で数回確認画面が表示されるので、先の説明と同様の操作をします。
13. コピーが終わってしばらくすると、[ドライバ] の表示画面に戻ります。

以上でドライバのアップデートは終わりです。

トラブルシューティング

Windows98 にアップグレードすると動作しなくなった (Windows98)

Q .

Windows95 で問題なく使用できていましたが、OS を Windows98 へアップグレードしたところ動作しなくなりました。
REX-9530 のドライバは、Windows98 の CD-ROM に含まれていたものをそのまま使っています。

A .

前述「ドライバの更新」(☞ P3-4)にしたがって最新のドライバに入れ替えてください。
Windows98 の CD-ROM に含まれているドライバは、本製品添付のドライバディスクのものより古いバージョンですので、ドライバを更新する必要があります。

REX-9530 が SCSI コントローラ以外に登録された場合 (Windows95 / 98)

Q .

デバイスマネージャからドライバ登録の確認で [SCSI コントローラ] 以外に登録されてしまいました。

A .

以下の手順でドライバを再登録します。

1. 誤って登録されている [SCSI PC Card REX 9530] という項目をデバイスマネージャ上で削除します。
「CD-ROM」「ディスクドライブ」「その他デバイス」「不明なデバイス」等の項目の左のプラス記号(+)をクリックして、[SCSI PC Card REX 9530] が登録されている個所を探します。
見つかった [SCSI PC Card REX 9530] を選択して [削除] ボタンをクリックします。
2. 前述の「デバイスツリーからの削除」(☞ P14-9)「ドライバファイルと INF ファイルの削除」(☞ P14-10)「レジストリの削除」(☞ P14-10)にしたがって、ドライバの完全な削除を行います。
3. 第 3 章、第 4 章で説明した「ドライバのインストール」にしたがってドライバをインストールします。

REX-9530 が 2 個以上登録された場合 (Windows95 / 98)

Q .

デバイスマネージャからドライバ登録の確認で [SCSI PC Card REX 9530] の項目が 2 個以上登録されてしまいました。

A .

以下の手順でドライバを再登録します。

1. デバイスマネージャ上で登録されている [SCSI PC Card REX 9530] という項目を選択して [削除] ボタンをクリックして削除します。
これを [SCSI PC Card REX 9530] 項目がなくなるまで繰り返します。
2. 前述の「デバイスツリーからの削除」(P14-9) 「ドライバファイルと INF ファイルの削除」(P14-10) 「レジストリの削除」(P14-10) にしたがって、ドライバの完全な削除を行います。
3. 第 3 章、第 4 章で説明した「ドライバのインストール」にしたがってドライバをインストールします。

不明なデバイスが検出された则表示される場合 (Windows95/98)

Q .

スキャナを接続して REX-9530 をインストールすると不明なデバイスが検出された则表示されてドライバを読み込んでくれません。

A .

「不明なデバイスが検出されました」という表示は、REX-9530 に対してではなく接続しているスキャナを検出したときに表示されるメッセージです。

スキャナに Windows95/98 用ドライバ (INF) が添付されている場合は、「デバイスドライバウィザード」でこのドライバを読み込ませてください。スキャナに Windows95/98 用ドライバ (INF) が添付されていない場合は、「デバイスドライバウィザード」ではそのまま [完了] を押して終わってください。

次回からは「不明なデバイスが検出されました」が表示されなくなります。

その他のデバイスに ? PCMCIA Card Service がある (Windows95)

Q .

デバイスマネージャを確認したときに「その他のデバイス」という中に「 ? 」マークが付いて「PCMCIA Card Services」が登録されていますが、問題ないでしょうか。

A .

「 ? 」マークはエラーではありません。「PCMCIA Card Services」の項目は、削除せずにそのまま置いておいてください。

もし、誤ってこの項目を削除した場合、PC カードを使用できなくなります。

フォーマットユーティリティで CDR, CDRW が認識されない (Windows95/98)

Q .

Windows95/98 専用 SCSI フォーマットユーティリティ (RexFmt95) から接続している CDR ドライブや CDRW ドライブが認識されません。
ただし、マイコンピュータや SCSI 機器接続確認ユーティリティからは確認できます。

A .

Windows95/98 専用 SCSI フォーマットユーティリティ (RexFmt95) は、ハードディスク、光磁気ディスク (MO) ドライブ、PD ドライブ、リムーバブルハードディスクを対象とします。したがって、CD-ROM、CDR、CDRW ドライブ等はデバイスリストに表示されません。
CDR、CDRW の初期化が必要な場合は、各ドライブに対応した専用の書込みソフトから行ってください。

スキャナがアプリケーションから認識されない (WindowsNT)

Q .

WindowsNT 上でスキャナがアプリケーションから認識されません。
ただし、[コントロールパネル] の [SCSI コントローラ] からは、REX-9530 およびスキャナは確認できます。

A .

WindowsNT 用 ASPI マネージャ (WNASPI32.DLL) が組み込まれていない可能性があります。
WindowsNT 上でスキャナを使用する場合、スキャナの TWAIN ドライバ以外に WindowsNT 用の ASPI マネージャが必要となります。
WindowsNT および本製品には、WindowsNT 用の ASPI マネージャは添付しておりませんので、市販のものを別途でご用意頂く必要があります。

WindowsNT のインストール途中でハングアップ (WindowsNT)

Q .

REX-9530 に接続した CD-ROM ドライブから WindowsNT を直接インストールすると、ドライバをロードした直後にハングアップします。

A .

このような場合は、以下の手順で WindowsNT のインストールを行ってください。

1. REX-9530 に接続した CD-ROM ドライブから WindowsNT の CD-ROM のデータをパソコンの内蔵ハードディスクへ先にコピーします。
2. REX-9530 を取り外します。
3. 内蔵ハードディスクへコピーした WindowsNT の CD-ROM のデータでインストールを行います。
4. WindowsNT のインストールが完了後、REX-9530 の WindowsNT 用ドライバをインストールします。

ドライブにアクセスすると 0 除算のエラーになる (DOS/Windows3.1)

Q .

ドライブにアクセスすると「0 で除算しました」「divide overflow」と表示されて中を見ることができません。

A .

- ・新しいハードディスクやMOの場合は、REXFMT によるディスクのフォーマットを実行してください。
- ・IBM ThinkPad 560, 560E の場合は、ASPI マネージャに「/BM」オプションを追加してください。

MO ドライブにアクセスすると連続してカチカチと音がする (DOS/Windows3.1)

Q .

MO ドライブにアクセスするときにカチカチという音が何度も繰り返されてアクセスがとても遅い。ディスクドライバは、REXDISK.SYS を組み込んでいます。

A .

オリンパス製、IBM 製の一部の MO ドライブでこのような現象になります。REXDISK.SYS に「/NOSTART」オプションを追加してください。



15. 付録

SCSI PC カードの仕様

SCSI PCカード	PC Card Standard 準拠 (TypeII)
SCSI インターフェイス	シングルエンド
転送方式	同期転送および非同期転送をサポート
電源電圧・消費電流	+5V・200mA MAX
動作保証温度	+0 ~ +55 (結露しないこと)
保存保証温度	-20 ~ +70 (結露しないこと)
タームパワー供給機能	なし
ターミネータ	アクティブターミネータ内蔵
FIFO	128 バイト
割り込み	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows95/NT : OSによって割り当てられるIRQを使用 ・ DOS/Windows3.1 (DOS/V, 98, EPSON) : なし
選択可能 I/Oアドレス	<ul style="list-style-type: none"> ・ DOS/Windows3.1 (DOS/V), Windows95/NT : 120h ~ 12Fh / 140h ~ 14Fh / 180h ~ 18Fh / 280h ~ 28Fh / 300h ~ 30Fh / 340h ~ 34Fh ・ DOS/Windows3.1 (98) : 0D0h ~ 0DFh / 1D0h ~ 1DFh / 2D0h ~ 2DFh / 3D0h ~ 3DFh / 4D0h ~ 4DFh ・ DOS/Windows3.1 (EPSON) : 300h ~ 30Fh / 320h ~ 32Fh / 340h ~ 34Fh / 380h ~ 38Fh / 3A0h ~ 3AFh / 3C0h ~ 3CFh

接続可能な SCSI 機器のタームパワー供給能力について

SCSIの規格ではタームパワー供給(ターミネータへの電源供給)は最大800mA供給可能で、途中に1Aのヒューズを入れることと定められています。REX-9530はPCカードという形状の制限により、この基準を満たすことができません。したがってREX-9530からはターミネータへの電源供給は行いませんので、必ず接続するSCSI機器から供給するようにしてください。たいていのSCSI機器にはターミネータへの電源供給の有無を設定するためのスイッチ類が設けられていますので、SCSI機器添付のマニュアルに従って設定してください。

ターミネータへの電源供給機能の確認方法については、「SCSI機器のターミネータ電源供給の確認方法」をご覧ください。

例外としてzipドライブ、MD DATAドライブでは、タームパワーは出力されていませんが、本製品へ接続しても問題ありません。

SCSI 機器のターミネータ電源供給の確認方法

REX-9530 は PCMCIA の規格上、SCSI バス上にターミネータ用の電源出力を供給することができませんので必ず外部の SCSI 機器から供給することが必要です。SCSI 機器から供給されているかどうかはテストで簡単に調べることができます。

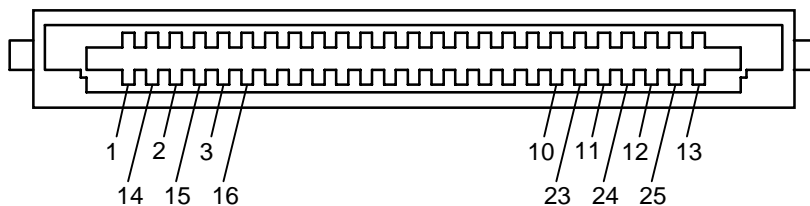
SCSI 機器から SCSI ケーブルを外し、コネクタの 38 番(+)と 25 番の間の電圧を測定してください (SCSI 機器の電源は ON にしておいてください。)。38 番側に +5V 前後出力されていれば正常です。+5V 前後出力されていない場合は SCSI 機器からターミネータ用電源は供給されていないので単独では REX-9530 と組み合わせて使用することはできません。

SCSI ケーブルのコネクタピン配列について

REX-9530用SCSIケーブルのPCカード側コネクタのピン配列は以下のとおりです。

コネクタには、ヒロセ NX30TA-25PAAまたは相当品を使用しています。

他社製SCSI PCカードで同様のコネクタのものがありますが、一部を除いてピン配置が異なります。REX-9530に接続するSCSIケーブルは、必ず本製品専用のものをご使用ください。



ピン	信号名	ピン	信号名
1	REQ	14	GND
2	MSG	15	C/D
3	I/O	16	GND
4	RST	17	ATN
5	ACK	18	GND
6	BSY	19	SEL
7	GND	20	DBP
8	DB0	21	DB1
9	GND	22	DB2
10	DB3	23	DB4
11	DB5	24	GND
12	DB6	25	TERMPWR
13	DB7		

オプション製品について

ここでは、REX-9530 をより有効にお使い頂くためのオプション製品を紹介します。
製品型番、製品仕様、製品価格等は 1998 年 10 月現在のものです。

オプション SCSI ケーブル

SCSI PCカード専用のSCSIケーブルとして以下のものを用意しています。

型番	コネクタ仕様	ケーブル長	価格
RCL-3001-05	アンフェノールフルピッチ50ピン	50cm	¥5,000
RCL-3001-10	アンフェノールフルピッチ50ピン	1m	¥6,000
RCL-3002-05	ハーフピッチベロースタイプ50ピン	50cm	¥5,000
RCL-3002-10	ハーフピッチベロースタイプ50ピン	1m	¥6,000
RCL-3003-05	ハーフピッチピンタイプ50ピン	50cm	¥5,000
RCL-3003-10	ハーフピッチピンタイプ50ピン	1m	¥6,000
RCL-3004-05	D-sub 25ピン (zipドライブ接続用)	50cm	¥5,000

デスクトップパソコンで REX-9530 を使用する場合

デスクトップパソコン (PC/AT互換機) でPCカードを使用するためのアダプタを用意しています。

これによりREX-9530をデスクトップパソコンでも使用可能になります。

型番	価格	仕様
REX-5051FV	¥17,800	・ ファイルベイ取り付けタイプ (5インチファイルベイ用アタッチメント付き)
REX-5051ex	¥22,800	・ 外置きタイプ
共通仕様		
<ul style="list-style-type: none"> ・ TYPE ×1スロット、TYPE ×1スロット (カードドライブに各1スロット装備) ・ PCMCIAコントローラはIntel 82365SL互換 ・ 対応OS : Windows98, Windows95, WindowsNT 4.0, OS/2 Warp4 		

型番	価格	仕様
REX-CBS51	¥19,800	<ul style="list-style-type: none"> ・ PCI-CardBusブリッジアダプタボード 16bitPCカード用のISA-IRQルーティングに対応するためのサブボード (ISAボード) を標準添付 ・ TYPE ×2またはTYPE ×1 ・ 対応OS : Windows98



REX SCSI PC カード質問用紙 (拡大コピーの上ご記入ください)

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名			
	所属・部署			
氏名				
住所	〒			
TEL		FAX		
E-Mail		商用ネット ID		
製品型番	REX-	シリアル番号		
販売店名		購入年月日		

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名	
使用 OS	Windows95 Windows98 Windows3.1 (DOS Version) WindowsNT 3.51 WindowsNT4.0 OS/2 Warp 3 OS/2 Warp 4 その他()
使用ドライバ名とバージョン	
接続 SCSI 機器に関する情報	接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。

質問内容：

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS AUTOEXEC.BAT SYSTEM.INI
CSALLOC.INI PCM.INI デバイスマネージャのシステム概要
WindowsNT 診断プログラムのレポート

- SYSTEM.INI, CSALLOC.INI, PCM.INI は DOS/Windows3.1 の場合のみ
 デバイスマネージャのシステム概要 (Windows95/98 のみ)
- (1) デバイスマネージャから [印刷(N)...] ボタンを押します。
 - (2) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [OK] ボタンを押します。
- WindowsNT 診断プログラムのレポート (WindowsNT のみ)
- (1) WindowsNT 診断プログラムを起動し [ファイル] メニューから [レポートの印刷(N)...] ボタンを押します。
 - (2) すべてのタグ、詳細レベル概要選択して [OK] ボタンを押します。
 ファイルに出力してメールの添付ファイルとして送信することも可能です。

記入例

REX SCSI PC カード質問用紙 (拡大コピーの上ご記入ください)

下記ユーザ情報をご記入願います。

法人登録の方のみ	会社名・学校名	ラトックシステム株式会社		
	所属・部署	営業部		
氏名	らとっく 太郎			
住所	〒 556-0012 大阪市浪速区敷津東 1-6-14			
TEL	0 6 - 6 3 3 - 8 2 6 3	FAX	0 6 - 6 3 3 - 8 2 9 5	
E-Mail	scsi@rexpccard.co.jp	商用ネット ID		
製品型番	REX-9 5 3 0 X P	シリアル番号		
販売店名	株式会社アール・ピー・エス	購入年月日	1998 年 10 月 10 日	

下記パソコン環境情報をご記入願います。

パソコン機種名	SONY VAIO PCG-767			
使用 OS	Windows95 Windows98 Windows3.1 (DOS Version) WindowsNT 3.51 WindowsNT4.0 OS/2 Warp 3 OS/2 Warp 4 その他()			
使用ドライバ名とバージョン	REX9530.MPD Version 3 . 5 7			
接続 SCSI 機器に関する情報	接続している全機器の種類・メーカー名・型番・その他についてご記入ください。 Slot2 REX-R280 通常 上段が slot2 Slot1 REX-9530 SCSI 構成 ID0, LUN:0 (HardDisk) SEAGATE ST32171N ID6, LUN:0 (CD-R) YAMAHA CRW4260			

質問内容：

C D R は認識してマイコンピュータにドライブアイコンが表示されますが、ハードディスクはドライブアイコンが表示されません。

添付資料：インストール等に関するご質問の場合は、下記データが必要です。送付して頂いたデータをチェックしてください。

CONFIG.SYS AUTOEXEC.BAT SYSTEM.INI
CSALLOC.INI PCM.INI デバイスマネージャのシステム概要
WindowsNT 診断プログラムのレポート

SYSTEM.INI, CSALLOC.INI, PCM.INI は DOS/Windows3.1 の場合のみ

デバイスマネージャのシステム概要 (Windows95/98 のみ)

- (1) デバイスマネージャから [印刷(N)...] ボタンを押します。
- (2) レポートの種類に「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択して [OK] ボタンを押します。

WindowsNT 診断プログラムのレポート (WindowsNT のみ)

- (1) WindowsNT 診断プログラムを起動し [ファイル] メニューから [レポートの印刷(N)...] ボタンを押します。
- (2) すべてのタグ、詳細レベル概要選択して [OK] ボタンを押します。

ファイルに出力してメールの添付ファイルとして送信することも可能です。